

○地域森林計画の変更(案)および水源森林地域の変更(案)について

【地域森林計画の位置づけ】

地域森林計画は、国が定める全国森林計画に即して都道府県が森林法第 5 条に基づき樹立する 10 年計画。

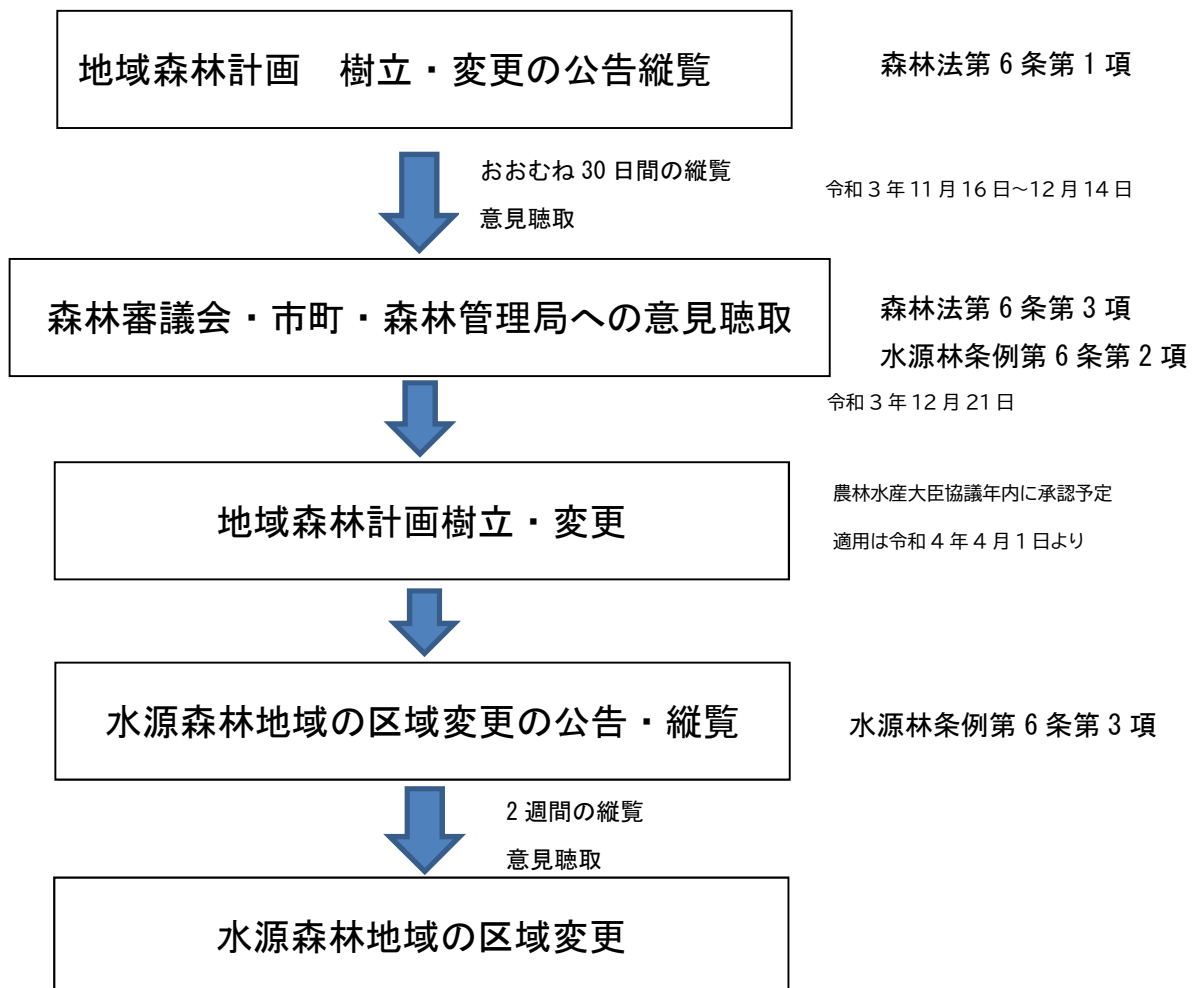
【計画区域と計画期間】

滋賀県は全国森林計画の淀川流域に属し、湖南森林計画区と湖北森林計画区の 2 計画区に分かれる。

湖南森林計画区は大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、近江八幡石、東近江市、日野町、竜王町の 9 市 2 町、湖北森林計画区域は彦根市、長浜市、米原市、高島市、甲良町、豊郷町※、愛荘町、甲良町、多賀町の 4 市 4 町（※豊郷町は地域森林計画対象森林が無い）となっている。

なお、滋賀県水源森林地域保全条例（資料 1）第 6 条第 1 項の規定により指定される水源森林地域は、水源森林地域の保全に関する基本方針（資料 2）の中で「水源森林地域指定の対象は、森林法（昭和 26 年法律第 249 号）第 5 条第 1 項の規定によりたてられた県の地域森林計画の対象となっている民有林のうち地目が山林、原野または保安林であるもの」とされている。そのため、今回の審議は滋賀県水源森林地域保全条例第 6 条第 2 項での滋賀県森林審議会の意見聴取も兼ねる。

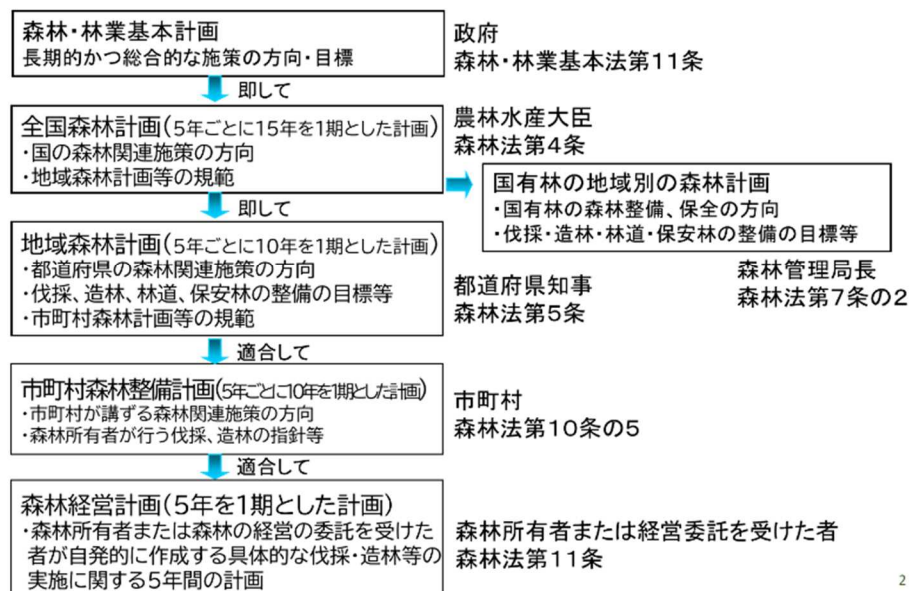
地域森林計画区域の変更と滋賀県水源森林地域の指定について



○変更内容について

- 1 令和3年6月に国の森林・林業基本計画および全国森林計画が改正されたことに伴う義務的変更。

森林計画制度の体系



2

変更概要

(1)適正な伐採の確保

- ①森林資源の保続が可能な主伐量の上限の検討

持続的伐採可能量（湖南 P88 湖北 P 9 1）の追加

- ②集材路の作設など搬出方法に対する指導体制の確立

令和3年3月に発出された国の「主伐時における伐採・搬出指針」に基づいた伐採・搬出を市町村森林整備計画の中で位置づけることを地域森林計画の中でも明記しておく。（湖南 P14,P29 湖北 P13,P28）

(2)適切な更新の確保

- ①特に効率的な施業が可能な森林の設定

市町村森林整備計画におけるゾーニングに際して、木材生産機能維持増進森林の中に「特に効率的な施業が可能な森林」を設定することとなり、地域森林計画の中では基準を示すこととなった。（湖南 P25 湖北 P24）

- ②天然更新の基準と植栽によらなければ適確な更新が困難な森林

市町村森林整備計画の中で天然更新が困難な区域を「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」として指定することになっているが、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準についても市町村森林整備計画の中で基準を示すこととなった。

（湖南 P19 湖北 P18）

(3)その他

- ①森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針

文言の修正

（全国森林計画の改定によるもの 湖南 P11～12 湖北 P10～11）

②人工造林における少花粉苗木の選定

人工造林の対象樹種に関する指針でスギ・ヒノキの少花粉苗木の増加に努めることを明記。

(湖南はスギ、ヒノキ 湖北はスギ苗のみ)

(運用通知改訂によるもの 湖南 P15 湖北 P14)

③委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化

- ・林業に従事する者の養成および確保に関する方針

他産業なみの雇用形態の確保や長期にわたり持続的な経営ができる事業体の育成について明記。

(運用通知改訂によるもの 湖南 P30 湖北 P29)

- ・その他必要な事項

(運用通知改訂によるもの 湖南 P31 湖北 P30)

④土地の形質の変更にあたって留意すべき事項

特に、太陽光発電施設の設置にあたって を追加

(運用通知改訂によるもの 湖南 P33 湖北 P32)

2 森林計画区域および計画内容の変更

(1)森林計画区域の変更

湖南	変更前	89,061ha	変更後	89,031ha	30ha 減
湖北	変更前	94,858ha	変更後	94,846ha	8ha 減

林地開発等による森林から森林以外への転用による減

水源森林地域と同じ区域となるため、水源森林地域も併せて変更になります。

(2)計画量の変更

①伐採材積

総数

湖南	変更前	967千m ³	変更後	979千m ³	12千 m ³ 増
湖北	変更前	1,423千 m ³	変更後	1,415千 m ³	8千 m ³ 減

②造林面積

天然更新総数

湖南	変更前	643ha	変更後	543ha	100ha 減
湖北	変更前	876ha	変更後	450ha	426ha 減

以上全国森林計画の計画量の変更による変更

③林道

計画箇所等の見直しによる変更

④治山事業

計画箇所等の見直しによる変更

変更後	変更前								
<p>目次</p> <p>II 計画事項</p> <p>第3 森林の整備に関する事項</p> <p>5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項</p> <p>(5) 林産物の搬出方法等</p> <p>(附) 参考資料</p> <p>1～4 省略</p> <p><u>5 その他</u></p> <p><u>(1) 持続的主伐の可能性</u></p> <p>第2 森林の整備および保全に関する基本的な事項</p> <p>1 森林の整備および保全の目標その他森林の整備および保全に関する基本的な事項</p> <p>(2) 森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針</p> <p>森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針</p> <table border="1" data-bbox="165 1064 1088 1471"> <thead> <tr> <th>森林の有する機能</th> <th>森林整備および保全の基本方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水源涵養機能</td> <td>本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。 具体的には、<u>洪水の緩和</u>や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。</td> </tr> </tbody> </table>	森林の有する機能	森林整備および保全の基本方針	水源涵養機能	本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。 具体的には、 <u>洪水の緩和</u> や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。	<p>目次</p> <p>II 計画事項</p> <p>第3 森林の整備に関する事項</p> <p>5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項</p> <p>(5) 更新を確保するため林産物を特定する森林の所在およびその搬出方法</p> <p>(附) 参考資料</p> <p>1～4 省略</p> <p>第2 森林の整備および保全に関する基本的な事項</p> <p>1 森林の整備および保全の目標その他森林の整備および保全に関する基本的な事項</p> <p>(2) 森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針</p> <p>森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針</p> <table border="1" data-bbox="1256 1064 2145 1471"> <thead> <tr> <th>森林の有する機能</th> <th>森林整備および保全の基本方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水源涵養機能</td> <td>本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する<u>こととする</u>。 具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る<u>こととする</u>。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する<u>こととする</u>。</td> </tr> </tbody> </table>	森林の有する機能	森林整備および保全の基本方針	水源涵養機能	本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する <u>こととする</u> 。 具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る <u>こととする</u> 。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する <u>こととする</u> 。
森林の有する機能	森林整備および保全の基本方針								
水源涵養機能	本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。 具体的には、 <u>洪水の緩和</u> や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。								
森林の有する機能	森林整備および保全の基本方針								
水源涵養機能	本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する <u>こととする</u> 。 具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る <u>こととする</u> 。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する <u>こととする</u> 。								

	<p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>		<p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>
山地災害防止機能／土壌保全機能	<p>山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出・崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林については、山地災害防止機能／土壌保全機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、災害に強い県土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小および回避を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>	山地災害防止機能／土壌保全機能	<p>山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出・崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林は、山地災害防止機能／土壌保全機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、災害に強い県土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小および回避を図る森林として整備および保全を推進することとする。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>
快適環境形成機能	<p>県民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林および森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等気象災害を防止する効果が高い森林については、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施策や適切な保育・間伐等を推進する。</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風等に重要な役割を果たしている湖岸林等の保全を推進する。</p>	快適環境形成機能	<p>県民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林および森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等気象災害を防止する効果が高い森林は、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施策や適切な保育・間伐等を推進することとする。</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風等に重要な役割を果たしている湖岸林等の保全を推進することとする。</p>
	<p>観光的に魅力のある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、県民の保健・教育的利用等に適した森林については、</p>		<p>観光的に魅力のある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、県民の保健・教育的利用等に適した森林は、保</p>

<p>保健・レクリエーション機能</p>	<p>保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、県民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や県民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進する。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>	<p>保健・レクリエーション機能</p>	<p>保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する <u>こととする</u>。</p> <p>具体的には、県民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や県民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進する <u>こととする</u>。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進する <u>こととする</u>。</p>
<p>文化機能</p>	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林 <u>については</u>、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進する。また、風致の <u>保存</u> のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>	<p>文化機能</p>	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林は、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する <u>こととする</u>。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。また、風致のための保安林の指定やその適切な管理を推進する <u>こととする</u>。</p>
<p>生物多様性保全機能</p>	<p>全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方にに基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・自然条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として</p>	<p>生物多様性保全機能</p>	<p>全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方にに基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・自然条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森</p>

	保全する。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進する。
木材等生産機能	<p>林木の生育に適し、効率的な施業が可能な森林<u>について</u>は、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育および間伐等を推進することを基本として、将来にわたり育成単層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の<u>集約</u>化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

第3 森林の整備に関する事項

1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

市町村森林整備計画の策定にあたっては、国の示す「主伐時における伐採・搬出指針」に則し、第2「森林の整備および保全に関する基本的な事項」（P8）、第6の1「間伐立木材積その他の伐採立木材積」（P ）を踏まえ、第3の5（5）林産物の搬出方法（P ）及び第4の1（3）「森林の土地の保全のための林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法（P ）と整合し、次の事項を指針として、市町内の気候、地形、土壌等の自然条件、野生生物の生育環境、森林資源の構成、森林に関する社会的要請、施業制限の状況、木材の生産動向等を勘案して計画事項を定めるものとする。

	林として保全する <u>こととする</u> 。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進する <u>こととする</u> 。
木材等生産機能	<p>林木の生育に適し、効率的な施業が可能な森林は、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する<u>こととする</u>。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育および間伐等を推進することを基本として、将来にわたり育成単層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の<u>集団</u>化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

第3 森林の整備に関する事項

1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

市町村森林整備計画の策定にあたっては、第2「森林の整備および保全に関する基本的な事項」（P8）、第6の1「間伐立木材積その他の伐採立木材積」（P ）を踏まえ、次の事項を指針として、市町内の気候、地形、土壌等の自然条件、野生生物の生育環境、森林資源の構成、森林に関する社会的要請、施業制限の状況、木材の生産動向等を勘案して計画事項を定めるものとする。

2 造林に関する事項

(1) 人工造林に関する指針

ア 人工造林の対象樹種に関する指針

人工造林の対象樹種の選定にあたっては、スギ・ヒノキ・アカマツ等の針葉樹や、ケヤキ・コナラ等の有用広葉樹を主体とするが、その他の広葉樹や郷土樹種を含む幅広い樹種を対象として、自然条件、地域における造林種苗の需給状況動向および木材の需給状況等を勘案し、適地適木を旨として人工造林の対象樹種を定めるものとする。また、苗木の選定に当たっては少花粉スギ、ヒノキ*の花粉症対策に資する苗木の増加に努めるものとする。

※ヒノキは湖南のみ追加

(2) 天然更新に関する指針

天然更新は、前生樹の生育状況、母樹の存在等森林の現況、気候、地形、土壤等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力を活用することにより適確な更新が図られる森林において行うものとする。

(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針

種子を供給する母樹が存在しない森林、天然稚樹の育成が期待できない森林、面積の大きな人工林など、天然更新が期待できない森林については、ぼう芽更新に適した立木や天然下種更新に必要な母樹の賦存状況、天然更新に必要な更新樹種の立木の生育状況、林床や地表の状況、病虫害および鳥獣害の発生状況、当該森林および近隣の森林における主伐箇所天然更新の状況、森林の早期回復に対する社会的要請などを勘案して適確な更新を確保すること。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準は市町村森林整備計画において定めることとする。

2 造林に関する事項

(1) 人工造林に関する指針

ア 人工造林の対象樹種に関する指針

人工造林の対象樹種の選定にあたっては、スギ・ヒノキ・アカマツ等の針葉樹や、ケヤキ・コナラ等の有用広葉樹を主体とするが、その他の広葉樹や郷土樹種を含む幅広い樹種を対象として、自然条件、地域における造林種苗の需給状況動向および木材の需給状況等を勘案し、適地適木を旨として人工造林の対象樹種を定めるものとする。

(2) 天然更新に関する指針

天然更新は、気候、地形、土壤等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力を活用することにより適確な更新が図られる森林において行うものとする。

(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針

種子を供給する母樹が存在しない森林、天然稚樹の育成が期待できない森林、面積の大きな人工林など、天然更新が期待できない森林については、ぼう芽更新に適した立木や天然下種更新に必要な母樹の賦存状況、天然更新に必要な更新樹種の立木の生育状況、林床や地表の状況、病虫害および鳥獣害の発生状況、当該森林および近隣の森林における主伐箇所天然更新の状況、森林の早期回復に対する社会的要請などを勘案して造林の方法は人工造林によるものとする。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

(1) 省略

(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準

および当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

対象森林に関する自然条件および社会的条件、森林の機能の評価区分等を参考とし、森林の一体性も踏まえつつ、林木の生育に適した土壌を有し、林木の生育が良好な森林で成長量が高い森林であって、地形・地理等から効率的な森林施業が可能な森林の区域について木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林として設定するとともにこの区域のうち施業の効率性が特に高い地域について「特に効率的な施業が可能な森林の区域」を設定するものとする。

なお、木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域と、公益的機能別施業森林の区域は重複することを可能とするが、公益的機能の発揮に支障が生じないよう施業方法を定めることとする。

イ 施業の方法に関する指針

第3の1(3)において、参考として示す樹種別の生産目標に対応する「主伐時期の目安」(P13)を標準として施業を行うこととするが、森林の公益的機能の発揮にも留意しつつ、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な森林整備を推進するとともに、特に効率的な施業が可能な森林における人工林の伐採後は、原則、植栽による更新を行うこととし、多様な木材需要に応じた持続的・安定的な木材等の生産が可能となる資源構成となるよう努めるものとする。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

(1) 省略

(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準

および当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

対象森林に関する自然条件および社会的条件、森林の機能の評価区分等を参考とし、森林の一体性も踏まえつつ、林木の生育に適した土壌を有し、林木の生育が良好な森林で成長量が高い森林であって、地形・地理等から効率的な森林施業が可能な森林の区域について木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林として設定するものとする。

なお、木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域と、公益的機能別施業森林の区域は重複することを可能とするが、公益的機能の発揮に支障が生じないよう施業方法を定めることとする。

イ 施業の方法に関する指針

第3の1(3)において、参考として示す樹種別の生産目標に対応する「主伐時期の目安」(P13)を標準として施業を行うこととするが、森林の公益的機能の発揮にも留意しつつ、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な森林整備を推進することとし、多様な木材需要に応じた持続的・安定的な木材等の生産が可能となる資源構成となるよう努めるものとする。

湖南地域森林計画

平成29年12月樹立

令和3年 12月変更

計画期間
自 平成30年4月1日
至 令和10年3月31日

滋 賀 県

(湖南森林計画区)

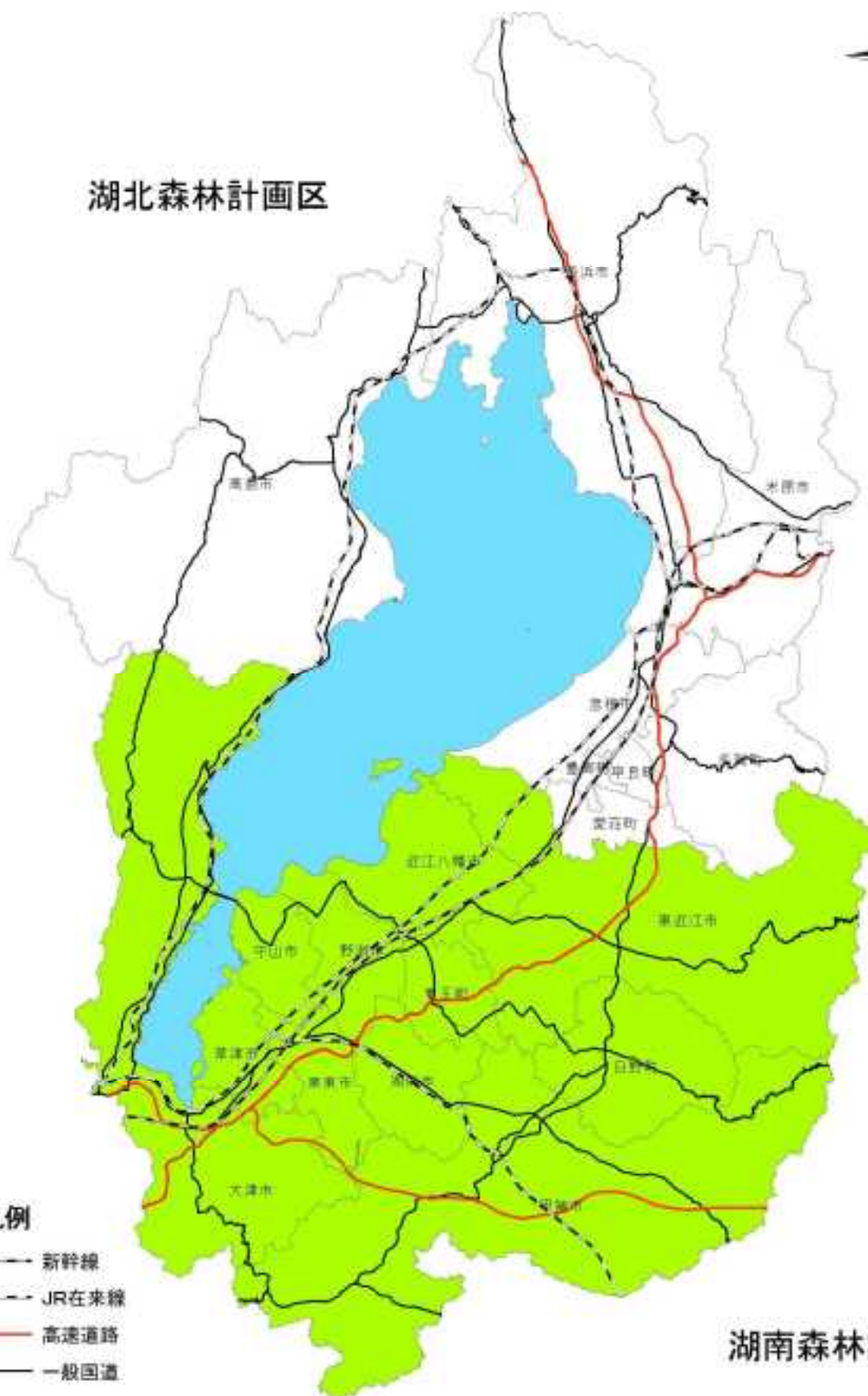
本計画は、森林法（昭和 26 年法律第 249 号）第 5 条第 5 項の規定により、一部を変更するものである。

なお、当該地域森林計画は、令和 4 年 4 月 1 日にその効力を生ずるものとする。

地域森林計画区位置図



湖北森林計画区



凡例

- 新幹線
- JR在来線
- 高速道路
- 一般国道

湖南森林計画区

I	計画の大綱	1
1	森林計画区の概況	1
2	前計画の実行結果の概要およびその評価	6
(1)	前計画の実行結果	6
(2)	評価	6
3	計画樹立に当たっての基本的な考え方	7
II	計画事項	9
第1	計画の対象とする森林の区域	9
第2	森林の整備および保全に関する基本的な事項	10
1	森林の整備および保全の目標その他森林の整備および保全に関する基本的な事項	10
(1)	森林の整備および保全の目標	10
(2)	森林の整備および保全の基本方針	11
(3)	計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等	13
2	その他必要な事項	13
第3	森林の整備に関する事項	14
1	森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）	14
(1)	立木の伐採（主伐）の標準的な方法に関する指針	14
(2)	立木の標準伐期齢に関する指針	15
(3)	その他必要な事項	15
2	造林に関する事項	16
(1)	人工造林に関する指針	16
(2)	天然更新に関する指針	17
(3)	植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針	19
(4)	その他必要な事項	19
3	間伐および保育に関する基本的な事項	20
(1)	間伐を実施すべき標準的な林齢および間伐の標準的な方法に関する指針	20
(2)	保育の標準的な方法に関する指針	20
(3)	その他必要な事項	21
4	公益的機能別施業森林等の整備に関する事項	22
(1)	公益的機能別施業森林の区域の基準および当該区域内における施業の方法に関する指針	22
(2)	木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準および当該区域内における施業の方法に関する指針	25
(3)	その他必要な事項	25
5	林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項	26
(1)	林道（林業専用道含む）等の開設および改良に関する基本的な考え方	26
(2)	効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準および作業システムの基本的な考え方	28
(3)	路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）の基本的な考え方	29
(4)	路網の規格・構造についての基本的な考え方	29
(5)	林産物の搬出方法等	29
(6)	その他必要な事項	29
6	委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化その他森林施業の合理化に関する事項	30

(1) 森林の経営の受委託等による森林の経営規模の拡大および森林施業の共同化に関する方針	30
(2) 森林管理制度の活用の促進に関する方針	30
(3) 林業に従事する者の養成および確保に関する方針	30
(4) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針	31
(5) 林産物の利用の促進のための施設の整備に関する方針	31
(6) その他必要な事項	33
第4 森林の保全に関する事項	33
1 森林の土地の保全に関する事項	33
(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項	33
(2) 樹根および表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区	34
(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林およびその搬出方法	34
(4) その他必要な事項	34
2 保安施設に関する事項	35
(1) 保安林の整備に関する方針	35
(2) 保安施設地区の指定に関する方針	35
(3) 治山事業の実施に関する方針	35
(4) 特定保安林の整備に関する事項	35
(5) その他必要な事項	35
3 鳥獣害の防止に関する事項	36
(1) 鳥獣害防止森林区域の基準および当該区域内における鳥獣害の防止の方法に関する方針	36
(2) その他必要な事項	36
4 森林病虫害の駆除および予防その他の森林の保護に関する事項	37
(1) 森林病虫害等の被害対策の方針	37
(2) 鳥獣害対策の方針(3に掲げる事項を除く。)	37
(3) 林野火災の予防の方針	37
(4) その他必要な事項	37
第5 保健機能森林の区域の基準その他保健機能森林の整備に関する事項	38
(1) 保健機能森林の区域の基準	38
(2) その他保健機能森林の整備に関する事項	38
第6 計画量等	40
1 間伐立木材積その他の伐採立木材積	40
2 間伐面積	40
3 人工造林および天然更新別の造林面積	40
4 林道の開設又は拡張に関する計画	40
5 保安林整備および治山事業に関する計画	44
(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等	44
(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在および面積等	46
(3) 実施すべき治山事業の数量	47
6 要整備森林の所在および面積並びに要整備森林について実施すべき森林施業の方法および時期	52
第7 その他必要な事項	53
1 保安林その他制限林の施業方法	53
2 その他必要な事項	53
別表 1 標準的な植栽本数	54
別表 2 間伐の標準的な方法	54

別表 3	間伐の低コスト施業の一例	55
別表 4	伐採の方法を定める必要のある森林の指定基準	56
(附) 参考資料		
1	森林計画区の概況	59
(1)	市町別土地面積および森林面積	59
(2)	地況	60
(3)	土地利用の現況	61
(4)	産業別生産額	62
(5)	産業別就業者数	62
2	森林の現況	64
(1)	齢級別森林資源表	64
(2)	制限林普通林別森林資源表	70
(3)	市町別森林資源表	71
(4)	所有形態別森林資源表	72
(5)	制限林の種類別面積	74
(6)	樹種別材積表	76
(7)	特定保安林の指定状況	77
(8)	荒廃地等の面積	78
(9)	森林の被害	79
(10)	防火線等の整備状況	79
3	林業の動向	80
(1)	保有山林規模別林家数	80
(2)	森林経営計画の認定状況	81
(3)	経営管理権及び経営管理実施権の設定状況	81
(4)	森林組合および生産森林組合の現況	82
(5)	林業事業者等の現況	84
(6)	林業労働力の概況	85
(7)	林業機械化の概況	86
(8)	作業路網等整備の概況	86
4	林地の異動状況（森林計画の対象森林）	87
(1)	森林より森林以外への異動	87
(2)	森林以外より森林への異動	87
5	その他	
(1)	持続的主伐の可能性	88

I 計画の大綱

1 森林計画区の概況

(1) 滋賀県における森林・林業に関する基本的な考え方

滋賀県の森林は県土のおよそ2分の1を占め、水源の^{かん}涵養や県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材生産など様々な機能があり、琵琶湖の水源をはぐくんでおり、県民のみならず下流府県の住民の生活にも大きな役割を果たしている。

かつては、山村で林業が営まれることで森林所有者や地域住民によって森林が管理されてきたが、林業生産活動の低迷が長く続いたため、林業従事者の減少、高齢化に加え、森林所有者の不在村化や世代交代が進んだことにより、森林境界の不明確化が増し、適切に管理されずに放置され荒廃した森林が見られるようになってともに、野生鳥獣による森林被害も増加している。このままでは、水源^{かん}涵養はもとより、県土の保全など森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念される。

その一方で、戦後積極的に造成された人工林を主体に蓄積は年々増加しており、木材資源としての県産材活用と新たな需要を創出するための取り組みの重要性が高まりを見せていることや、様々な生物の生息地・生育地としての生物多様性の保全、里山林をはじめとした身近な森林を生活のふれあいの場、環境教育の場等とする森林空間の総合的な利用、二酸化炭素の固定に代表される地球温暖化の防止に果たす役割など森林の持つ多面的機能の発揮への期待が依然にも増して高まっている。

このような期待に応えるため、滋賀県では、平成16年度に琵琶湖森林づくり条例を定め、平成17年度には琵琶湖森林づくり基本計画を策定し、「森林の多面的機能の持続的発揮と地域の特性に応じた森林づくり」「県民の主体的な参画による森林づくり」「全ての県民の適切な役割分担と協働による森林づくり」「県内の森林資源の有効利用の促進による森林づくり」「森林づくりを支える人材の確保・育成を図りつつ推進する森林づくり」を基本方針として琵琶湖森林づくり県民税を活用し取り組んできた。平成28年度には、林業の成長産業化に向け、県、市町、関係者等、様々な主体が一体となって取組を講ずるための具体的な行動計画として「しがの林業成長産業化アクションプラン」を策定し、森林を「守り」ながら「活かす」好循環を創出する取組を進めている。

また、平成31年4月に森林経営管理法が施行され、市町が主体となって適切な森林の経営管理を図る責務が規定された。このため、林業従事者の技術の向上や新規就業のための技術的な支援、市町職員の森林・林業施策推進の支援を行うことを目的に「滋賀もりづくりアカデミー」を開講し森林づくりを支える人材育成を進めている。

(2) 自然的背景



とする愛知川・日野川の上流地域、湖東平野部に点在する丘陵地帯、野洲川上流地域、下流地域、信楽高原を源とする大戸川地域、比良山系を源とする比良川・安曇川の上流の一部地域、および比叡山などを京都府との境としている大津市域の7つの地域に区分される。

イ 地質・土壌

愛知川・日野川上流を含む地域では秩父古生層が主体で、一部花崗岩・石灰岩地帯が分布している。

湖東平野部に点在する丘陵地帯では洪積層地帯、花崗岩地帯、石英斑岩地帯が分布している。

野洲川上流地域では古生層、洪積層、花崗岩地帯がほぼ均等に分布している。

野洲川下流域では花崗岩地帯が主であるが、一部古生層、洪積層が見られる。

大戸川地域は大半が花崗岩地帯となっている。

比良川・安曇川上流地域は古生層、花崗岩地帯が大半であり、下流部に洪積地帯が分布している。

大津市地域は、古生層、洪積層、花崗岩地帯がほぼ均等に分布している。

土壌は区域全体では褐色森林土が広がっているが、愛知川・日野川上流地域や比良川上流地域の標高の高い箇所では地味が悪く風化花崗岩による未熟土が分布している他、湖東平野部に点在する丘陵地帯は地味が悪く乾性褐色森林土が分布している。

ア 位置および地区

本計画区は、県南部に位置し、大津市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市および蒲生郡（日野町、竜王町）、の9市1郡の11市町で構成され、区域面積は200,089ha、森林率は48%である。

地形は、県境の急峻な山岳地帯と琵琶湖沿いの平野部に分かれるが、県南東部は県境付近も平野部が広がっている。

本計画区は、鈴鹿山系を源

年間降水量



ウ 気候

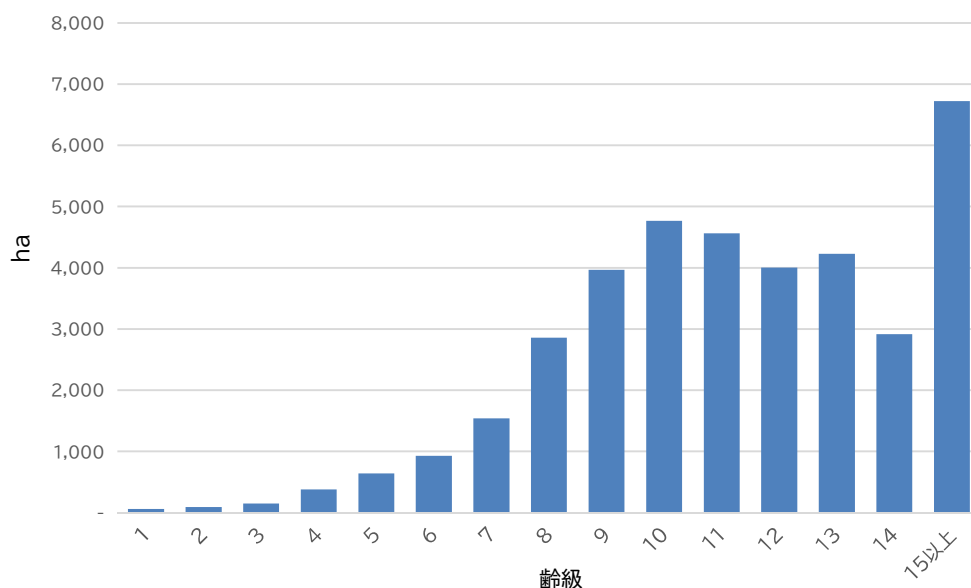
湖南森林計画区は年間を通じて降水量は少なく、冬季積雪は愛知川・日野川上流地域と比良川・安曇川上流地域以外は少ない。特に近年積雪量は減少している。

エ 植生

全般的にスギ・ヒノキの人工造林が進んでいるが、湖東平野や野洲川下流地域は広葉樹の天然林が多く分布している。

人工林については、人工林率は湖南森林計画区全体では42%と県全体（44%）とほぼ同じであるが、野洲川上流地域では60%と県全体を大きく上回っている。特に甲賀市甲賀町を中心にヒノキの人工林が多く分布している。齢級構成は8齢級から12齢級の人工林が人工林全体の53%を占めていることから、森林資源の活用を図る取組が積極的に行われている。人工林の樹種はヒノキが59%を占めている。

人工林の齢級構成

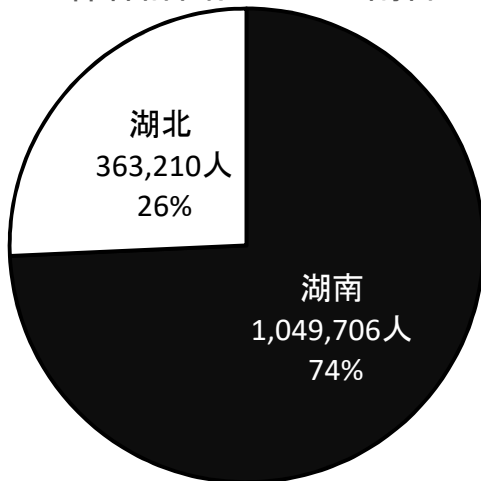


(3) 社会・経済的背景

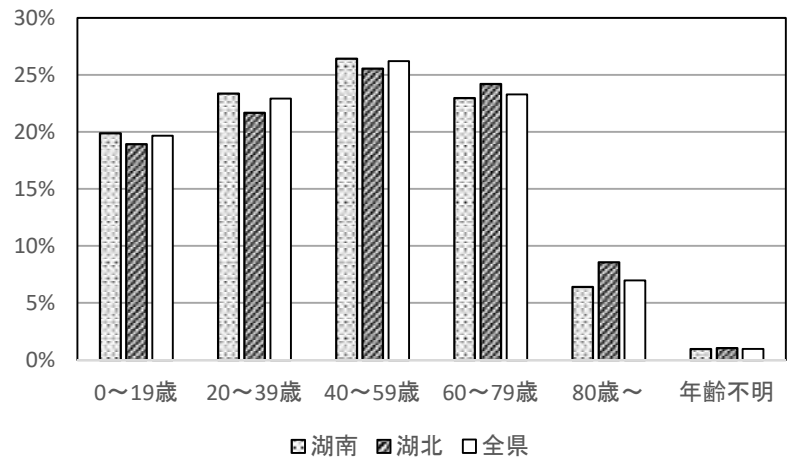
ア 人口

本計画区の人口は、滋賀県全体の人口の74%を占めている。年代別の人口構成は、県全体の傾向とほぼ同じ傾向にあるが、60歳以下の割合が若干高くなっている。

森林計画区の人口割合



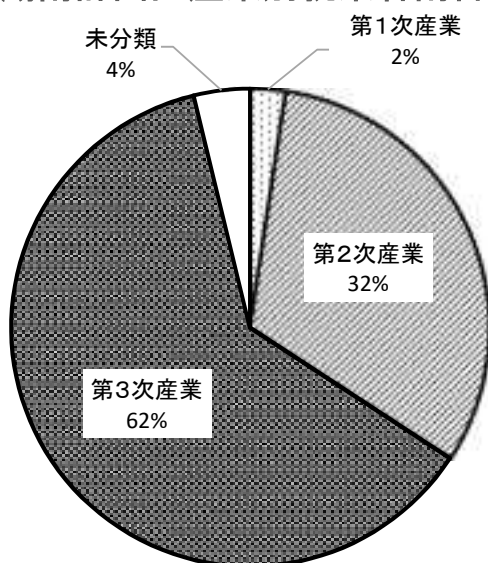
年代別人口構成



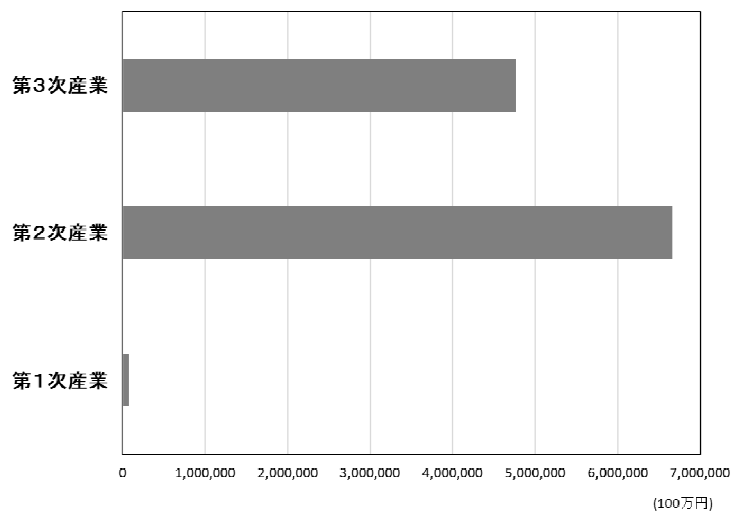
イ 産業

滋賀県の産業は、第2次産業、第3次産業が盛んで、県内の生産額に占める割合は第2次産業が58%、第3次産業が41%に上る。湖南森林計画区においてもその傾向が強く、産業別就業者の割合は第2次産業、第3次産業を合わせると94%を占める。

湖南計画区産業別就業者割合

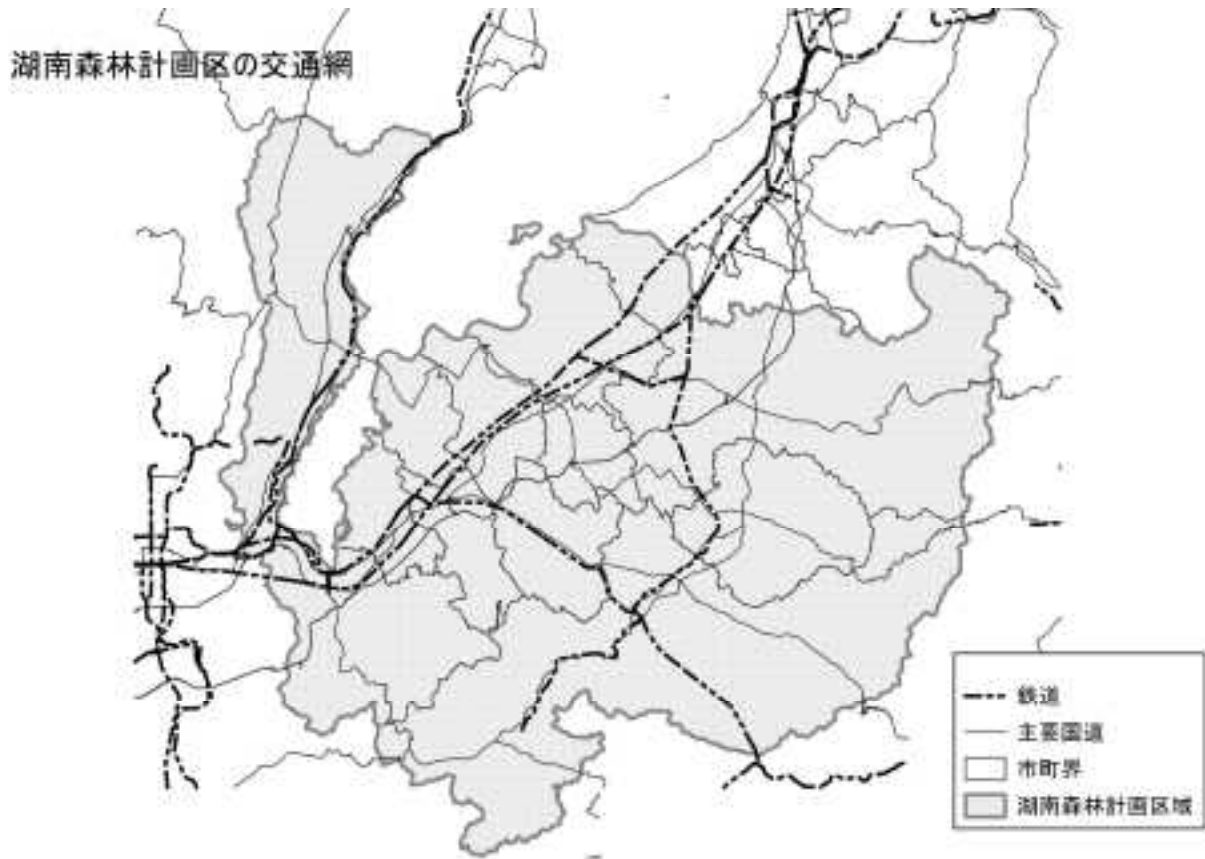


産業別県内生産額



ウ 交通

滋賀県は、古くから交通の要所で交通網が発達している。湖南森林計画区においては、鉄道、道路ともに整備がされており、JR 琵琶湖線、JR 草津線、JR 湖西線、近江鉄道、信楽高原鐵道を中心とする鉄道網、名神高速道路、国道 1 号、国道 8 号、国道 307 号など道路網が整備され、京阪神方面、中京方面等大都市圏へのアクセスは良好である。



2 前計画の実行結果の概要およびその評価

(1) 前計画の実行結果

前計画の前半5年分（平成25～29年度）に対応する計画量および実行量（ただし、平成29年度は見込み量）を以下の表に記載した。

		計画量	実行量	実行率(%)	
伐採材積	主伐	針葉樹(m3)	105,000	58,000	55%
		広葉樹(m3)	19,000	28,000	147%
	間伐	針葉樹(m3)	283,000	341,000	120%
		広葉樹(m3)	—	—	—
間伐面積(ha)		6,890	3,510	51%	
造林面積	人工造林(ha)	443	155	35%	
	天然更新(ha)	199	280	141%	
林道	開設(km)	8.1	0.0	0%	
	改良(km)	15.3	0.4	3%	
	舗装(km)	7.1	0.9	13%	
保安林指定	水源の涵養 ^{かん} (ha)	412	806	196%	
	災害の防備(ha)	170	218	128%	
	保健・風致の保存等(ha)	140	0	0%	
治山事業(箇所)		134	75	56%	

(2) 評価

伐採材積では、チップ用材での需要が増加していることから広葉樹の主伐で実行量が計画量を大幅に上回った。間伐面積は計画量には届かなかったが、利用間伐の増加に伴い、単位当たりの間伐材積が増えたことから伐採材積は計画量を上回った。

造林面積では、材価低迷やシカ被害に対する懸念等により造林意欲が低下していることから人工造林の実行量は計画量を下回っているが、天然更新は増加している。

林道では、いずれの地域においても木材運搬路としての林道整備は概ね備わっているため計画量を下回った。

保安林指定では、本県は琵琶湖を抱えており水源涵養^{かん}機能の確保を最優先に取り組んだことから、水源涵養^{かん}の実行量は計画量を大幅に上回る一方で、保健・風致の保存等では指定が無かった。

治山事業については、計画量を下回ったものの限られた事業費の中で緊急度の高い箇所を中心に事業を進めた。

3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

計画の樹立に当たっては、森林の有する多面的機能の発揮と、利用期を迎えた森林資源を持続的かつ有効に利用していくことを基本とし、湖南森林計画区の地域特性を考慮しつつ、琵琶湖の豊かな水資源を育む森林の水源涵養^{かん}機能をはじめ山地災

害防止／土壌保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全、木材等生産の各機能を高度に発揮させるために、適切な施業の実施、林道等の路網整備、委託を受けて行う森林施業又は経営の実施、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病虫害や野生鳥獣の被害対策等の森林保護の取組を推進する。

また、地球温暖化が進行する中、温室効果ガスの排出削減等の対策が喫緊の課題となっており、森林は、二酸化炭素の吸収や、再生産可能で炭素の貯蔵機能等を有する木材の生産を通じ、地球温暖化の防止に重要な役割を担っている。このため、森林を健全な状態に育成し、循環させるという質的充実を基軸とした森林資源の整備の推進を図ることが必要であり、次の事項を計画の基本的な考え方とした。

ア 森林の有する多面的機能の発揮のための森林施業の実施

森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、森林整備および保全の基本方針を示し、森林の有する各機能毎に応じた望ましい森林の姿や、各機能を高度に発揮する適正な森林へ誘導するための森林施業の考え方を示して、森林の区分に応じた適正な森林の整備と保全を推進することとするが、森林施業の実施に当たっては、重視すべき機能のみならず他の機能の発揮に対し、十分配慮するものとする。

イ 持続可能な森林・林業経営の推進

木材資源の効率的な循環・利用を重視した適切な保育・間伐の実施、公益的機能の発揮に対する要請および多様な木材需要に対応するための育成複層林施業や長伐期施業の実施、広葉樹林の育成など天然生林の適確な保全・管理など森林を健全な状態に育成し、循環させるという質的充実を基軸とした森林施業の計画的かつ積極的な推進に努める。また、利用期を迎えた森林資源を有効活用し、二酸化炭素を長期固定する観点から、間伐材の搬出・利活用に努め、安定供給を目的とする県産材生産流通体制を整備し、公共施設の木造化・木質化を始めとして、びわ湖材を中心とする県産材の利用拡大の取組を行う。

ウ 林道等路網の整備拡充

健全な森林の維持管理や持続可能な森林・林業経営、森林空間の総合的利用の推進、山村地域の産業振興および生活環境の整備等を図るうえで、林道や林業専用道の果たす役割は重要であり、また、森林作業道は林道等と一体となって森林施業の合理化や生産コストの低減を図るうえで極めて重要であることから、一層の路網整備を推進することとし、地域の状況や傾斜等に応じた路網形態や作業システムを導入する。

エ 森林施業の合理化の推進

合理的な森林施業を推進するため、地域の特性に応じた森林施業の共同化や集約化、林業に従事する者の養成および確保、高性能林業機械の導入など林業機械化の促進、林産物等の流通・加工体制の整備等、林業の生産・流通・加工段階における諸条件の整備を計画的かつ総合的に推進する。

オ 保安林整備と治山事業

近年の異常豪雨の増加による森林災害の多発に対応できるよう、より公益的機能の高い森林として適切な整備を進めるため、保安林のきめ細かな配備と適正な管理により、その機能を維持し増進を図るとともに、総合的な治山事業の効率的な実施を推進する。

II 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域

○市町別面積

単位：面積 ha

区 分	面 積	備 考	
総 数	<u>89,031</u>	1 地域森林計画の対象とする森林区域は、森林計画図において表示する区域内の民有林である。	
市 町 別 内 訳	大 津 市	<u>22,016</u>	2 地域森林計画の対象とする森林は、森林法第10条の2第1項に基づく「林地開発許可制度」、森林法第10条の7の2第1項に基づく「森林の土地所有者となった旨の届出制度」、森林法第10条の8第1項に基づく「伐採及び伐採後の造林の届出制度」の対象となる。 3 森林計画図の縦覧場所は、滋賀県琵琶湖環境部森林政策課、西部・南部森林整備事務所、甲賀森林整備事務所、中部森林整備事務所とする。
	近江八幡市	<u>1,245</u>	
	草 津 市	<u>210</u>	
	守 山 市	22	
	栗 東 市	<u>1,879</u>	
	甲 賀 市	<u>30,381</u>	
	野 洲 市	1,014	
	湖 南 市	<u>3,653</u>	
	東近江市	<u>21,148</u>	
	日 野 町	<u>6,105</u>	
	竜 王 町	1,357	

注：総数と内訳の計は四捨五入のため一致しないことがある。

第2 森林の整備および保全に関する基本的な事項

1 森林の整備および保全の目標その他森林の整備および保全に関する基本的な事項

(1) 森林の整備および保全の目標

当森林計画区域の森林の整備および保全に当たっては、森林資源の構成や自然条件および社会的要請等を総合的に勘案し、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、各機能の重複に配慮しながら適正な森林施業の実施や林地の保全により、望ましい森林への誘導と健全な森林の維持造成を図ることとし、適切な森林施業の実施、林道などの路網整備、委託を受けて行う森林施業又は経営の実施、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病虫害や野生動物被害対策など森林の保護に関する取組を推進する。

森林の有する多面的機能は、水源涵養機能、山地災害防止機能／土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能からなる公益的機能および木材等生産機能に分類できる。これら各機能の発揮を期待する区域について、地域の関係者の合意に基づきつつ、市町村森林整備計画において具体的な区域の設定を行うこととする。区域の設定にあたっては複数の機能の発揮を期待する森林とすることや、各市町の状況に応じた区域設定も可能とする。

各機能と、その機能発揮の上から望ましい森林資源の姿は次のとおりとする。

① 水源涵養機能

下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林。

② 山地災害防止機能／土壤保全機能

下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林。

③ 快適環境形成機能

樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林。

④ 保健・レクリエーション機能

身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林。

⑤ 文化機能

史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林。

⑥ 生物多様性保全機能

原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林など。

⑦ 木材等生産機能

林木の生育に適した土壌を有し、木材等林産物として利用する上で良好な樹木

により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。

(2) 森林の整備および保全の基本方針

森林の整備および保全に当たっては、琵琶湖総合保全の視点から水源涵養機能を重視しつつ、それ以外の多面的機能についても総合的かつ高度に発揮することができるよう、適正な森林施業の実施や林地の保全を図ることとし、具体的な基本方針は次のとおりとする。

森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針

森林の有する機能	森林整備および保全の基本方針
水源涵養機能	<p>本計画区域の森林の多くは、琵琶湖の集水域に位置していることから、市街地周辺などに所在する一部の森林を除いて、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、洪水の緩和や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小および分散を図る。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。</p> <p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>
山地災害防止機能／土壤保全機能	<p>山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出・崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林については、山地災害防止機能／土壤保全機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、災害に強い県土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小および回避を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>
快適環境形成機能	<p>県民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林および森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等気象災害を防止する効果が高い森林については、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進する。</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風等に重要な役割を果たしている湖岸林等の保全を推進する。</p>

<p>保健・レクリエーション機能</p>	<p>観光的に魅力のある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、県民の保健・教育的利用等に適した森林については、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、県民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や県民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進する。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>
<p>文化機能</p>	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林については、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備および保全を推進する。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進する。また、風致の保存のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>
<p>生物多様性保全機能</p>	<p>全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方にに基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・自然条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全する。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進する。</p>
<p>木材等生産機能</p>	<p>林木の生育に適し、効率的な施業が可能な森林については、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育および間伐等を推進することを基本として、将来にわたり育成単層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の集約化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

単位：面積 ha

蓄積 m³/ha

区 分		現 況	計画期末
面積	育成単層林	36,828	35,970
	育成複層林	1,386	1,939
	天然生林	47,708	47,348
森林蓄積		183	194

育成単層林： 森林を構成する林木を皆伐により伐採し、単一の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。例えば、植栽によるスギ・ヒノキ等からなる森林。

育成複層林： 森林を構成する林木を択伐等により伐採し、複数の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。例えば、針葉樹を上木とし、広葉樹を下木とする森林。

天然生林： 主として天然力を活用することにより成立維持される森林。例えば、天然更新によるシイ・カシ・ブナ等からなる森林。

2 その他必要な事項

該当なし

第3 森林の整備に関する事項

1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

市町村森林整備計画の策定にあたっては、国の示す「主伐時における伐採・搬出指針」に則し、第2「森林の整備および保全に関する基本的な事項」（P8）、第6の1「間伐立木材積その他の伐採立木材積」（P38）を踏まえ、第3の5（5）林産物の搬出方法（P29）及び第4の1（3）「森林の土地の保全のための林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法（P34）」と整合し、次の事項を指針として、市町内の気候、地形、土壌等の自然条件、野生生物の生育環境、森林資源の構成、森林に関する社会的要請、施業制限の状況、木材の生産動向等を勘案して計画事項を定めるものとする。

（1）立木の伐採（主伐）の標準的な方法に関する指針

森林の有する多面的な機能の維持増進を図ることを目的として、対象森林に関する自然条件および社会的条件、地域等における既往の施業体系、樹種の特性、木材の需要構造、森林の構成等を勘案し、立木の伐採（主伐）の標準的な方法を定めることとする。

主伐とは、更新（伐採跡地が再度立木地となること）を伴う伐採であり、その方法については、皆伐又は択伐によるものとする。

主伐を実施するに当たっては、自然条件や森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行うこととし、伐採跡地が連続することのないよう、伐採跡地と伐採跡地の間には、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保するなど、伐採箇所の分散に配慮するものとする。

また、伐採後の適確な更新を確保するため、第3の2「造林に関する事項」（P14）を勘案して伐採を行うこととし、特に天然更新により更新を行う場合は、母樹の保存、ぼう芽状況、稚樹の生育状況、種子の結実等に配慮するものとする。

なお、自然条件が劣悪なため、更新を確保するため伐採の方法を特定する必要がある森林における伐採の方法については、択伐など適確な更新に配慮した施業を実施するものとする。

さらに、林地の保全、なだれおよび落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持、または溪流周辺および尾根筋等の森林における生物多様性の保全等のため必要がある場合は、所要の保護樹帯を設置することとする。

ア 皆伐を実施する場合

皆伐とは、主伐のうち択伐以外の方法であり、皆伐を実施するに当たっては、気候、地形、土壌等の自然条件および森林の有する公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一箇所あたりの伐採面積の規模に配慮し、モザイク状の伐採区域配置を行うなど適確な更新を図ることとする。

イ 択伐を実施する場合

択伐とは、主伐のうち伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として伐採区域全体ではおおむね均等となるよう

に実施するものとする。

択伐の実施に当たっては、森林の有する多面的機能の維持増進を図ることができる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、材積に係る伐採率が30%以下（伐採後の造林が人工造林による場合にあっては40%以下）で実施するものとする。

(2) 立木の標準伐期齢に関する指針

立木の標準伐期齢は、地域の標準的な立木の伐採（主伐）の時期に関する指標や制限林の伐採規制等に用いられるものである。具体的には、市町内に生育する主要樹種ごとに、下表に示す林齢を基礎として、標準的な自然条件にある森林の平均成長量が最大となる林齢を基準に、森林の有する公益的機能、平均伐採齢および森林の構成を勘案して市町村森林整備計画において定めるものとし、施業体系等が著しく異なる地域がある場合は、当該地域ごとに定めることとする。

ただし、標準伐期齢は当該林齢に達した森林の伐採を義務付けるものではない。

単位：年生

地 区	樹			種		
	スギ	ヒノキ	マツ	その他 針葉樹	クスギ	その他 広葉樹
湖南森林計画区	40	45	40	50	15	20

(3) その他必要な事項

育成単層林における主伐の時期は、樹種毎の生産目標に対応する径級に達する時期を目安として下記のとおり参考として示す。

樹 種	標準的な施業体系			主伐時期の目安
	生産目標	仕立方法	期待径級	
スギ	一般建築材	中仕立	26 cm	60年
	柱材	中仕立	20 cm	45年
ヒノキ	心持柱材	中仕立	20 cm	45年
	造作材	中仕立	34 cm	80年

2 造林に関する事項

市町村森林整備計画の策定にあたっては、第2「森林の整備および保全に関する基本的な事項」（P9）、第6の3「人工造林および天然更新別の造林面積」（P39）を踏まえ、次の事項を指針として、市町内の気候、地形、土壌等の自然条件、森林資源の構成、森林に関する社会的要請、施業制限の状況、木材の生産動向等を勘案して計画事項を定めるものとする。また、更新にあたっては、花粉の少ない森林への転換を図るため、花粉症対策に資する苗木の植栽、針広混交林への誘導等に取り組むこととする。

(1) 人工造林に関する指針

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行うものとする。

ア 人工造林の対象樹種に関する指針

人工造林の対象樹種の選定にあたっては、スギ・ヒノキ・アカマツ等の針葉樹や、ケヤキ・コナラ等の有用広葉樹を主体とするが、その他の広葉樹や郷土樹種を含む幅広い樹種を対象として、自然条件、地域における造林種苗の需給状況動向および木材の需給状況等を勘案し、適地適木を旨として人工造林の対象樹種を定めるものとする。また、苗木の選定に当たっては少花粉スギ・ヒノキ等の花粉症対策に資する苗木の増加に努めるものとする。

イ 人工造林の標準的な方法に関する指針

(a) 人工造林の標準的な植栽本数

森林の適確な更新を図ることを旨として、人工造林は植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林、木材生産機能を重視する森林において実施することとし、別表1「標準的な植栽本数」（P52）に示す本数を標準とし、自然条件、既往の造林方法等を勘案して定めるとともに、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業システムの導入に努めることとする。その他、造林に要する経費の縮減につなげるために、例えば2,000本/haなど低密度での植栽についても考慮する。

また、育成複層林化や針広混交林化を図る場合の、上層木を伐採した後の樹下植栽の本数については、別表1「標準的な植栽本数」（P52）に示す「疎仕立て」に相当する本数に対して、下層木以外の立木の伐採率を乗じた本数以上を植栽することを標準とし、自然条件や既往の造林方法等を勘案して定めることとする。

(b) 人工造林の標準的な方法

(育成単層林)

①地拵えの方法

伐採木および枝条等が植栽や保育作業の支障とならないように整理することとし、気象害や林地の保全に配慮する必要がある場合には、筋置きとするなどの点に注意するものとする。

②植付け方法

気候その他の自然条件および既往の植付け方法を勘案して定めるとともに

適期に植付けるものとする。

(育成複層林)

育成複層林においては、下層木の生育に必要な相対照度を確保するために除伐、間伐または択伐による主伐等を実施し、下層木の更新は原則として樹下植栽によるものとするが、隣接地に広葉樹等が残存している林地においては、天然下種更新についても考慮する。

ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間に関する指針

(a) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針

伐採跡地における人工造林は、森林の有する公益的機能の維持および早期回復並びに森林資源の造成を旨とし、以下に示すような天然更新を期待できない森林等においては人工植栽による更新を行うものとし、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在を市町村森林整備計画において示すこととする。

①種子を供給する母樹が存在しない森林

②天然稚樹の育成が期待できない森林

③面積の大きな人工林であって、林床に木本類等がみられないもののうち、気候、地形、土壌条件、周囲の森林状況等から、伐採後も高木性木本類の進入が期待できない森林。

④ニホンジカ等による重大な食害が危惧される森林。

(b) 伐採跡地の人工造林をすべき期間

森林資源の積極的な造成とともに、林地の荒廃を防止するため、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている森林において皆伐による主伐を行った場合は、当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に人工造林を行うものとし、択伐による主伐を行った場合は5年以内に人工造林を行うものとする。

市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林以外の森林において人工造林を行う場合は、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準に準ずるものとし、天然更新による場合は(2)「天然更新に関する指針」に基づくこととする。

(2) 天然更新に関する指針

天然更新は、前生樹の生育状況、母樹の存在等森林の現況、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力を活用することにより適確な更新が図られる森林において行うものとする。

「更新」とは、伐採跡地(伐採により生じた無立木地)において、造林により更新樹種を育成し、再び立木地とすることをいう。

「更新樹種」とは、植栽木、天然下種等により発生する稚樹およびぼう芽のうち将来の森林の林冠を構成する樹種をいう。

「天然更新」とは、天然下種、ぼう芽など、主として天然力を活用して行う更新であり、必要に応じて天然更新補助作業が行われる。

「天然更新補助作業」とは、更新樹種が生育できる空間や光、土壌環境等を確保するための作業であり、地表処理、刈出し等の作業のほか、天然更新の不十分な箇所に行う補助的な植え込み等を含む造林の作業種である。

「更新の完了」とは、伐採跡地において更新樹種が十分に発生・生長し、目標と

する森林（高木性のものに限る。）が成立すると見込まれる状態とする。

ア 天然更新の対象樹種に関する指針

天然更新の対象樹種は、将来その林分において高木となりうる樹種、または先駆的な中木となる樹種であり、植生遷移によって将来は高木となることが期待できる樹種とし、自然条件、周辺環境等を勘案して適地適木を旨として定めることとし、一例として、針葉樹ではスギ、ヒノキ、マツ、イチョウ、イチイ、カヤ、イヌマキモミ等、広葉樹ではブナ、カシ類、シイ類、ナラ類、クリ、ハンノキ、ミズメ、シデ、ケヤキ、カツラ、ホオノキ、クス、サクラ、カエデ類等がある。また、アカメガシワ、キリ、ヤマウルシ、ハゼノキ、ソヨゴ、シキミ、アセビ、クサギ等も含む。

イ 天然更新の標準的な方法に関する指針

天然更新を行うに際しては、森林の確実な更新を図ることを旨として以下に示す作業を標準として実施するものとする。

（a）天然下種更新による場合

森林の状況に応じて、地表処理、刈出し、植込み等の天然更新補助作業を行うこととする。

地表処理については、ササや粗腐植の堆積等により天然下種更新が阻害されている箇所において、かき起こし、枝条整理等の作業を行うこととする。

刈出しについては、ササなどの下層植生により天然稚樹の生育が阻害されている箇所について行うこととする。

植込みについては、天然稚樹等の生育状況等を勘案し、天然更新の不十分な箇所に必要な本数を植栽することとする。

（b）ぼう芽更新による場合

ぼう芽の発生状況等を考慮し、必要に応じて芽かき又は植込みを行うこととする。

（c）天然更新補助作業の標準的な方法

比較的短伐期で繰り返し伐採が行われ、ぼう芽更新により維持される森林については、必要により芽かき等の更新補助作業を行うものとする。天然生稚樹の生育状況等からみて、天然下種更新が確実な森林については、かき起こし、刈り払い等の更新補助作業を行うものとする。

更新の完了の確認については、天然更新による伐採後5年目の期待成立本数を、伐採跡地の気象その他自然条件、既存の造林技術、試験研究機関の調査結果等を勘案し、概ね8,500本/haを標準とすることとし、天然更新をすべき期間における更新樹種の成立本数が期待成立本数の10分の3を乗じた本数以上の場合をもって判定することとする。

なお判定にあたっては、更新樹種の生長等を阻害する競争植物に対する余裕高を考慮するものとする。

ウ 伐採跡地の天然更新をすべき期間に関する指針

森林の有する公益的機能の維持増進および早期回復を旨として、当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して伐採後5年以内の期間に、天然更新が完了していることとする。（ただし補助造林事業により必要な場合は2年以内とする。）

(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針

種子を供給する母樹が存在しない森林、天然稚樹の育成が期待できない森林、面積の大きな人工林など、天然更新が期待できない森林については、ぼう芽更新に適した立木や天然下種更新に必要な母樹の賦存状況、天然更新に必要な更新樹種の立木の生育状況、林床や地表の状況、病虫害および鳥獣害の発生状況、当該森林および近隣の森林における主伐箇所天然更新の状況、森林の早期回復に対する社会的要請などを勘案して適確な更新を確保すること。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準は市町村森林整備計画において定めることとする。

(4) その他必要な事項

該当なし

3 間伐および保育に関する基本的事項

市町村森林整備計画の策定に当たっては、第2「森林の整備および保全に関する基本的な事項」（P8）、第6の1「間伐立木材積その他の伐採立木材積」および第6の2「間伐面積」（P38）を踏まえ、次の事項を指針として、市町内の気候、地形、土壌等の自然条件、森林資源の構成、森林に関する社会的要請、制限林の状況、既往の施業体系、間伐、保育の実施状況等を勘案して計画事項を定めるものとする。

(1) 間伐を実施すべき標準的な林齢および間伐の標準的な方法に関する指針

間伐とは、林冠がうっ閉し、立木間の競争が生じつつある森林において、主に目的樹種の一部を伐採して行う伐採方法であって、森林の立木の成育の促進並びに林分の健全化および利用価値の向上を図ることを旨とし、地域における既往の間伐方法を勘案して、間伐の回数、実施時期、間伐率等について、別表2「間伐の標準的な方法」（P52）に示す方法を標準として定めることとする。

なお、高齢級の森林における間伐は、立木の生長力が低下することに留意し実施時期等を定めることとする。

また、地域における自然条件や制限林等の状況を考慮しながら、低コスト施業の推進を図るために間伐率（本数率）30%以上の強度間伐にも取り組むものとし、一例を別表3「間伐の低コスト施業の一例」（P53）に示す。

(2) 保育の標準的な方法に関する指針

森林の立木の生育の促進および林分の健全化を図ることを旨とし、下記に示す内容を基礎として、地域の特性や既往の施業体系を勘案して定めるものとする。

なお、保育作業に当たっては、ニホンジカによる被害に配慮する観点から、過度の刈払いや目的樹種の生長を阻害しない樹木の伐採は極力避けるものとする。

①下刈

下刈については、目的樹種の生長を阻害する草本植物等を除去し、目的樹種の健全な育成を図るためにおこなうものとし、造林木が雑草類に被圧され、正常な生長が阻害されないように、樹高が雑草類の高さの1.5倍以上または60～70cm程度抜き出る林齢まで実施することとし、必要に応じて2回刈りを実施するものとする。

②木起し

雪圧等により倒伏した造林木は経済的な価値が損なわれ、場合によっては枯損する危険性があるため、積雪状況、傾斜等を勘案して実施するものとする。また、被災後早期に実施するものとする。

③つる切り

つるの巻付きや被覆によって造林木の形状が損なわれたり枯損したりしないように、つるの繁茂状況等を勘案し、なるべく早期に実施するものとする。

④除伐

除伐については、下刈の終了後、林冠がうっ閉する前の森林において、目的樹種の成長を阻害する樹木等を除去し、目的樹種の健全な生長を図るために行うものとし、下刈り終了後に雑木類との競合を避けるため、造林樹種や植栽本数、除伐対象木の生長状況に応じて、数年おきに実施するものとする。また、目的外樹種であっても、その生育状況や将来の利用価値を勘案し、有用なものは保存し育

成することとする。

⑤枝 打 ち

良質材の生産（無節、均一な年輪幅等）、採光による林床植生の確保や病害虫の予防のため、生産目標や造林樹種、植栽本数、造林木の生長等に応じて数回実施するものとする。

(3) その他必要な事項

育成単層林または天然生林において既に更新樹が生育している場合、複数の樹冠層を構成する育成複層林へ誘導し維持させるために、除伐等の保育を積極的に行うものとする。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

(1) 公益的機能別施業森林の区域の基準および当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

森林の有する公益的機能の別に応じて、当該公益的機能の維持増進を特に図るための森林施業を推進すべき森林の区域として、市町村森林整備計画において定める公益的機能別施業森林は、第2の1(1)「森林の整備および保全の目標」(P8)に示す森林の有する機能のうち、水源涵養機能、山地災害防止機能／土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能および生物多様性保全機能の各機能の維持増進を図るための森林施業を、積極的かつ計画的に実施することが必要かつ適切と見込まれる区域について、保安林など法令に基づき森林施業に制限を受ける森林の所在、対象森林に関する自然条件および社会的条件、森林の機能の評価区分、森林に関する社会的要請、森林所有者の受忍範囲等を勘案し、第2の1(2)「森林の有する機能ごとの森林整備および保全の基本方針」(P9)に基づき、水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林、土地に関する災害の防止および土壤の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の各区域について、次のとおり定めることとする。

なお、各区域については重複を可能とするが、それぞれの機能発揮に支障が生じないようにするものとする。

(a) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

本計画の森林の多くは琵琶湖の集水域に存することを踏まえ、水源かん養保安林、干害防備保安林、森林機能の評価区分において水源涵養機能の評価が中程度以上の森林等について、水質の保全又は水量の安定的確保のため伐採の方法を定める必要のある森林として定めるものとする。

(b) 土地に関する災害の防止および土壤の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

傾斜が急、傾斜の著しい変化点がある、山腹の凹曲部など水の集中流下する部分があるなどの地形的特徴のある森林、基岩風化や片理等の著しい進行、破碎帯又は断層線上、流れ盤であるなどの地質的特徴のある森林、土層内に異常の滞水層がある森林、石れき地からなる森林、表土が薄く乾性な土壤をもつ森林、下流域に保全対象が存在している森林、土砂の流出や土砂の崩壊の防備のための森林、人家や道路等の保全対象に隣接する森林や、土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林、水害防備保安林、なだれ防止保安林、落石防止保安林、山地災害危険地区、砂防指定地、急傾斜崩壊危険区域、森林機能の評価区分において山地災害防止機能の評価が高い森林等について、人家、農地、森林の土地又は道路その他の施設の保全のため伐採の方法を定める必要のある森林として定めるものとする。

(c) 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林
都市近郊等に所在する森林であって郷土樹種を中心とした安定した林相を
なしている森林、市街地や道路等と一体となり優れた景観美を構成している森
林、気象緩和や騒音防止等の機能を発揮している森林や、防風保安林、森林機
能の評価区分において生活環境保全機能の評価が高い森林等について、生活環
境の保全および形成のため伐採の方法を定める必要のある森林として定める
ものとする。

(d) 保健文化機能の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林

湖沼、瀑布、溪谷等の景観と一体となり優れた自然美を構成している森林、
紅葉等の優れた森林美を有する森林であって主要な眺望点から望見できる森
林、ハイキング・キャンプ等の保健・教育的利用の場として特に利用されてい
る森林、希少な動植物の保護のために必要な森林や、保健保安林、風致保安林、
国定公園や自然公園の特別地域、都市計画風致地区、鳥獣保護区特別地区、史
跡・名勝・天然記念物の周辺森林、森林機能の評価区分において保健文化機能
の評価が高い森林等について、自然環境の保全および形成並びに保健・教育・
文化的利用のため伐採の方法を定める必要がある森林として定めるものとし
る。

また、保健・文化・レクリエーション機能の維持増進を図る森林のうち、特
に地域独自の景観等が求められる森林については、特定広葉樹育成施業を推進
すべき森林として定める。

イ 施業の方法に関する指針

市町村森林整備計画の策定にあたっては、第2の1(2)に示す「森林の有する
機能ごとの森林整備および保全の基本方針」(P9)、別表4「伐採の方法を定め
る必要のある森林の指定基準」(P54)に基づき、次のとおり公益的機能別施業森
林ごとに計画事項を定めるものとする。

(a) 水源の^{かん}涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

伐期の延長を推進すべき森林とし、伐期の間隔を拡大する(標準伐期齢+
10年以上)とともに、主伐を皆伐により実施する場合は、伐採に伴う裸地化に
よる影響を軽減するため、伐採面積の規模縮小や分散を行い、更新未完了の面
積が連続して20haを超えないよう実施することとするが、市町村森林整備計
画において地形・地質等を勘案して10haを下限として伐区を縮小することが
できるものとする。

また、当該森林において、複層林施業を経営方針としている区域については、
必要に応じ市町村森林整備計画においてその経営方針に対応した施業を行う
旨を規定できるものとする。

現況が単層林のものについては、下層植生の維持を図りつつ適正な森林の立
木蓄積を維持し、根系の発達を確保するとともに、自然条件に応じて複層林施
業や広葉樹の導入による針広混交林施業を推進する。複層林施業について、主
伐は伐採木の周辺木の配置状況を考慮して行うものとする。

主伐後の伐採跡地については、早期更新を基本とし、本計画において定める標準的な本数を基準として、主伐に係る伐採材積の比率に応じて植栽するものとする。

造林樹種については、本計画において人工造林すべき樹種を主体として定めるものとする。なお、複層林の造成後は、上層木の成長に伴って、林内相対照度が低下し下層木の成長が抑制されることから、下層木の適確な生育を確保するため適時に間伐を実施することが必要であるが、この場合上層木の伐り過ぎによる公益的機能の低下を防止するため、一定の蓄積が常に維持されるようにするものとする。

さらに、間伐や択伐の実施により高齢級に移行させつつ確実な更新を図ることとする。

現況が天然生林のものについては、市町村森林整備計画においてぼう芽更新可能とされた区域又は、伐採後の造林を人工植栽により行う場合に限り皆伐による主伐を可能とし、それ以外の区域での主伐を行う場合は、伐採率（材積率）を70%までとする。

(b) 土地に関する災害の防止および土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

地形、地質等の条件を考慮した上で伐採に伴って発生する裸地化の縮小並びに回避を図るとともに天然力も活用した施業、風や騒音等の防備や大気浄化のために有効な森林の構成の維持を図る施業、美的景観の維持・形成に配慮した施業を推進することとする。

これらの森林の有する公益的機能を特に発揮させる必要のある森林については、択伐による複層林施業を推進すべき森林とし、伐採率（材積率）30%以下の択伐を実施することとする。なお、主伐後の造林を人工植栽により行う場合は、伐採率（材積率）40%以下の択伐を行うものとする。

適切な伐区の形状・配置等により、伐採後の林分において森林の有する公益的機能の確保ができる森林では、長伐期施業を推進すべき森林とし、長伐期施業（標準伐期齢×2倍以上）により、公益的機能をより高度に発揮させるとともに大径材の生産を目標とする。長伐期施業は、公益的機能をより高度に発揮させるとともに、大径材の生産を目標とする。林木の成長による過密化に伴う林内相対照度の低下を防止して下層植生を適正に維持し、一定の蓄積を維持できるように、適切に間伐を実施することとする。

なお、市町村森林整備計画において、地域の皆伐時期等を勘案して当該林齢の2割以内の範囲内で延長又は短縮した伐期齢を定めることができる。

また主伐を皆伐により実施する場合は、伐採に伴う裸地化による影響を軽減するため、伐採面積の規模縮小や分散を行い、更新未完了の面積が連続して20haを超えないよう実施するものとし、市町村森林整備計画において地形・地質等を勘案して10haを下限として伐区を縮小することができるものとする。

現況が天然生林のものについては、市町村森林整備計画においてぼう芽更新可能とされた区域又は、伐採後の造林を人工植栽により行う場合に限り皆伐による主伐を可能とし、それ以外の区域での主伐を行う場合は、伐採率（材積率）を70%までとする。

上記以外の森林においては、複層林施業を推進すべき森林とし、択伐以外の

方法により複層林を行うこととし、一定の材積を維持しつつ、伐採率（材積率）70%までとする。

なお、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち、特に地域独自の景観等が求められる森林において、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹を育成する森林施業を行うことが必要な場合は、特定広葉樹育成施業を推進すべき森林とし、特定広葉樹は郷土樹種を主体として、地域独自の景観、多様な生物の生息・生育環境を形成する森林を構成する樹種を指定するものとする。

特定広葉樹の伐採については、常に特定広葉樹の立木の蓄積が維持される範囲において行うものとする。

特定広葉樹以外の立木については、特定広葉樹が優勢となる森林を造成し、またはその状態を維持するため伐採を促進するものとする。

天然更新に必要な母樹のない森林など、植栽によらなければ特定広葉樹の立木の適確な生育を確保することが困難な森林の主伐跡地においては、適確な本数の特定広葉樹を植栽し、また天然更新が見込まれる場合においても、確実な更新を図るため必要に応じて更新補助作業を行うものとする。

また、特定広葉樹の適確な生育に必要な下刈、除伐等の保育を必要に応じて行うものとする。

(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準
および当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

対象森林に関する自然条件および社会的条件、森林の機能の評価区分等を参考とし、森林の一体性も踏まえつつ、林木の生育に適した土壌を有し、林木の生育が良好な森林で成長量が高い森林であって、地形・地理等から効率的な森林施業が可能な森林の区域について木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林として設定する とともにこの区域のうち施業の効率性が特に高い地域について「特に効率的な施業が可能な森林の区域」を設定するものとする。

なお、木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域と、公益的機能別施業森林の区域は重複することを可能とするが、公益的機能の発揮に支障が生じないよう施業方法を定めることとする。

イ 施業の方法に関する指針

第3の1(3)において、参考として示す樹種別の生産目標に対応する「主伐時期の目安」(P13)を標準として施業を行うこととするが、森林の公益的機能の発揮にも留意しつつ、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な森林整備を推進する とともに、特に効率的な施業が可能な森林における人工林の伐採後は、原則、植栽による更新を行うこととし、多様な木材需要に応じた持続的・安定的な木材等の生産が可能となる資源構成となるよう努めるものとする。

(3) その他必要な事項
該当なし

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道（林業専用道を含む）等の開設および改良に関する基本的な考え方

○基幹路網の現状

単位：延長 km

区 分	路線数	延 長
基幹路網	2 5 2	4 4 9
うち林業専用道	1	1

林道等の路網の開設については、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮し、木材の搬出を伴う間伐の実施や多様な森林への誘導等に必要な森林施業を効果的かつ効率的に実施するため、一般車両の走行を想定する「林道」と、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」からなる路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムに対応した規格・構造を柔軟に選択し、森林施業の優先順位に応じた整備を推進することとする。

上記を踏まえ、Ⅱ第2の1（1）に定める「森林の整備および保全の目標」（P8）の実現を図るための林道等の開設および改良の考え方を定めることとする。

なお、林道等の開設に当たっては、自然条件および社会的条件が良好であり、将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に木材の効率的な輸送等への対応の視点を踏まえた整備を推進することとする。

また、森林の利用形態や地形・地質等に応じて「林業専用道」の導入を検討することとし、「滋賀県林業専用道作設指針」に基づき整備を行うこととする。さらに、「森林作業道」を開設する場合は、「滋賀県森林作業道作設指針」に基づき、作設費用を抑えて経済性を確保しつつ、繰り返しの使用に耐えるよう丈夫で簡易な路網の整備を行うこととする。

ア 水源涵養機能^{かん}の発揮を期待する森林

高密な路網を整備し、一方では急傾斜地等崩壊の危険性が高い箇所を回避し整備するものとし、必要に応じて排水対策のための施設を整備するとともに、運搬車両の通行に必要な最小限の幅員に抑制するなどの取り組みを行うものとする。

イ 山地災害防止機能／土壌保全機能の発揮を期待する森林

保全・管理上必要な路線を整備するとともに、林地の改変、自然環境への影響を極力抑えた規格・構造とする。

ウ 快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能の発揮を期待する森林

森林体験活動や健康づくりの場として、森林と人とのふれあい等を重視する森林

において、森林のアクセス等に必要な路網整備を行う場合は、利用者の利便性も考慮しつつ、景観や生態系の保全に配慮した線形、構造、施設を整備する。

エ 生物多様性保全機能の発揮を期待する森林

景観や生態系の保全が特に求められる森林については、新たな開設は極力回避することとし、森林の管理上必要最小限のもののみ整備を行う。

オ 木材等生産機能の発揮を期待する森林

森林施業の効率を向上させるため、地域の条件に応じて、車両系・架線系林業機械による傾斜等に応じた作業システム等に、最も効率的で、開設コストを低減した路網整備を計画的に推進することとする。

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準および作業システムの基本的な考え方

効率的な森林施業を推進するために、林地の傾斜区分や搬出方法に応じた路網密度の水準や、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムについて次のとおり定める。なお、作業システムの一例をP29に示す。

○効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準

区 分	作業システム	路網密度	
			基幹路網
緩傾斜地 (0° ~ 15°)	車両系 作業システム	100 ~ 250 m/ha	35 ~ 50 m/ha
中傾斜地 (15° ~ 30°)	車両系 作業システム	75 ~ 200 m/ha	25 ~ 40 m/ha
	架線系 作業システム	25 ~ 75 m/ha	
急傾斜地 (30° ~ 35°)	車両系 作業システム	60 ~ 150 m/ha	15 ~ 25 m/ha
	架線系 作業システム	15 ~ 50 m/ha	
急峻地 (35° ~)	架線系 作業システム	5 ~ 15 m/ha	5 ~ 15 m/ha

※ 「架線系作業システム」とは、林内に架設したワイヤーロープに取り付けた搬器等を移動させて木材を吊り上げて集材するシステム。タワーヤード等を活用する。

「車両系作業システム」とは、林内にワイヤーロープを架設せず、車両系の林業機械により林内の路網を移動しながら木材を集積、運搬するシステム。プロセッサ、フォワーダ等を活用する。

ここに示す作業システムと路網密度については、滋賀県全体の平均的な水準を示しており、実施に当たって市町村森林整備計画および現地の状況と、採用する作業システムに応じて個別の検討を行う。

(3) 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）の基本的な考え方

5の(2)に示す「効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準および作業システムの基本的な考え方」（P26）を踏まえ、基幹路網の整備と森林施業の集約化により低コストの森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）について、次の事項を参考とし該当する区域について、市町村森林整備計画においてその区域を定めることとする。

○地形・地質

傾斜が急峻ではない。

軟弱な地質や土壌ではない。

○森林機能の評価区分

木材等生産機能がHまたはM

○傾斜毎の路網密度水準の分布

基幹路網密度水準が1 / 2 未満

基幹路網密度水準が1 / 2 以上～水準未満

(4) 路網の規格・構造についての基本的な考え方

適切な規格・構造の路網の整備を図る観点等から、路網整備にあたっては、「林道規程」、「滋賀県林業専用道作設指針」および「滋賀県森林作業道作設指針」に則り開設を行うものとする。

(5) 林産物の搬出方法等

ア 林産物の搬出方法

林産物の搬出に当たっては、森林の有する多面的機能を確保しつつ、森林資源を循環利用し、適切な森林整備を推進するため、立木の伐採・搬出に当たっては国が示す「主伐時における伐採搬出指針」を踏まえ適切な搬出方法等を定めることとする。

イ 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法

該当なし

(6) その他必要な事項

該当なし

6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化

その他森林施業の合理化に関する事項

地域の森林資源の状況、地域における森林所有者の状況および施業の実施状況並びに関連する行政施策の目標等を勘案し、地域内の県や市町、森林組合等、森林・林業・木材産業等の関係者の合意を図りつつ、次の事項について計画的かつ総合的に推進するものとする。

(1) 森林の経営の受委託等による森林の経営規模の拡大および森林施業の共同化に関する方針

委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等について、不在村者を含めた森林所有者への働きかけ、施業集約化に必要な情報提供や助言やあっせんなど、地域における集落会議の開催等による合意形成や普及啓発を推進し、森林組合・林業事業者への長期の森林経営委託を進めるとともに、自力による適正な管理が困難な森林所有者に対する林業経営の委託への転換を目指すこととする。

その際には、不在村者や自力による適正な管理が困難な森林所有者を含めるとともに、長期の森林経営委託等が円滑に進むよう、施業内容やコストを明示した提案型施業の普及や定着を促進する。

また、森林の施業と保護の持続的な実施および集約化した森林施業や効率的な路網整備のための森林経営計画による施業の確実な実施を促進するものとする。

併せて、今後の間伐等の適切な整備および保全を推進するための条件整備として、境界の明確化など森林管理の適正化を図るものとする。

(2) 森林経営管理制度の活用の促進に関する方針

森林の経営管理（自然的経済的社会的諸条件に応じた適切な経営又は管理を持続的に行うことをいう。以下に同じ。）を森林所有者自らが実行できない場合には、市町が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林については意欲と能力のある林業経営者に再委託するとともに、再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については市町自ら経営管理を実施する森林経営管理制度の活用の促進に関する方針を定めるものとする。

(3) 林業に従事する者の養成および確保に関する方針

林業に従事する者の育成および確保を行うために、就業相談会の開催、就業体験等の実施および技能・技術の習得のための計画的な研修の実施等による林業就業者のキャリア形成支援を推進する。また、通年雇用化や社会保険の加入促進、技能等の客観的評価の促進等による他産業なみの労働条件の確保等、雇用管理の改善ならびに事業量の安定確保、合併・協業化および生産性の向上等による事業の合理化を一体的・総合的に促進するとともに、その支援体制の整備に努めるものとする。併せて、持続的な森林経営の推進に必要な技術・知識を保有する森林総合監理士（フォレストラー）や森林施業プランナーの育成を促進する。

さらに、経営方針を明確化し、林業経営基盤を強化することにより、長期にわたり持続的な経営を持続できる林業経営体および林業事業者の育成に向けて林業経営基盤の強化を一体的かつ総合的に促進する。

者グループの育成を図るとともに、林業と木材産業の緊密な連携強化による、生産から流通まで精通したグループの育成も図るものとする。

琵琶湖の水源を取り巻く森林において、上下流の住民が一体となって森林づくりに参加できるよう、森林整備への県民の主体的な参加の促進や森林づくり団体の活動や「やまのこ事業」を初めとした森林環境学習への支援、企業等の活動による森林づくりを行う「琵琶湖森林づくりパートナー協定」などを推進する。

第4 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

調和のとれた快適な地域環境の整備を推進する観点に立ち、森林の適正な保全と利用との調整を図ることとし、地域における飲用水等の水源として依存度の高い森林、良好な自然環境を形成する森林等、安全で潤いのある居住環境の保全および形成に重要な役割を果たしている森林の、他用途への転用は極力避けるものとする。

また、土石の切り取りや盛土等を行う場合には、気象や地形および地質等の自然条件、地域における土地利用および森林の現況並びに土地の形質の変更目的および内容を総合的に勘案し、実施地区の選定を適切に行うこととする。

さらに、土砂の流出又は崩壊、水害等の災害の発生をもたらす、又は地域における水源の確保、環境の保全に支障を来すことのないよう、その態様等に応じて、法面の緑化、土留工等の防災施設および貯水池等の設置並びに環境の保全のための森林の適正な配置等適切な措置を講ずるものとする。特に、太陽光発電施設の設置にあたり、太陽光パネルによる地表面の被覆により雨水の浸透能や景観に及ぼす影響が大きいことなどの特殊性をふまえ、開発行為の許可基準の適正な運用を行うこととする。

- (2) 樹根および表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区
 森林の施業および土地の形質の変更に当たって、水源涵養、土砂の流出や崩壊防止上、特に林地の保全に留意すべき森林について、次のとおり定める。

○樹根および表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

単位：面積 ha

区分	面積	留意すべき事項	備考	
総数	<u>76,662</u>	水源涵養や山地災害防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、大面積皆伐を避け、林地の形質の変更に当たっては、林地保全に支障を及ぼさないよう十分に留意する。	林小班毎の面積の縦覧場所は、滋賀県琵琶湖環境部森林政策課、西部・南部森林整備事務所、甲賀森林整備事務所、中部森林整備事務所とする。	
市	大津市			<u>18,501</u>
	近江八幡市			945
町	草津市			104
	守山市			—
村	栗東市			1,552
	甲賀市			<u>27,032</u>
別内	野洲市			<u>898</u>
	湖南市			3,424
	東近江市			<u>19,040</u>
訳	日野町			<u>4,053</u>
	竜王町			1,114

注：総数と内訳の計は、四捨五入のため一致しないことがある。

- (3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林およびその搬出方法
 該当なし
- (4) その他必要な事項
 該当なし

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する方針

保安林については、第2の1に定める「森林の整備および保全の目標その他森林の整備および保全に関する基本的な事項」(P8)に則し、地域における森林に関する自然条件、社会的要請および保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の防備、保健・風致の保存等の目的を達成するため保安林に指定する必要がある森林について、水源かん養保安林、土砂流出防備保安林、保健保安林等の指定に重点を置いて保安林の配備を計画的に推進するとともに、必要に応じて指定施業要件を見直し、その保全を確保することとする。

(2) 保安施設地区の指定に関する方針

該当なし

(3) 治山事業の実施に関する方針

治山事業については、第2の1に定める「森林の整備および保全の目標その他森林の整備および保全に関する基本的な事項」(P8)に則し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、事前防災・減災の考え方に立ち、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽および本数調整伐等の保安林の整備並びに溪間工、山腹工等の治山施設の整備を、地域の特性に応じた形で計画的に推進する。また、近年多発する豪雨時に発生する流木対策および台風等による風倒木対策にも留意し取り組むこととする。

治山事業の計画について第6の5(3)「実施すべき治山事業の数量」(P45)のとおり計画する。その際、土砂流出防備等の機能の十全な発揮を図る観点から、保安林の配備による伐採等に対する規制措置と治山事業の実施の一体的な運用等に努めるものとする。

(4) 特定保安林の整備に関する事項

該当なし

(5) その他必要な事項

該当なし

3 鳥獣害の防止に関する事項

(1) 鳥獣害防止森林区域の基準および当該区域内における鳥獣害の防止の方法に関する方針

市町村森林整備計画の策定にあたっては、鳥獣害防止森林区域の設定、当該区域内における鳥獣害の防止の方法について、次の事項を方針として計画事項を定めるものとする。

ア 区域の設定の基準

「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について」（平成 28 年 10 月 20 日付け 28 林整研第 180 号林野庁長官通知）に基づき、ニホンジカ等による森林被害の状況等を把握できる全国共通のデータ等に基づき、鳥獣害を防止するための措置を実施すべき森林の区域を設定することとする。

イ 鳥獣害の防止の方法に関する方針

森林の適確な更新および造林木の確実な育成を図ることを旨として、地域の実情に応じて、対象鳥獣の別に、当該対象鳥獣による被害の防止に効果を有すると考えられる方法により、防護柵の設置もしくは維持管理、幼齢木保護具の設置、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリングの実施等の植栽木の保護措置又はわな捕獲（ドロップネット、くくりわな、囲いわな、箱わな等によるものをいう。）、誘引狙撃等の銃器による捕獲等の捕獲による鳥獣害防止対策を推進する旨を定めることとする。

その際、関係行政機関等と連携した対策を推進することとし、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携・調整に努めることとする。

(2) その他必要な事項

近年ニホンジカの生息数の増加および生息域の拡大により、林業被害のみならず下層植生の食害により土砂流出の危険性の増大、森林更新の阻害、生物多様性の低下など大きな影響が出ており、捕獲の推進と併せて森林土壌対策や希少種保護等の森林保全対策を実施する。

また、野生鳥獣との共存に配慮し、生物多様性が保全されるような多様な森林の整備、野生鳥獣と地域住民との棲み分けに配慮した緩衝帯の整備等を推進する。

さらに市町においては、(1)のほか、鳥獣害の防止の方法の実施状況を確認するため、必要に応じて、植栽木の保護措置実施箇所への調査・巡回、各種会議での情報交換、区域内で森林施業を行う林業事業者や森林所有者等からの情報収集等に努めるものとする。

4 森林病虫害の駆除および予防その他の森林の保護に関する事項

(1) 森林病虫害等の被害対策の方針

森林病虫害等による被害の未然防止、早期発見および早期駆除に努めることとする。特に松くい虫による被害については、防除対策の重点化、地域の自主的な防除活動等の一層の推進を図るとともに、被害の状況等に応じ、被害跡地の復旧および抵抗性を有するマツまたは他の樹種への計画的な転換の推進を図ることとする。

なお、抵抗性を有するマツへの転換にあたっては、気候・土壌等の自然条件に適合したものを導入することとする。

また、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害についても、被害監視から防除実行までの地域の体制づくり、新たな技術の導入も含めた適切な防除を推進するとともに、関係団体とも連携して里山等における広葉樹林の整備を通じた被害の未然防止や被害跡地の復旧を図ることとする。

(2) 鳥獣害対策の方針（3に掲げる事項を除く。）

3(1)アにおいて定める対象鳥獣以外の鳥獣による森林被害および鳥獣害防止森林区域外における対象鳥獣による森林被害については、その防止に向けて滋賀県第1種特定鳥獣保護計画、滋賀県第2種特定鳥獣管理計画や各地域の市町で構成される協議会が作成する被害防止計画とも整合を図りつつ、森林被害のモニタリング等を実施し、その結果を踏まえて、市町、森林組合、森林所有者および関連団体が連携し、加害個体の捕獲と合わせて、防護柵の設置やテープ巻等の防除対策を併用していくことで、効果的に推進する。

また、緩衝帯の整備等を推進するなど野生鳥獣の「生息環境管理」と、前述の「捕獲」、「被害防除」とを合わせた3つの総合的な対策を実施する。

(3) 林野火災の予防の方針

山火事等の森林被害を未然に防止するため、林内歩道等の整備を図りつつ、森林巡視や山火事警防等を適時実施するとともに、防火線や防火樹林帯等の整備を推進することとする。

なお、市町村森林整備計画において、森林病虫害の駆除等のために火入れを実施する場合の留意事項を定めるものとする。

(4) その他必要な事項

風雪害等による折損被害等の防除のため、必要な時期に間伐を行い、手遅れとならないよう適正な形状比の森林を育成する。

また、間伐等の遅れにより形状比が高くなりすぎた森林では、強度の間伐を控えて弱度の間伐を繰り返すこととする。

第5 保健機能森林の区域の基準その他保健機能森林の整備に関する事項

保健機能森林とは、森林の有する保健機能を高度に発揮させるための森林の施業、および広く一般県民の利用に供する施設の整備の一体的な推進により保健機能の増進を図るべき森林を指し、保健機能を高度に発揮させるため、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」第3条第1項に規定する森林の保健機能の増進に関する基本方針に基づき、森林資源の総合的利用を促進するものとし、市町村森林整備計画の策定に当たっては、次の事項を指針として、自然景観等の自然条件、森林資源の構成、周辺における森林レクリエーションの動向等を勘案して保健機能森林の整備に関する事項を定めるものとする。

(1) 保健機能森林の区域の基準

保健機能森林は、河川、湖沼、溪谷等と一体となって優れた自然美を構成している森林等、保健機能の高い森林のうち、自然環境の保全に配慮しつつ、地域の実情、利用者の意向等からみて、森林の保健機能の増進を図るため整備することが適当であり、かつ森林施業の担い手が存在するとともに、森林保健施設の整備が行われる見込みのある森林について設定することとする。

(2) その他保健機能森林の整備に関する事項

ア 保健機能森林の区域内の森林における施業の方法に関する指針

保健機能森林の施業については、森林の保健機能の増進を図るとともに、施設の設置に伴う森林の有する水源涵養、^{かん} 県土保全等の機能低下の補完や、風致・景観の維持、裸地化の回避のため、森林の特色を踏まえて、択伐施業、針広混交林化、広葉樹育成施業等の多様な施業を積極的に実施するものとする。

また、下刈、つる切り、除伐等を適切に行うとともに、利用者が快適に散策等を行えるような適度な林内照度を維持するため、間伐、枝打ち等を積極的に行うものとする。

なお、法令等により施業方法に制限が設けられている場合は、当該法令に定めるところによるとともに、保健機能の増進に十分配慮した施業を行うものとする。

イ 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する指針

森林保健施設の整備に当たっては、自然環境や県土の保全および文化財の保護に配慮しつつ、地域の実情、利用者の意向等を踏まえて、多様な森林保健施設の整備を行うこととする。

また、対象森林を構成する立木の期待平均樹高を定めるものとする。

※期待平均樹高：その立木が標準伐期齢に達したときに期待されている樹高
(すでに標準伐期齢に達している立木にあってはその樹高)

ウ その他必要な事項

保健機能森林の管理・運営に当たっては、自然環境の保全に配慮しつつ、森林の保全と両立した森林の保健機能の増進が図られるよう、地域の実情、利用者の意向

等を踏まえて、森林および森林保健施設の適切な管理、防火体制および防火施設の整備並びに利用者の安全確保等に留意することとする。

なお、保健機能森林の設定や整備に当たっては、当該森林によって確保されてきた自然環境の保全および県土の保全に適切な配慮を行うものとする。

第6 計画量等

1 間伐立木材積その他の伐採立木材積

単位：材積 1000m³

区 分	総 数			主 伐			間 伐		
	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹
総 数	- <u>979</u>	<u>926</u>	<u>53</u>	<u>392</u>	<u>339</u>	<u>53</u>	<u>587</u>	<u>587</u>	0
うち前半5年分	500	471	29	192	163	29	308	308	0

2 間伐面積

単位：面積 ha

区 分	間伐面積
総 数	12,478
うち前半5年分	7,637

3 人工造林および天然更新別の造林面積

単位：面積 ha

区 分	人工造林	天然更新
総 数	1,430	<u>543</u>
うち前半5年分	652	293

4 林道の開設又は拡張に関する計画

単位：延長 km 面積 ha 材積 m³

開設 拡張 別	種 類	(区分)	位 置 (市町)	路 線 名	延 長	利 用 区 域			うち前半 5年分	備 考	
						面 積	材 積				
							針 葉 樹	広 葉 樹			
開設	自動車道	林業専用道	大 津 市	葛川西部	1.0	2,338	260,965	100,811			
				葛川東部	1.0	2,092	181,687	106,222			
				計	2.0	4,430	442,652	207,033			
			(旧土山町)	甲 賀 市	黒滝・山女原	0.8	42	15,763	0		
				林業専用道	笹路・中谷	0.7	16	2,500	0	○	
					平子東山	1.4	46	5,600	1,400	○	
				林業専用道	山女原長谷	0.9	18	3,000	0	○	
					(旧信楽町)	一 の 谷	1.2	42	6,469	995	○
				蔵骨支線		0.7	85	12,255	367	○	
				上畑大谷		0.9	42	7,181	773	○	
				畑 東 側		0.7	21	3,624	179	○	
				黒 谷 北		0.7	28	23,142	365	○	
				市 ノ 谷		0.6	25	2,911	715		
				釜 ケ 谷		0.9	33	4,057	462		
				下 流 谷		0.7	39	4,485	475		
				滝 谷		0.6	37	3,661	493		
				計		10.8	474	94,648	6,224		
				東 近 江 市 (旧愛東町)		角 井	1.0	65	6,985	2,994	○
					計	1.0	65	6,985	2,994		
				東 近 江 市 (旧湖東町)	秦川押立山	0.1	161	(352)	(41,933)	(2,669)	
			三 ツ 又		0.3	15	1,855	139			
			計		0.4	176	21,409	794			
			合 計		14.2	5,145	565,694	217,045			

注：上段（ ）書きは2以上の市町にわたる路線の利用区域の総数である。

(全 期)

単位：延長 km 面積 ha 材積 m³

開設 拡張 別	種 類	(区分)	位 置 (市町)	路 線 名	延 長	利 用 区 域			うち前半 5年分	備 考
						面 積	材 積			
							針 葉 樹	広 葉 樹		
拡張	自動車道 (改良)		大 津 市	牧 富 川	0.8	(2,541)	(322,547)	(69,694)		
				明 王 谷	0.8	761	91,414	34,097	○	
				上田上逢坂	1.6	1,231	12,390	41,475		
				前 谷	0.1	151	18,759	5,544		
				蔵 野	0.1	31	5,600	231	○	
				鎌 倉 谷	0.5	93	8,073	2,283	○	
				花 折 峠	0.5	378	47,700	24,565		
				殿 山	0.1	101	20,200	1,213	○	
				北 出	0.2	30	8,323	948	○	
				南 ケ 谷	0.1	72	2,590	600	○	
				石 倉	0.1	33	3,476	1,128	○	
				柳 谷	0.1	38	3,627	0	○	
				真 岩	0.1	15	1,476	76	○	
				大 小 場	0.1	35	0	10,000	○	
			大 久 保	0.1	80	6,075	605	○		
			計	0.2	55	5,816	444	○		
			計	5	3,104	235,519	123,209			
			近江八幡市	織 山	0.4	77	6,135	768	○	
				長 命 寺	0.1	10	1,692	59	○	
				計	0.5	87.0	7,827.0	827.0		
			栗 東 市	走 井	2.7	125	11,080	1,270		
				平 谷	1.0	52	2,604	610		
				岩 坪	0.4	30	2,290	20		
				心 行 路	4.5	213	29,152	2,055	○	
				十 九 道	0.5	31	4,334	175		
				谷 山	0.2	20	0	1,350	○	
				金 勝	0.5	146	26,807	190	○	
				道 々	0.1	92	12,941	179	○	
			計	9.8	709	89,208	5,849			
			野 洲 市 (旧野洲町)	希 望 ケ 丘	1.4	61	36	9,316		
				計	1.4	61	36	9,316		
			甲 賀 市 (旧土山町) (旧信楽町)	杓 谷	0.8	71	19,613	0		
				白 倉 谷	0.5	1,227	114,165	33,280		
				多 羅 尾 支 線	1.0	39	5,071	1,315	○	
				牧 富 川	0.1	(2,541)	(322,547)	(69,694)	○	

(全 期)

単位：延長 km 面積 ha 材積 m³

開設 拡張 別	種 類	(区分)	位 置 (市町)	路 線 名	延 長	利 用 区 域			うち前半 5年分	備 考		
						面 積	材 積					
							針 葉 樹	広 葉 樹				
拡張	自動車道 (改良)	(旧甲賀町)	(旧甲南町)	神唐戸川	0.1	635	75,547	6,871	○			
				上磯尾	0.1	86	5,476	1,064	○			
				下磯尾	0.1	96	6,012	423	○			
				牧・杉谷	0.1	631	76,958	9,958	○			
				計	2.8	4,565	533,975	88,508				
				湖 南 市	(旧甲西町)	三雲支線	0.1	20	3,447	185	○	
						三雲	0.1	58	10,039	66	○	
						大納言	0.1	160	38,429	747	○	
						ジリメキ	0.1	27	6,750	1,447	○	
						正福寺	0.1	48	4,217	3,453	○	
						西寺	0.2	65	5,976	124	○	
						阿星支線	0.1	43	8,066	859	○	
		計	0.8			421	76,924	6,881				
		東 近 江 市 (旧八日市市)	(旧愛東町)			延命	0.3	91	10,853	145		
						太良谷	0.3	193	15,939	1,947	○	
				横根谷	0.4	199	4,353	3,275				
		(旧湖東町)	秦川押立山			(352)	(41,933)	(2,669)				
				0.4	161	19,554	655	○				
		(旧永源寺町)	御池	御池	2.0	1,864	170,601	89,459	○			
				茨川	2.0	1,837	46,942	107,931	○			
				和南	1.2	142	12,730	3,334				
				萱尾蓼畑	0.8	102	4,590	1,526				
				瀬川	1.0	258	14,889	6,666	○			
				辺谷	0.4	140	15,114	1,680	○			
				甲津畑原	2.7	91	13,163	1,049	○			
				杠葉尾	2.5	765	41,831	31,741				
				甲津畑	2.0	577	49,417	28,819	○			
				堂の後	0.1	462	19,226	8,009	○			
				岩ヶ谷	0.5	1,602	33,740	47,621	○			
				計	16.7	8,575	480,578	334,722				
				日 野 町	杓子ヒミズ谷	杓子ヒミズ谷	1.8	135	13,404	8,024		
		水木谷	2.3			229	19,619	7,543				
		石谷	2.0			62	6,332	515				
		東山	1.0			81	10,868	1,034				
		三峯	0.6			234	15,934	4,890				
		北畑	0.6			140	23,641	5,511				
		奥山	0.2			290	46,122	1,140				
		勝手谷	0.4			79	12,392	215				
		千本野	0.4			92	13,250	613				
		音羽谷	0.4			91	12,648	685				
		宝殿	1.6			141	13,348	1,270				
		南谷	0.2			44	4,384	481				
井の谷	0.4	42	5,854			328						
計	11.9	1,660	197,796			32,249						
合 計						49.4	19,182	1,621,863	601,561			

注：上段()書きは2以上の市町にわたる路線の利用区域の総数である。

(全 期)

単位 : 延長 km 面積 ha 材積 m3

開設 拡張 別	種 類 (区分)	位 置 (市町)	路 線 名	延 長	利 用 区 域			うち前半 5年分	備考	
					面 積	材 積	材 積			
					針 葉 樹	広 葉 樹				
拡張	自動車道 (舗装)	大 津 市	牧 富 川	1.0	906	29,473	15,896	○		
			明 王 谷	1.0	1,231	12,390	41,475			
			鎌 倉 谷	1.5	378	47,700	24,565			
			北 出	3.0	72	2,590	600			
			平 皆 子 谷	1.0	515	17,593	25,907			
			中 村	1.0	389	14,198	20,121			
			大 宮 谷	1.0	231	53,370	320			
			平 子 谷	1.0	177	39,166	97			
			大 谷	0.5	37	1,988	628			
			大 小 場	0.3	80	6,075	605	○		
			計	11.3	4,016	224,543	130,214			
		栗 東 市	道 々	1.6	92	11,199	155			
			走 井	5.8	125	11,080	1,270			
			谷 山	0.5	20	0	1,350			
			岩 坪	0.8	30	2,290	20			
			岩 坪 支 線	0.3	10	1,692	59			
	計	9.0	277	26,261	2,854					
		湖 南 市 (旧甲西町)	ジリメキ	1.4	27	6,750	1,447	○		
			大 納 言	0.2	160	38,429	747	○		
			三 雲	0.2	58	10,039	66	○		
			計	1.4	27	6,750	1,447			
			甲 賀 市 (旧甲南町)	上 磯 尾	1.7	86	5,476	1,064	○	
				下 磯 尾	1.2	96	6,012	423	○	
				計	2.9	182	11,488	1,487		
				(旧土山町)	奥 山	3.0	637	111,223	10,591	
	(旧甲賀町)	河 内			2.0	113	14,997	291		
		計			7.9	932	137,708	12,369		
	東 近 江 市 (旧永源寺町)	茨 川			1.1	1,837	46,942	107,931	○	
		堂 の 後	3.0	462	19,226	8,009				
		宮 ケ 谷	1.0	180	2,671	5,660				
		(旧湖東町)			(352)	(41,933)	(2,669)			
		秦 川 押 立 山	0.2	161	19,554	655				
		南 谷	0.2	24	2,581	0				
		三 ツ 又	1.1	85	10,388	778				
	計	6.6	2,749	101,362	123,033					
	日 野 町	杓 子 ヒ ミ ズ 谷	3.4	135	13,404	8,024				
		水 木 谷	2.6	229	19,619	7,543				
		東 谷	2.0	81	10,868	1,034				
		北 畑	2.5	140	23,641	5,511	○			
		勝 手 谷	1.0	79	12,392	215				
		計	11.5	664	79,924	22,327				
合 計				47.9	8,774	600,782	292,651			

注 : 上段 () 書きは2以上の市町にわたる路線の利用区域の総数である。

開設・拡張別		延 長	路線数	
全 期	開 設	14.2	18	
	拡 張	改 良	49.4	69
		舗 装	47.9	33

5 保安林整備および治山事業に関する計画

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

① 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

単位：面積 ha

保安林の種類	面積	うち前半	備考
		5年分	
総数 (実面積)	47,088	722	
水源涵養のための保安林	12,334	412	
災害防備のための保安林	25,193	170	
保健・風致の保存等のための保安林	9,561	140	

注1) 保安林面積の総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、内訳の合計に一致しない。

注2) 水源涵養のための保安林とは、森林法第25条第1項第1号の目的を達成するための保安林である。

注3) 災害防備のための保安林とは、森林法第25条第1項第2号～第7号の目的を達成するための保安林である。

注4) 保健・風致の保存等のための保安林とは、森林法第25条第1項第8号～第11号の目的を達成するための保安林である。

② 計画期間内において保安林の指定または解除を相当とする森林の種類別の
所在および面積等

(全 期)

単位：面積 ha

指定・解除 別	種 類	森林の所在		面積	うち前半 5年分	指定 または解 除を必 要	備 考
		市	町 区 域				
指 定	水源涵養のための保安林	大 津 市	一 円	793	124	森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため	
		甲 賀 市		1,091	170		
		東 近 江 市		760	118		
		計		2,644	412		
	災害防備のための保安林	大 津 市	一 円	69	48		
		甲 賀 市		391	66		
		野 洲 市		50	2		
		湖 南 市		8	8		
		東 近 江 市		260	46		
		計		1,392	170		
解 除		大 津 市	一 円	1	1	転用等	
		湖 南 市		1	1		
		栗 東 市		1	1		
		竜 王 町		1	1		
		甲 賀 市		2	2		
		計		6	6		

(全 期)

単位：面積 ha

指定・解除別	種 類	森林の所在		面積	うち前半 5年分	指定 または解 除を必要	備 考
		市	町 区 域				
指 定	保健・風致の保存等のための保安林	大 津 市	一 円	328	38	森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため	
		近江八幡市		214	2		
		栗 東 市		224	3		
		甲 賀 市		94	52		
		野 洲 市		240	2		
		湖 南 市		278	6		
		東 近 江 市		403	36		
		計		2,177	140		
解 除		大 津 市	一 円	1	1	転用等	
		計		1	1		

③ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積

(全 期)

単位：面積 ha

種類	指定施業要件の整備区分				
	伐採方法の 変更面積	皆伐面積の 変更面積	択伐率の 変更面積	間伐率の 変更面積	植栽の 変更面積
水 源 かん 涵 養	968	968	9,684	9,684	9,684
災害防備	1,715	1,715	17,149	17,149	17,149
保健・風致 の保存等	649	649	6,489	6,489	6,489

注1)：択伐率の変更は、森林の立木材積率を30%から40%に変更するものである。

注2)：間伐率の変更は、森林の立木材積率を20%から35%に変更するものである。

(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在および面積等
該当なし

(3)実施すべき治山事業の数量

治山事業の数量（一部旧市町村名で表示）

森 林 の 所 在			治山事業		主 な 工 種
市 町 村	区 域		施行 地区数	うち前半 5年分	
	代 表 的 地 名	林班			
大 津 市	計		45	32	
旧大津市			37	25	
旧志賀町			8	7	
栗 東 市	計		11	11	
野 洲 市	計		4	2	
旧野洲町			4	2	
湖 南 市	計		15	12	
旧石部町			2	2	
旧甲西町			13	10	
甲 賀 市	計		64	53	
旧水口町			10	6	
旧土山町			16	14	
旧甲賀町			10	10	
旧甲南町			3	2	
旧信楽町			25	21	
近江八幡市	計		16	16	
旧近江八幡市			9	9	
旧安土町			7	7	
東 近 江 市	計		32	19	
旧八日市市			2	2	
旧永源寺町			21	11	
旧五個荘町			0	0	
旧能登川町			1	1	
旧愛東町			4	2	
旧湖東町			4	3	
日 野 町	計		12	7	
竜 王 町	計		1	1	
湖 南 地 域	森 林 計 画 区 合 計		200	153	

治山事業の数量（一部旧市町村名で表示）

森 林 の 所 在			治山事業		
市 町 村	区 域		施行 地区数	うち前半 5年分	主 な 工 種
	代 表 的 地 名	林班			
旧大津市	仰 木 町	2,3,7,8,9	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	伊 香 立 南 庄 町	20,21,22	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧大津市	伊 香 立 生 津 町	24,25,27	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	伊 香 立 北 在 地 町	30	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	伊 香 立 途 中 町	34,35,38,39,40	1	○	溪間工
旧大津市	伊 香 立 上 龍 華 町	41,42,43	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 坂 下 町	59	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 坂 下 町	60	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 坂 下 町	66,67	1		溪間工 山腹工 森林整備等
旧大津市	葛 川 貫 井 町	112,113,114	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 木 戸 口 町	72,73	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 中 村 町	75,79,80,81,82	1	○	溪間工
旧大津市	葛 川 坊 村 町	83	1	○	溪間工
旧大津市	葛 川 坊 村 町	95	1	○	溪間工
旧大津市	葛 川 坊 村 町	82,96	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 坊 村 町	98,99	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	葛 川 町 居 町	100	1		溪間工 山腹工
旧大津市	葛 川 梅 ノ 木 町	105,106	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	坂 本 本 町	119,120	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧大津市	滋 賀 里 1 丁 目	136	1	○	溪間工
旧大津市	園 城 寺 町	153	1	○	溪間工
旧大津市	藤 尾 奥 町	154,155	1	○	溪間工
旧大津市	膳 所 上 別 保 町	159	1	○	山腹工
旧大津市	北 大 路 3 丁 目	160	1	○	山腹工
旧大津市	国 分 2 丁 目	161	1	○	溪間工
旧大津市	石 山 寺 辺 町	163,164,166	1	○	溪間工 山腹工
旧大津市	石 山 南 郷 町	168,169,171	1	○	溪間工 山腹工
旧大津市	石 山 外 畑 町	172,173,174	1	○	溪間工 山腹工
旧大津市	石 山 内 畑 町	176,177	1	○	溪間工 山腹工
旧大津市	田 上 森 町	189,195,196	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	大 石 富 川 町	228,229,230	1		溪間工 森林整備等
旧大津市	大 石 東 町	242	1	○	溪間工 森林整備等
旧大津市	大 石 中 町	243			
旧大津市	大 石 龍 門 町	245~248			
旧大津市	大 石 龍 門 町	251	1	○	山腹工
旧大津市	大 石 小 田 原 町	258,262	1		溪間工 山腹工
旧大津市	大 石 淀 町	255,256	1		溪間工 山腹工
旧大津市	大 石 曾 束 町	264~271	1	○	溪間工 山腹工
旧大津市	大 鳥 居 町	314	1		森林整備等
旧志賀町	北 小 松	6	1	○	山腹工
旧志賀町	南 小 松	14,15,16,17,18	1	○	溪間工 山腹工
旧志賀町	北 比 良	25,29,30,43,44	1	○	溪間工 山腹工
旧志賀町	南 比 良	49,50	1	○	溪間工 山腹工
旧志賀町	大 物	51,52	1		溪間工
旧志賀町	木 戸	68,69	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧志賀町	和 邇 北 浜	91	1	○	溪間工 山腹工
旧志賀町	八 屋 戸	73,74	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
栗 東 市	荒 張	17,18,19	1	○	溪間工 森林整備等
栗 東 市	荒 張	15,16	1	○	溪間工 森林整備等
栗 東 市	御 園	6	1	○	山腹工
栗 東 市	東 坂	6	1	○	山腹工
栗 東 市	東 坂	7	1	○	溪間工

治山事業の数量（一部旧市町村名で表示）

森 林 の 所 在					治山事業		
市 町 村	区 域				施行 地区数	うち前半 5年分	主 な 工 種
	代 表 的 地 名		林 班				
栗 東 市	六 地 蔵			28	1	○	山腹工
栗 東 市	下 戸 山			23	1	○	山腹工
栗 東 市	下 戸 山			24	1	○	山腹工
栗 東 市	安 養 寺			25	1	○	溪間工 山腹工
栗 東 市	川 辺			24	1	○	山腹工
栗 東 市	観 音 寺			8	1	○	溪間工 森林整備等
旧野洲町	小 堤			8,11	1		森林整備等
旧野洲町	辻			7	1		森林整備等
旧野洲町	大 篠 原			11	1	○	山腹工
旧野洲町	入 町			13	1	○	山腹工
旧石部町	東 寺			12,13,14,15	1	○	溪間工 森林整備等
旧石部町	石 部			7,8,9	1	○	溪間工 山腹工
旧甲西町	菩 提 寺			4	1	○	溪間工 山腹工
旧甲西町	菩 提 寺			5	1	○	森林整備等
旧甲西町	菩 提 寺			9	1	○	森林整備等 山腹工
旧甲西町	菩 提 寺			11	1		森林整備等
旧甲西町	正 福 寺			18,19,20	1		森林整備等
旧甲西町	針			60,61	1	○	溪間工 森林整備等
旧甲西町	平 松			61,62	1	○	溪間工、山腹工、森林整備等
旧甲西町	夏 見			55,56,57,58	1	○	溪間工、山腹工
旧甲西町	三 雲			38	1		溪間工 山腹工
旧甲西町	三 雲			39,40,41,42,43,44	1	○	溪間工、山腹工、森林整備等
旧甲西町	三 雲			45,46,47,48,49	1	○	溪間工 森林整備等
旧甲西町	三 雲			50,51	1	○	森林整備等
旧甲西町	三 雲			52,53,54	1	○	溪間工、山腹工、森林整備等
旧水口町	下 山			18	1	○	森林整備等
旧水口町	牛 飼			45,46,47,48,78,49,50	1	○	溪間工、山腹工、森林整備等
旧水口町	牛 飼			52	1	○	溪間工 森林整備等
旧水口町	三 大 寺			53	1		溪間工 森林整備等
旧水口町	三 大 寺			54	1		溪間工 森林整備等
旧水口町	三 大 寺			55	1		溪間工 森林整備等
旧水口町	三 大 寺			56	1		森林整備等
旧水口町	高 山			57,58,59	1	○	溪間工、山腹工
旧水口町	岩 坂			60	1	○	溪間工、山腹工
旧水口町	山 上			43,44	1	○	溪間工、山腹工
旧土山町	頓 宮			5	1	○	森林整備等
旧土山町	黒 滝			50,51,52,53,54	1	○	溪間工 森林整備等
旧土山町	黒 滝			60~66	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧土山町	山 女 原			79~82	1	○	溪間工 森林整備等
旧土山町	笹 路			85,86	1		森林整備等
旧土山町	大 河 原			109~130	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧土山町	大 河 原			131~156	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧土山町	瀬 音			11~17	1	○	溪間工 森林整備等
旧土山町	青 土			19	1	○	溪間工
旧土山町	鮎 河			159~164	1	○	溪間工 森林整備等
旧土山町	鮎 河			165	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧土山町	鮎 河			166	1	○	溪間工 森林整備等
旧土山町	鮎 河			167	1	○	森林整備等
旧土山町	鮎 河			168,169	1	○	溪間工 森林整備等
旧土山町	鮎 河			170	1		森林整備等
旧土山町	鮎 河			171	1	○	溪間工 森林整備等
旧甲賀町	神			29,35	1	○	溪間工 森林整備等

治山事業の数量（一部旧市町村名で表示）

森 林 の 所 在			治山事業		
市 町 村	区 域		施行 地区数	うち前半 5年分	主 な 工 種
	代 表 的 地 名	林 班			
旧甲賀町	神	31,38	1	○	山腹工 森林整備等
旧甲賀町	榎 野	40,42,43	1	○	溪間工、森林整備等
旧甲賀町	榎 野	35~44	1	○	溪間工、森林整備等
旧甲賀町	榎 野	45,46	1	○	森林整備等
旧甲賀町	油 日	55	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧甲賀町	油 日	56,57	1	○	溪間工 森林整備等
旧甲賀町	油 日	60	1	○	溪間工
旧甲賀町	油 日	61	1	○	溪間工 森林整備等
旧甲賀町	油 日	63	1	○	森林整備等
旧甲南町	塩 野	38,43,44,46,47,45	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧甲南町	磯 尾	25	1		森林整備等
旧甲南町	杉 谷	24,25,31~35	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧信楽町	宮 町	101 ~109	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧信楽町	黄 瀬	94,95,96,100	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	勅 旨	65,68	1	○	溪間工事 森林整備等
旧信楽町	長 野	1	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	長 野	61	1	○	森林整備等
旧信楽町	長 野	62,63	1	○	溪間工 山腹工
旧信楽町	西	131	1	○	森林整備等
旧信楽町	柞 原	129,130	1	○	森林整備等
旧信楽町	中 野	124,125,126	1	○	溪間工、森林整備等
旧信楽町	神 山	57,58,59	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	黄 瀬	87	1		溪間工 森林整備等
旧信楽町	黄 瀬	100,101,102	1	○	森林整備等
旧信楽町	牧	76,81,82	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	畑	4	1		森林整備等
旧信楽町	畑	30	1	○	森林整備等
旧信楽町	小 川	114,115,116	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	上 朝 宮	140	1	○	森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	156	1	○	森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	157	1		森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	158	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	159	1	○	森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	160	1	○	森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	161	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	164,165	1	○	溪間工 森林整備等
旧信楽町	多 羅 尾	183	1		溪間工 森林整備等
旧近江八幡市	北 之 庄 町	11	1	○	溪間工
旧近江八幡市	南 津 田 町	9,10	1	○	山腹工
旧近江八幡市	浄 土 寺 町	2	1	○	山腹工 森林整備等
旧近江八幡市	新 卷 町	1	1	○	森林整備等
旧近江八幡市	倉 橋 部 町	2	1	○	森林整備等
旧近江八幡市	白 王 町	14	1	○	山腹工
旧近江八幡市	島 町	14,15	1	○	山腹工
旧近江八幡市	北 津 田 町	16	1	○	山腹工
旧近江八幡市	円 山 町	12	1	○	山腹工
旧安土町	上 豊 浦	4	1	○	山腹工 森林整備等
旧安土町	上 出	6	1	○	山腹工 森林整備等
旧安土町	石 寺	7	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧安土町	下 豊 浦	2	1	○	山腹工
旧安土町	東 老 蘇	3	1	○	山腹工
旧安土町	桑 実 寺	3	1	○	山腹工 流路工

治山事業の数量（一部旧市町村名で表示）

森 林 の 所 在			治山事業		
市 町 村	区 域		施行 地区数	うち前半 5年分	主 な 工 種
	代 表 的 地 名	林 班			
旧安土町	石 寺	2	1	○	山腹工
旧八日市市	小 脇	19	1	○	山腹工
旧八日市市	尻 無 町	10	1	○	山腹工
旧永源寺町	君 ケ 畑	49, 54, 58,64	1	○	溪間工
旧永源寺町	君 ケ 畑	68,70	1		溪間工
旧永源寺町	君 ケ 畑	65	1		溪間工 森林整備等
旧永源寺町	高 野	10	1		溪間工 森林整備等
旧永源寺町	高 野	7,9	1		溪間工
旧永源寺町	高 野	11	1		溪間工 森林整備等
旧永源寺町	高 野	12	1	○	溪間工
旧永源寺町	茨 川	91,92,93,94, 101,102,103,104, 105,106,110, 111,112,113	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧永源寺町	杠 葉 尾	140	1		溪間工 森林整備等
旧永源寺町	杠 葉 尾	161,162	1	○	溪間工
旧永源寺町	和 南	204	1		森林整備等
旧永源寺町	和 南	205	1	○	森林整備等、山腹工
旧永源寺町	甲 津 畑	245,246	1	○	溪間工
旧永源寺町	黄 和 田	125,128	1	○	溪間工
旧永源寺町	黄 和 田	127,128	1		溪間工 森林整備等
旧永源寺町	黄 和 田	135	1	○	溪間工
旧永源寺町	政 所	116	1		森林整備等
旧永源寺町	政 所	117	1		森林整備等
旧永源寺町	政 所	118	1	○	溪間工 森林整備等
旧永源寺町	政 所	119	1	○	溪間工 森林整備等
旧永源寺町	政 所	120	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧能登川町	北 須 田	4	1	○	森林整備等
旧愛東町	百 濟 寺	15	1		森林整備等
旧愛東町	百 濟 寺	16	1		森林整備等
旧愛東町	百 濟 寺	30,32,33,34,35,39	1	○	森林整備等
旧愛東町	平 尾	9,10	1	○	山腹工
旧湖東町	平 柳	6	1		森林整備等
旧湖東町	平 柳	7	1	○	溪間工 山腹工 森林整備等
旧湖東町	下 一 色	9,10	1	○	溪間工 森林整備等
旧湖東町	下 一 色	12, 13	1	○	溪間工 森林整備等
日 野 町	原	23	1		溪間工
日 野 町	原	24	1		溪間工
日 野 町	原	25,26	1	○	溪間工 山腹工
日 野 町	小 野	33	1	○	溪間工 森林整備等
日 野 町	西 明 寺	47	1	○	森林整備等
日 野 町	鎌 掛	86,87	1		森林整備等
日 野 町	鎌 掛	89,90	1	○	森林整備等
日 野 町	蔵 王	59	1		森林整備等
日 野 町	蔵 王	60,71	1	○	溪間工 森林整備等
日 野 町	平 子	67,68	1		溪間工 森林整備等
日 野 町	北 畑	55,56	1	○	溪間工 森林整備等
日 野 町	熊 野	65	1	○	溪間工 山腹工
竜 王 町	鏡	25,26	1	○	溪間工 山腹工

第7 その他必要な事項

1 保安林その他制限林の施業方法

単位：面積 ha

区 分	施 業 方 法			そ の 他	
	伐 採 方 法				
	伐採種を 定めない	択 伐	禁 伐		
市 町 別 内 訳	大 津 市	9,558	5,418	517	各法令の定めるところによる。
	近江八幡市	233	751	16	
	草 津 市	54	9	—	
	守 山 市	—	5	—	
	栗 東 市	1,350	72	9	
	甲 賀 市	12,853	3,977	243	
	野 洲 市	474	407	—	
	湖 南 市	2,493	552	2	
	東 近 江 市	9,134	2,724	1,535	
	日 野 町	1,144	1,098	101	
	竜 王 町	799	171	—	
総 数	38,092	15,184	2,422		

注1： 総数と内訳の計は四捨五入のため一致しないことがある。
制限林の種類別、林小班別の面積の閲覧場所は、滋賀県琵琶湖環境部森林政策課、西部・南部森林整備事務所、甲賀森林整備事務所、中部森林整備事務所とする。

注2： 制限林のうち、国定公園普通地区および県立自然公園普通地域は除いている。

2 その他必要な事項

該当なし

別表 1 標準的な植栽本数

樹種	仕立て方法	植栽本数
スギ	密仕立て	4,500本 / ha
	中仕立て	3,500本 / ha
	疎仕立て	2,500本 / ha
ヒノキ	密仕立て	4,500本 / ha
	中仕立て	3,500本 / ha
	疎仕立て	2,500本 / ha
広葉樹		1,000本 / ha ～ 3,000本 / ha

別表 2 間伐の標準的な方法

樹種	施業体系	間伐時期(年)						間伐の方法
		初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	
スギ	植栽本数3,500本/ha 程度の場合	15	20	30	40	60	70	間伐率(本数率)はおおむね20%から30%とするが、林分密度管理図や既往の間伐方法を参考に間伐率、間伐木の選定方法等を定めるものとする。 (材積率で35%以下)
ヒノキ	植栽本数3,500本/ha 程度の場合	25	30	40	55	70	80	

別表 3 間伐の低コスト施業の一例

樹種	施業体系	間伐時期(年)						間伐の方法
		初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	
スギ	植栽本数2,500本/ha 程度の場合	20	35	60				間伐率(本数率)は30%以上の強度間伐とするが、林分密度管理図や既往の間伐方法を参考に間伐率、間伐木の選定方法等を定めるものとする。 (材積率で35%以下)
ヒノキ	植栽本数2,500本/ha 程度の場合	30	40	55	75			

別表 4 伐採の方法を定める必要のある森林の指定基準

(1) 複層林施業を推進すべき森林

<p>① 人家、農地、森林の土地又は道路その他の施設の保全のため伐採の方法を定める必要がある森林 (山地災害防止機能／土壤保全機能)</p>	<p>次の条件のいずれかに該当する森林 (ア) 地形 a 傾斜が急な箇所であること。 b 傾斜の著しい変異点を持っている箇所であること。 c 山腹の凹曲部等地表流下水又は地中水の集中流下する部分を持っている箇所であること。 (イ) 地質 a 基岩の風化が異常に進んだ箇所であること。 b 基岩の節理又は片理が著しく進んだ箇所であること。 c 破碎帯又は断層線上にある箇所であること。 d 流れ盤となっている箇所であること。 (ウ) 土壤等 a 火山灰地帯等で表土が粗しょうで凝集力の極めて弱い土壤から成っている箇所であること。 b 土層内に異常な帯水層がある箇所であること。 c 石礫地から成っている箇所であること。 d 表土が薄く乾性な土壤から成っている箇所であること。</p>
<p>② 生活環境の保全および形成のため伐採の方法を定める必要がある森林 (快適環境形成機能)</p>	<p>次のいずれかに該当する森林 (ア) 都市近郊林等に所在する森林であって郷土樹種を中心とした安定した林相をなしている森林。 (イ) 市街地道路等と一体となって優れた景観美を構成する森林。 (ウ) 気象緩和、騒音防止等の機能を発揮している森林。</p>
<p>③ 自然環境の保全および形成並びに保健・教育・文化的利用のため伐採の方法を定める必要がある森林 (保健・レクリエーション機能／文化機能／生物多様性保全機能)</p>	<p>次のいずれかに該当する森林 (ア) 湖沼、瀑布、溪谷等の景観と一体となって優れた自然美を構成する森林。 (イ) 紅葉等の優れた森林美を有する森林であって主要な眺望点から望見されるもの。 (ウ) ハイキング、キャンプ等の保健・文化・教育的利用の場として特に利用されている森林。 (エ) 希少な生物の保護のため必要な森林(択伐を行う場合に限る)。</p>

(2) 伐採面積の規模を縮小した皆伐を推進すべき森林

<p>水質の保全又は水量の安定的確保のため伐採の方法を定める必要がある森林 (水源涵養機能)</p>	<p>次の条件のいずれかに該当する森林</p> <p>(ア) 地形について</p> <ul style="list-style-type: none">a 標高の高い地域b 傾斜が急峻な地域c 谷密度の大きい地域d 起伏量の大きい地域e 溪床又は河川勾配の急な地域f 掌状型集水区域 <p>(イ) 気象について</p> <ul style="list-style-type: none">a 年平均又は季節的降水量の多い地域b 短時間に強い雨の降る頻度が高い地域 <p>(ウ) その他</p> <p>大面積の伐採が行われがちな地域</p>
--	---

(附) 参 考 资 料

1 森林計画区の概況

(1) 市町別土地面積および森林面積

単位：面積 ha 率 %

区 分	区域面積 ①	森 林 面 積			森 林 率 ②/①×100	
		総 数 ②	国 有 林	民 有 林		
総 数	200,089	96,206	7,174	89,031	48	
市 町 別 内 訳	大 津 市	46,451	25,000	2,984	22,016	54
	近江八幡市	17,745	1,925	679	1,245	11
	草 津 市	6,782	210	-	210	3
	守 山 市	5,574	22	-	22	0
	栗 東 市	5,269	2,323	444	1,879	44
	甲 賀 市	48,162	32,430	2,049	30,381	67
	野 洲 市	8,014	1,229	215	1,014	15
	湖 南 市	7,040	3,653	-	3,653	52
	東 近 江 市	38,837	21,828	680	21,148	56
	日 野 町	11,760	6,105	-	6,105	52
	竜 王 町	4,455	1,480	124	1,357	33

注： 区域面積は令和2年7月1日時点全国都道府縣市町村別面積調（国土地理院）による。

国有林面積は国有林の地域別の森林計画書（湖南森林計画区）による。

総数と内訳の計は、四捨五入のため一致しないことがある。

(2) 地 況
ア 気 候

観測地	気 温 (°C)			年 間 降 水 量 (mm)	最 深 積 雪 量 (cm)	主 風 の 方 向	備 考
	最 高	最 低	年 平 均				
南 小 松	35.3	-5.0	14.9	2,030	-	西	
東 近 江	37.5	-5.6	14.9	1,588	-	北北西	
大 津	36.9	-3.1	15.5	1,703	-	南南東	
信 楽	34.8	-8.1	12.9	1,654	-	北	
土 山	35.4	-5.8	13.9	1,616	-	東南東	

注：滋賀県気象年報（彦根地方気象台）より、平成 26 年から平成 30 年の平均をとった。

イ 地 勢

当計画地は滋賀県南部に位置し、東部北部は多賀町、愛荘町、彦根市と接し、東部から南部にかけては鈴鹿山脈、中南部丘陵地帯を境に三重県西部と接している。また、南部から西部にかけては京都府南部と接し、西部北部については高島市と接している。

この地域は東部山岳地帯、中南部丘陵地帯および西部山岳地帯に大別される。

東部山岳地帯は鈴鹿山脈の中心をなし、鈴ヶ岳(1,130m)、御池岳(1,247m)、竜ヶ岳(1,100m)、御在所山(1,212m)、雨乞岳(1,238m)、綿向山(1,110m)、鎌ヶ岳(1,161m)等の1,000mを越す高峰が立ち並び、30°内外の急峻な傾斜の山岳地帯を形成しており、愛知川、日野川、野洲川等の主要河川の源となっている。

これら河川は流下に伴い、中小河川を合流し、下流に肥沃な平野地帯を形成し琵琶湖に注いでいる。

中南部丘陵地帯は、甲賀市を中心に比較的緩やかな斜面で野洲川、大戸川等の流域を形成している。

西部山岳地帯は、武奈ヶ岳(1,214m)を主峰とする比良山系の主要部分を擁し、皆子山、大尾山、大比叡（比叡山）、如意が岳、千頭岳へと南北に連なる尾根にて京都府と接している。

比良山系と京都府境の尾根で挟まれている大津市葛川地区は安曇川上流域に属し、大津市西部は和邇川、真野川等小流域の河川が湖岸に接する連山から直接東下し琵琶湖に注いでおり、ともに急峻な地帯をなしている。

ウ 地質、土壌等

古生層は鈴鹿山脈山麓部の愛知川、日野川、野洲川上流域一帯、瀬田川西部、南部および安曇川上流域に広く分布しており、土壌は主としてBD型土壌（適潤性褐色森林土）で土質は良好で地味は肥沃である。

洪積層は日野川、野洲川中流域、和邇川、真野川流域に広く分布し土壌はおおむねBD-d型土壌であり、土質は良好であるが地味はやや肥沃度に乏しい。

洪積層は平地部、湖岸周辺に分布し、BD型土壌、BE型土壌（弱湿性褐色森林土）であり土壌深度は深く、肥沃度に富む土壌である。

花崗岩は鈴鹿山脈の山稜地帯、野洲川中流域、大戸川流域および比良山系東側斜面に分布しており、土壌はBB型土壌（乾性褐色森林土）、BC型土壌（弱乾性褐色森林土）であり、土壌深度は浅く、肥沃度に乏しい土壌となっている。

(3) 土地利用の現況

単位：面積 1,000ha

区 分	総 数	森 林	農 地			そ の 他		
			総 数	う ち 田	う ち 畑	総 数	う ち 宅 地	
総 数	178	89	34	31	3	54	16	
市 町 別 内 訳	大 津 市	37	22	3	3	0	12	4
	近江八幡市	10	1	5	4	0	4	1
	草 津 市	4	0	2	1	0	3	2
	守 山 市	5	0	2	2	0	2	1
	栗 東 市	5	2	1	1	0	3	1
	甲 賀 市	48	30	6	5	1	12	2
	野 洲 市	6	1	2	2	0	3	1
	湖 南 市	7	4	1	1	0	3	1
	東 近 江 市	38	21	9	8	1	8	2
	日 野 町	12	6	3	2	0	3	1
	竜 王 町	4	1	1	1	0	2	0

注：平成30年度滋賀県統計書による。

総数と内訳の計は、四捨五入のため一致しないことがある。

土地利用面積には琵琶湖部分は含まない。

(4) 産業別生産額

単位：億円

区分	総生産額	第1次産業				第2次産業	第3次産業
		総額	農業	林業	水産業		
県合計	63,716	415	394	9	12	29,752	33,348

注：滋賀県民経済計算年報（平成28年度）による。

(5) 産業別就業者数

単位：人

区分	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	
		計	農業	林業	水産業			
総数	482,273	12,033	11,443	295	295	159,415	310,825	
市 町 別 内 訳	大津市	145,572	1,724	1,541	88	95	34,536	109,312
	近江八幡市	37,885	1,462	1,332	8	122	13,446	22,977
	草津市	61,172	892	866	4	22	19,498	40,782
	守山市	37,593	917	884	6	27	12,407	24,269
	栗東市	31,683	575	563	10	2	10,580	20,528
	甲賀市	44,756	1,782	1,694	85	3	18,074	24,900
	野洲市	23,729	861	848	4	9	8,554	14,314
	湖南市	26,345	394	380	14	-	11,663	14,288
	東近江市	55,779	2,412	2,346	53	13	22,910	30,457
	日野町	10,838	555	532	23	-	4,606	5,677
	竜王町	6,921	459	457	0	2	3,141	3,321

注：平成27年国勢調査による。

2 森林の現況

(1) 齢級別森林資源表

区分		総数			1齢級			2齢級			3齢級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		89,031.26	16,311,581	110,223	59.86	0	0	94.24	260	9	153.60	3,420	501		
立木地	総数	計	85,794.23	16,311,581	110,223	59.86	0	0	94.24	260	9	153.60	3,420	501	
		針	60,360.45	13,584,437	96,979	48.09	0	0	68.36	222	9	134.47	3,191	474	
		広	25,433.78	2,727,144	13,244	11.77	0	0	25.88	38	0	19.13	229	27	
	人工林	総数	計	37,820.71	9,281,070	88,913	59.17	0	0	94.24	260	9	148.58	3,301	488
			針	37,441.25	9,262,976	88,475	48.09	0	0	68.36	222	9	130.90	3,085	461
			広	379.46	18,094	438	11.08	0	0	25.88	38	0	17.68	216	27
		育成単層林	計	36,833.08	9,170,444	85,243	43.78	0	0	45.14	162	9	127.62	2,903	432
			針	36,598.90	9,157,424	84,995	37.00	0	0	33.75	145	9	114.12	2,736	412
			広	234.18	13,020	248	6.78	0	0	11.39	17	0	13.50	167	20
		育成複層林	計	987.63	110,626	3,670	15.39	0	0	49.10	98	0	20.96	398	56
			針	842.35	105,552	3,480	11.09	0	0	34.61	77	0	16.78	349	49
			広	145.28	5,074	190	4.30	0	0	14.49	21	0	4.18	49	7
	天然林	総数	計	412.93	66,087	214	0.00	0	0	0.00	0	0	0.91	13	1
			針	270.83	52,521	104	0.00	0	0	0.00	0	0	0.29	9	1
			広	142.10	13,566	110	0.00	0	0	0.00	0	0	0.62	4	0
		育成単層林	計	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
			針	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
			広	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
育成複層林		計	412.93	66,087	214	0.00	0	0	0.00	0	0	0.91	13	1	
		針	270.83	52,521	104	0.00	0	0	0.00	0	0	0.29	9	1	
		広	142.10	13,566	110	0.00	0	0	0.00	0	0	0.62	4	0	
天然生林	計	47,560.59	6,964,424	21,096	0.69	0	0	0.00	0	0	4.11	106	12		
	針	22,648.37	4,268,940	8,400	0.00	0	0	0.00	0	0	3.28	97	12		
	広	24,912.22	2,695,484	12,696	0.69	0	0	0.00	0	0	0.83	9	0		
竹林		774.40	155,364	0											
伐採跡地		0.96	0	0											
未立木地		1,452.06	0	0											
更新困難地		1,009.61	0	0											

注: 令和3年度調査による

区分		8齡級			9齡級			10齡級			11齡級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		2,905.69	527,894	12,474	4,219.37	869,480	13,425	5,228.94	1,139,784	12,414	5,715.16	1,273,340	10,612		
立木地	総数	計	2,905.69	527,894	12,474	4,219.37	869,480	13,425	5,228.94	1,139,784	12,414	5,715.16	1,273,340	10,612	
		針	2,857.99	524,957	12,408	3,973.41	853,830	13,118	4,847.04	1,109,042	12,023	5,132.28	1,223,175	10,124	
		広	47.70	2,937	66	245.96	15,650	307	381.90	30,742	391	582.88	50,165	488	
	人工林	総数	計	2,858.52	524,596	12,399	3,966.99	850,608	13,087	4,766.25	1,096,650	11,927	4,563.99	1,128,016	9,638
			針	2,853.38	524,321	12,393	3,943.22	848,755	13,047	4,763.11	1,096,393	11,925	4,561.85	1,127,821	9,636
			広	5.14	275	6	23.77	1,853	40	3.14	257	2	2.14	195	2
		育成単層林	計	2,836.20	520,997	12,303	3,941.57	846,139	13,006	4,724.66	1,087,879	11,827	4,524.05	1,118,234	9,556
			針	2,831.06	520,722	12,297	3,917.80	844,286	12,966	4,721.58	1,087,626	11,825	4,521.97	1,118,045	9,554
			広	5.14	275	6	23.77	1,853	40	3.08	253	2	2.08	189	2
		育成複層林	計	22.32	3,599	96	25.42	4,469	81	41.59	8,771	100	39.94	9,782	82
			針	22.32	3,599	96	25.42	4,469	81	41.53	8,767	100	39.88	9,776	82
			広	0.00	0	0	0.00	0	0	0.06	4	0	0.06	6	0
	天然林	総数	計	0.60	95	1	12.51	1,394	19	14.09	971	14	26.68	3,903	21
			針	0.60	95	1	4.95	820	6	1.54	197	1	16.39	2,965	14
			広	0.00	0	0	7.56	574	13	12.55	774	13	10.29	938	7
		育成単層林	計	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
			針	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
			広	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0
育成複層林		計	0.60	95	1	12.51	1,394	19	14.09	971	14	26.68	3,903	21	
		針	0.60	95	1	4.95	820	6	1.54	197	1	16.39	2,965	14	
		広	0.00	0	0	7.56	574	13	12.55	774	13	10.29	938	7	
天然生林	計	46.57	3,203	74	239.87	17,478	319	448.60	42,163	473	1,124.49	141,421	953		
	針	4.01	541	14	25.24	4,255	65	82.39	12,452	97	554.04	92,389	474		
	広	42.56	2,662	60	214.63	13,223	254	366.21	29,711	376	570.45	49,032	479		
竹林															
伐採跡地															
未立木地															
更新困難地															

注:令和3年度調査による

区分		16齡級			17齡級			18齡級			19齡級				
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量		
総数		4,840.74	905,329	2,157	3,408.05	637,878	877	3,791.40	693,244	298	3,020.44	575,513	26		
立木地	総数	計	4,840.74	905,329	2,157	3,408.05	637,878	877	3,791.40	693,244	298	3,020.44	575,513	26	
		針	2,659.39	648,080	2,157	1,860.58	452,616	877	1,855.72	463,046	298	1,642.31	408,345	26	
		広	2,181.35	257,249	0	1,547.47	185,262	0	1,935.68	230,198	0	1,378.13	167,168	0	
	人工林	総数	計	961.88	312,909	1,380	726.39	228,963	451	728.65	239,620	294	706.60	221,204	26
			針	961.39	312,856	1,380	724.05	228,745	451	726.81	239,410	294	705.98	221,137	26
			広	0.49	53	0	2.34	218	0	1.84	210	0	0.62	67	0
		育成単層林	計	952.59	310,163	1,369	715.82	226,792	449	723.33	238,234	294	699.32	219,105	26
			針	952.26	310,129	1,369	715.80	226,790	449	722.46	238,149	294	698.77	219,047	26
			広	0.33	34	0	0.02	2	0	0.87	85	0	0.55	58	0
		育成複層林	計	9.29	2,746	11	10.57	2,171	2	5.32	1,386	0	7.28	2,099	0
			針	9.13	2,727	11	8.25	1,955	2	4.35	1,261	0	7.21	2,090	0
			広	0.16	19	0	2.32	216	0	0.97	125	0	0.07	9	0
	天然林	総数	計	25.99	4,571	5	10.50	1,925	2	9.55	1,795	0	4.89	932	0
			針	23.79	4,303	5	7.79	1,613	2	7.43	1,536	0	3.91	831	0
			広	2.20	268	0	2.71	312	0	2.12	259	0	0.98	101	0
育成単層林		計	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	
		針	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	
		広	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	
育成複層林		計	25.99	4,571	5	10.50	1,925	2	9.55	1,795	0	4.89	932	0	
		針	23.79	4,303	5	7.79	1,613	2	7.43	1,536	0	3.91	831	0	
		広	2.20	268	0	2.71	312	0	2.12	259	0	0.98	101	0	
天然生林	計	3,852.87	587,849	772	2,671.16	406,990	424	3,053.20	451,829	4	2,308.95	353,377	0		
	針	1,674.21	330,921	772	1,128.74	222,258	424	1,121.48	222,100	4	932.42	186,377	0		
	広	2,178.66	256,928	0	1,542.42	184,732	0	1,931.72	229,729	0	1,376.53	167,000	0		
竹林															
伐採跡地															
未立木地															
更新困難地															

注：令和3年度調査による

(2) 制限林普通林別森林資源表

湖南計画区

(単位)面積:ha、材積:立木は1,000m³、立竹は1,000束、成長量:1,000m³

区分	総数	立 木 地																					竹 林	無 木 立 地	更 困 新 難 地	
		総 数			人 工 林									天 然 林												
					総 数			育 成 単 層 林			育 成 複 層 林			総 数			育 成 複 層 林			天 然 生 林						
		総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹				
総 数	面積	89,031	85,794	60,360	25,434	37,821	37,441	379	36,833	36,599	234	988	842	145	47,974	22,919	25,054	413	271	142	47,561	22,648	24,912	774	1,453	1,010
	材積	16,312	16,312	13,584	2,727	9,281	9,263	18	9,170	9,157	13	111	106	5	7,031	4,321	2,709	66	53	14	6,964	4,269	2,695	155	0	0
	成長量	110	110	97	13	89	88	0	85	85	0	4	3	0	21	9	13	0	0	0	21	8	13	0	0	0
制 限 林	面積	28,999	27,678	20,971	6,707	12,185	12,120	65	11,946	11,901	44	239	218	21	15,493	8,851	6,642	43	29	14	15,451	8,822	6,629	623	610	88
	材積	5,373	5,373	4,661	713	2,968	2,966	2	2,940	2,939	1	28	27	1	2,405	1,695	711	7	6	1	2,398	1,689	709	125	0	0
	成長量	34	34	30	4	27	27	0	26	26	0	1	1	0	7	3	4	0	0	0	7	3	4	0	0	0
普 通 林	面積	60,033	58,116	39,390	18,727	25,636	25,321	314	24,887	24,698	190	749	624	125	32,480	14,068	18,412	370	242	129	32,110	13,826	18,284	152	843	922
	材積	10,938	10,938	8,924	2,014	6,313	6,297	16	6,230	6,219	12	83	78	4	4,625	2,627	1,998	59	47	12	4,566	2,580	1,986	30	0	0
	成長量	77	77	67	10	62	62	0	59	59	0	3	3	0	15	5	9	0	0	0	14	5	9	0	0	0

注:四捨五入のため、内数の計と総数が一致しないことがある。

(3) 市町別森林資源表

単位：面積 ha、材積 立木は1,000m³ 立竹は1,000束

区分	面積	材積	立 木 地																					竹 林	無立木地	更 新 困難地
			総 数			人 工 林			天 然 林			総 数			育 成 複 層 林			天 然 生 林								
			総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹						
総 数	面積	89,031	85,794	60,360	25,434	37,821	37,441	379	36,833	36,599	234	988	842	145	47,974	22,919	25,054	413	271	142	47,561	22,648	24,912	774	1,453	1,010
	材積	16,312	16,312	13,584	2,727	9,281	9,263	18	9,170	9,157	13	111	106	5	7,031	4,321	2,709	66	53	14	6,964	4,269	2,695	155	0	0
大 津 市	面積	22,016	20,924	13,546	7,377	8,895	8,813	82	8,802	8,723	79	93	90	3	12,028	4,733	7,295	21	16	5	12,007	4,717	7,290	158	415	519
	材積	4,279	4,279	3,427	851	2,494	2,488	6	2,478	2,472	6	16	16	0	1,784	939	845	4	3	1	1,781	936	845	32	0	0
近 江 八 幡 市	面積	1,245	1,130	853	278	199	197	2	174	173	1	25	24	1	931	655	276	31	10	21	900	645	254	103	8	4
	材積	170	170	146	24	35	35	0	34	34	0	1	1	0	134	110	24	3	2	2	131	109	22	21	0	0
草 津 市	面積	210	193	173	19	13	12	1	13	12	1	0	0	0	180	161	19	0	0	0	180	161	19	12	5	0
	材積	29	29	28	2	2	2	0	2	2	0	0	0	0	27	26	2	0	0	0	27	26	2	3	0	0
守 山 市	面積	22	7	6	1	2	2	0	2	2	0	0	0	0	4	3	1	0	0	0	4	3	1	15	0	0
	材積	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0
栗 東 市	面積	1,879	1,778	1,642	136	868	855	13	820	816	3	48	39	10	910	787	123	55	47	8	855	741	115	33	54	14
	材積	367	367	354	13	182	181	0	178	178	0	4	4	0	185	173	13	10	9	1	175	164	12	7	0	0
甲 賀 市	面積	30,381	29,519	24,113	5,406	17,018	16,919	99	16,695	16,636	59	323	283	40	12,501	7,194	5,307	78	50	27	12,423	7,143	5,280	160	377	325
	材積	5,997	5,997	5,416	581	4,112	4,109	3	4,073	4,071	2	39	38	1	1,885	1,307	578	12	9	3	1,873	1,298	575	32	0	0
野 洲 市	面積	1,014	969	863	105	218	174	44	180	165	15	38	9	29	750	689	61	47	34	13	703	656	48	31	11	3
	材積	148	148	138	9	28	26	2	26	25	1	2	1	1	120	113	7	7	6	2	113	107	6	6	0	0
湖 南 市	面積	3,653	3,567	3,242	325	1,632	1,559	73	1,436	1,402	34	196	157	39	1,935	1,683	252	72	61	11	1,864	1,622	242	34	27	25
	材積	730	730	699	31	330	326	4	305	303	2	24	23	2	400	372	27	14	13	1	385	359	26	7	0	0
東 近 江 市	面積	21,148	20,496	10,014	10,482	7,169	7,128	41	6,984	6,957	27	186	172	14	13,327	2,886	10,441	69	20	49	13,258	2,865	10,392	130	421	101
	材積	3,319	3,319	2,243	1,076	1,679	1,677	2	1,662	1,660	2	18	17	0	1,639	565	1,074	8	4	4	1,631	561	1,070	26	0	0
日 野 町	面積	6,105	5,892	4,688	1,204	1,702	1,688	13	1,624	1,621	4	77	67	10	4,191	3,000	1,191	40	32	8	4,150	2,968	1,183	75	125	13
	材積	1,083	1,083	950	133	402	402	1	396	396	0	6	6	0	680	548	132	7	6	1	673	541	131	15	0	0
竜 王 町	面積	1,357	1,320	1,220	100	104	93	11	103	92	11	1	1	0	1,216	1,128	89	1	1	0	1,216	1,127	89	23	9	4
	材積	190	190	183	7	16	15	0	16	15	0	0	0	0	175	168	7	0	0	0	175	168	7	5	0	0

注：令和3年度調査による。

・四捨五入のため、内数の和と総数が一致しないことがある。

(4) 所有形態別森林資源表

湖南計画区

単位：面積 ha、材積：立木は1,000m³ 立竹は1,000束

区 分	総 数	立 木 地																竹 林	無 立 更 新 木 地 困難地	
		総 数			人 工 林			天 然 林												
								総 数			育 成 複 層 林			天 然 生 林						
		総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹				
総 数	面 積	89,031	85,794	60,360	25,434	37,821	37,441	379	47,974	22,919	25,054	413	271	142	47,561	22,648	24,912	774	1,453	1,010
	材 積	16,312	16,312	13,584	2,727	9,281	9,263	18	7,031	4,321	2,709	66	53	14	6,964	4,269	2,695	155	0	0
都道府県有林	面 積	2,646	2,530	2,032	498	1,450	1,397	53	1,080	635	445	57	46	11	1,023	589	434	21	42	52
	材 積	512	512	459	53	346	343	3	166	115	51	11	9	1	155	106	49	4	0	0
市町村有林	面 積	1,594	1,522	1,129	393	632	588	44	890	540	350	13	9	4	877	531	346	12	46	14
	材 積	264	264	226	38	135	132	2	129	94	36	2	2	0	127	92	35	2	0	0
財産区有林	面 積	1,388	1,301	919	383	761	759	2	540	160	381	6	4	3	534	156	378	1	20	64
	材 積	280	280	241	39	209	209	0	72	33	39	1	1	0	71	32	39	0	0	0
私有林	面 積	83,404	80,441	56,281	24,159	34,977	34,697	280	45,463	21,584	23,879	336	212	125	45,127	21,373	23,754	740	1,345	879
	材 積	15,255	15,255	12,658	2,597	8,592	8,579	13	6,663	4,080	2,584	52	41	12	6,611	4,039	2,572	149	0	0

注：四捨五入のため、内数の計と総数が一致しないことがある。

(5) 制限林の種類別面積

湖南計画区

区分	計画区計	大津市	草津市	守山市	栗東市	野洲市	湖南市	
普通林	28,998.66 5,498,409	3,062.91 586,822	147.16 21,935	17.12 3,377	447.07 83,585	132.17 21,641	539.56 113,120	
水源かん養保安林	10,807.94 2,001,866	2,570.35 485,931	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	127.56 31,352	
土砂流出防備保安林	24,034.71 4,154,400	4,924.88 700,473	47.65 7,512	0.00 0	1,089.84 220,938	729.25 108,008	2,541.00 500,899	
土砂崩壊防備保安林	154.51 41,790	12.97 2,935	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
県指定保安林	飛砂防備保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	防風保安林	7.22 1,087	0.00 0	0.00 0	0.00 0	6.01 1,015	0.00 0	
	水害防備保安林	53.50 11,088	30.96 6,217	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	潮害防備保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	干害防備保安林	0.25 31	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.25 31	0.00 0	
	防雪保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	防霧保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	なだれ防止保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	落石防止保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	防火保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	魚つき保安林	17.74 4,292	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	航行目標保安林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	保健保安林	332.91 46,626	100.66 9,820	6.46 937	0.00 0	17.33 3,973	1.89 244	0.00 0
	風致保安林	426.67 88,454	230.46 46,864	9.12 1,675	4.89 982	18.52 3,705	17.20 3,040	15.30 2,528
	小計	838.29 151,578	362.08 62,901	15.58 2,612	4.89 982	36.10 7,709	25.10 4,299	15.30 2,528
	保安施設地区	0.20 61	0.19 58	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	砂防指定地	4,475.19 906,794	1,532.64 370,678	0.00 0	0.00 0	105.65 19,806	78.68 12,424	198.81 39,681
国立公園	特別保護地区	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	第1種特別地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	第2種特別地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	第3種特別地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	地種区分未定地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	普通地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
国定公園	特別保護地区	306.87 28,890	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	第1種特別地域	1,488.08 195,996	310.23 84,225	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	第2種特別地域	2,158.48 305,040	459.41 93,080	0.00 0	0.00 0	4.26 720	0.00 0	
	第3種特別地域	6,199.61 1,072,402	2,701.01 472,732	0.00 0	0.00 0	0.30 17	0.00 0	
	地種区分未定地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	普通地域	75.62 10,677	75.62 10,677	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
県立自然公園	第1種特別地域	14.02 1,670	12.44 1,284	0.00 0	0.00 0	0.00 0	1.58 386	
	第2種特別地域	210.63 26,411	119.52 11,379	0.00 0	0.00 0	32.13 5,131	9.18 1,861	
	第3種特別地域	3,033.06 604,434	1,159.75 262,763	0.00 0	0.00 0	36.97 7,762	2.31 350	
	地種区分未定地域	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
	普通地域	4,425.94 1,123,190	3,479.18 916,654	0.00 0	0.00 0	37.05 6,971	0.00 0	
	公園合計	17,912.31 3,368,710	8,317.16 1,852,794	0.00 0	0.00 0	74.32 14,750	38.70 6,201	221.05 46,575
鳥獣保護区	7.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
特別保護地区	1,305	0	0	0	0	0	0	
都市計画区	1,652.47	1,219.71	0.00	0.00	120.45	3.97	8.52	
城風致地区	315,433	244,441	0	0	25,552	599	1,810	
特別母樹林	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
史跡名勝天然記念物	16.26 2,525	5.11 799	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
急傾斜地崩壊危険区域	133.02 24,074	7.90 2,256	0.00 0	0.00 0	5.36 1,155	5.99 675	1.59 328	
都道府県自然環境保全地域特別地区	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
都道府県自然環境保全地域普通地区	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
その他	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	
合計	89,031.26 16,466,945	22,015.90 4,310,088	210.39 32,059	22.01 4,359	1,878.79 373,495	1,013.86 153,847	3,653.39 736,293	

注：令和3年度調査による。

単位：上段 面積(ha)、下段 材積(m3)

甲賀市	近江八幡市	日野町	竜王町	東近江市
12,562.03	245.38	3,762.86	316.90	7,765.50
2,600,280	39,418	601,302	46,559	1,380,370
3,050.45	0.18	343.08	0.00	4,716.32
675,532	34	83,048	0	725,969
9,714.69	558.83	1,720.55	786.36	1,921.66
1,747,643	80,202	357,509	114,499	316,717
139.51	1.29	0.00	0.00	0.74
38,517	218	0	0	120
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	1.21	0.00	0.00	0.00
0	72	0	0	0
22.54	0.00	0.00	0.00	0.00
4,871	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	17.74	0.00	0.00	0.00
0	4,292	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
15.71	16.40	52.53	30.58	91.35
2,124	1,300	11,159	4,584	12,485
58.88	26.91	8.26	7.94	29.19
14,107	5,210	1,889	1,397	7,057
97.13	62.26	60.79	38.52	120.54
21,102	10,874	13,048	5,981	19,542
0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
3	0	0	0	0
2,019.91	2.66	61.86	139.34	335.64
360,855	410	11,516	17,591	73,833
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	306.87
0	0	0	0	28,890
21.63	0.42	0.00	0.00	1,155.80
2,768	80	0	0	108,923
253.77	256.30	0.00	0.00	1,184.74
60,252	40,610	0	0	110,378
820.22	65.60	137.73	0.00	2,474.75
208,453	10,425	27,931	0	352,844
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
49.80	0.00	0.00	0.00	0.00
8,040	0	0	0	0
822.42	1.11	0.00	5.51	886.50
120,435	195	0	837	187,122
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
747.65	0.00	0.00	70.26	0.00
170,578	0	0	9,629	0
2,715.49	323.43	137.73	75.77	6,008.66
570,526	51,310	27,931	10,466	788,157
7.70	0.00	0.00	0.00	0.00
1,305	0	0	0	0
0.00	32.17	0.00	0.00	267.65
0	4,854	0	0	38,177
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
7.02	4.02	0.00	0.00	0.11
1,045	660	0	0	21
67.55	15.26	18.09	0.00	11.28
12,488	2,278	3,101	0	1,793
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0
30,381.49	1,245.48	6,104.96	1,356.89	21,148.10
6,029,296	190,258	1,097,455	195,096	3,344,699

(6) 樹種別材積表

単位：材積 1,000m³

林種 \ 樹種	スギ	ヒノキ	マツ	その他 針葉樹	その他 広葉樹	合計
総数	4,506	4,694	4,371	14	2,727	16,312
人工林	4,459	4,668	136	0	18	9,281
天然林	47	26	4,235	14	2,709	7,031

注：四捨五入のため、林種の計と樹種の計とは一致しない場合がある。

(7) 特定保安林の指定状況

単位：面積 ha

市町村	特定保安林					要整備森林		備考
	番号	面積				箇所数	面積	
		総数	人工林	天然林	その他			
指定なし								

注1： 特定保安林の番号は、Ⅱの11で定めた番号を記載する。

注2： 要整備森林の箇所数は、当該特定保安林の区域内の要整備森林の小班数を記載する。

注3： 不在村者（他市町村に居住している者および所有森林を管理する出張所等が当該市町村に所在しない会社）の所有に係る要整備森林がある場合は、その面積を市町村ごとに備考へ記載する。

注4： 国有林森林計画にあつては記載を要しない。

(8) 荒廃地等の面積

単位： 面積 ha

区 分		荒廃地	荒廃危険地
総 数		82	3,545
市 町 別 内 訳	大 津 市	76	1,240
	近 江 八 幡 市	1	437
	草 津 市	—	1
	守 山 市	—	—
	栗 東 市	1	150
	甲 賀 市	1	1,429
	野 洲 市	—	106
	湖 南 市	1	182
	東 近 江 市	1	822
	日 野 町	1	256
竜 王 町	0	44	

※ 荒廃地は、平成27年度～令和2年度までの災害報告の合計

※ 荒廃危険地は、山地災害危険地区の合計面積

(9) 森林の被害

単位：面積 ha（火災はa）

種 類	火 災			松 く い 虫			カシノナガキクイムシ			カ モ シ カ			シ カ			ク マ			
	年 度	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
市 町 別 内 訳	大 津 市	-	0	-	22	22	24	0	0	0	-	-	-	2	2	2	1	1	1
	近江八幡市	-	-	-	55	12	8	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	草 津 市	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	守 山 市	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	栗 東 市	-	3	-	6	5	10	-	0	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	甲 賀 市	-	31	-	130	85	90	0	0	0	1	1	-	27	23	21	-	-	-
	野 洲 市	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	湖 南 市	3	3	-	14	7	3	0	-	-	-	-	-	2	2	0	-	-	-
	東 近 江 市	-	-	0	102	22	18	-	-	0	-	-	-	5	3	1	-	-	-
	日 野 町	-	-	0	91	20	15	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	竜 王 町	-	-	-	41	10	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数	3	37	0	462	188	185	1	1	0	1	1	-	36	31	26	1	1	1	

注1：令和2年度滋賀県森林・林業統計要覧による。

注2：総数と内訳の計は四捨五入のため一致しないことがある。

(10) 防火線等の整備状況

該当なし

3 林業の動向

(1) 保有山林規模別林家数

単位：戸

区分	総数	1～3ha 未満	3～5ha 未満	5～10ha 未満	10～20ha 未満	20～30ha 未満	30～50ha 未満	50ha 以上	
総数	4,189	2,759	624	440	203	76	54	33	
市 町 別 内 訳	大津市	833	481	141	101	60	18	19	13
	近江八幡市	74	50	9	8	2	2	-	3
	草津市	64	43	8	7	1	3	1	1
	守山市	16	8	3	4	-	1	-	0
	栗東市	123	83	17	15	5	2	-	1
	甲賀市	1,661	1,114	227	177	87	27	18	11
	野洲市	44	24	8	3	3	2	4	0
	湖南市	143	105	20	12	1	3	2	0
	東近江市	574	380	80	58	30	15	8	3
	日野町	569	400	99	50	14	3	2	1
	竜王町	88	71	12	5	-	-	-	0

注：2015年農林業センサスによる。

(2) 森林経営計画の認定状況

単位：件数 件、面積 ha

区分	総数		公有林		私有林		備考	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
総数	96	10,070	7	692	89	9,378		
市町別 内訳	大津市	11	862	1	70	10	792	
	近江八幡市	—	—	—	—	—	—	
	草津市	—	—	—	—	—	—	
	守山市	—	—	—	—	—	—	
	栗東市	1	430	—	—	1	430	
	甲賀市	34	3,895	3	375	31	3,520	
	野洲市	—	—	—	—	—	—	
	湖南市	7	369	1	31	6	338	
	東近江市	34	3,682	2	216	32	3,466	
	日野町	9	832	—	—	9	832	
	竜王町	—	—	—	—	—	—	

注1：総数と内訳の計は四捨五入のため一致しない場合がある。

注2：令和2年2月末現在の認定状況である。

注3：公有林と私有林を含む場合は、それぞれ1件としている。

(3) 経営管理権及び経営管理実施権の設定状況

市町村別	経営管理権		経営管理実施権		備考
	件数	面積	件数	面積	
総数	該当無し				

(4) 森林組合および生産森林組合の現況

単 位：員数 人、金額 千円、面積 ha

市 町 別		組 合 名	組合員数	専従職員数	出資金総額	組合員および 森林組合所有 森 林 面 積	備 考	
森 林 組 合	大 津 市	坂 本	15	1	1,032	1,046		
		滋 賀 南 部	1,264	12	73,877	10,926		
			草 津 市					
			守 山 市					
			栗 東 市					
	野 洲 市							
	甲 賀 市	滋 賀 中 央	7,096	50	159,091	44,146		
			湖 南 市					
			日 野 町					
	東 近 江 市	東 近 江 市 永 源 寺	2,114	6	55,447	12,810		
びわこ 東 部								
総 数			10,489	69	289,447	68,928		

注1：平成30年度森林組合一斉調査による。

注2：滋賀南部森林組合は、大津市の一部と、草津市、守山市、栗東市、野洲市を区域としており、総数を記載している。

注3：滋賀中央森林組合は、甲賀市、湖南市、日野町を区域としており、総数を記載している。

注4：びわこ東部森林組合は、東近江市(湖南森林計画区)の一部と彦根市、愛荘町、甲良町および多賀町(湖北森林計画区)を区域としており、総数を掲載している。

単位：員数 人、金額 千円、面積 ha

市 町 別	組 合 名	組合員数	常勤職員数	出資金総額	組合経営 森林面積	備 考	
生 産 森 林 組 合	向 在 地	47	0	1,054	35		
	生 津	37	0	3,212	95		
	伊香立学区	424	0	331	17		
	上 在 地	-	-	-	-		
	北 在 地	38	0	1,000	22		
	下 在 地	57	0	11	2		
	南 庄	112	0	3,341	111		
	上 龍 華	-	-	-	-		
	下 龍 華	-	-	-	-		
	龍 華	-	-	-	-		
	途 中	51	0	11	63		
	普 門	88	0	7,958	185		
	真野町中村	52	0	3,224	6		
	真野佐川	30	0	3,930	8		
	上仰木辻ヶ下	285	0	99,388	127		
	逢坂山	279	0	91,323	127		
	雄 琴	121	0	77,440	10		
	大 鳥 居	-	-	-	-		
	大里町	132	0	61,248	409		
	南 比 良	123	0	28,044	488		
	堂 町	62	0	23,134	67		
	森 町	52	0	33,200	44		
	羽 栗	82	0	21,180	253		
	千 町	62	0	41,340	4		
	三ヶ山	202	0	19,140	68		
	枝	56	0	11,600	45		
	栗 原	74	0	31,080	152		
	外 畑 築	18	0	46,800	46		
	栗東市	上 豊 浦	67	0	2,835	35	
		下 豊 浦	255	0	9,758	41	
		常 楽 寺	78	0	14,599	16	
	甲 賀 市	金 勝 屋	515	0	406,397	489	
		蜂	-	-	-	-	
		岩 坂	16	0	8,636	15	
		牛 飼	92	0	77,682	215	
		大字三大寺	236	0	17,099	60	
		泉	128	0	4,540	16	
		植・宇田共有	96	0	47,319	187	
		市 場	28	0	11,032	5	
		油日・上野共	338	0	89,908	138	
		葛 木	70	0	7,140	34	
		磯 尾	88	0	11,268	82	
楯 打 山		605	0	16,855	19		
黄 瀬		121	0	74,327	599		
小 川		109	0	28,760	48		
野 洲 市	大 字 牧	125	0	12,663	113		
	神 山	256	0	64,000	335		
	上 朝 宮	103	0	51,378	204		
湖 南 市	大 小 篠 原	170	0	34,170	159		
	小 堤	60	0	12,240	47		
	東 寺	46	0	31,460	76		
	西 寺	41	0	13,944	40		
	三 雲	200	0	49,200	427		
	正 福 寺	95	0	52,497	168		
	夏 見	77	0	35,360	91		
東 近 江 市	平 松	56	0	61,712	110		
	善 提 寺	197	0	64,419	134		
	和 南	56	0	66,964	76		
日 野 町	押 立 山	1,087	0	39,132	313		
	小 倉	88	0	8,272	72		
	平 柳	109	0	37,848	57		
日 野 町	綿 向	1,488	3	350,488	1,171		
	三 峯 山 南 山	303	0	25,755	256		
	鎌 掛 寺	213	0	33,015	183		
	西 明 寺	39	0	11,592	71		
総 数	10,135	3	2,493,253	8,486			

注：平成30年度森林組合一斉調査による。

(5) 林業事業体等の現況

単 位 : 事業体数

区 分		造 林 業	木材市場	木 材 業	製 材 業	そ の 他
市 町 別 内 訳	大 津 市	2	-	13	9	
	近江八幡市	-	-	2	5	
	草 津 市	-	-	3	2	
	守 山 市	-	-	1	2	
	栗 東 市	-	-	6	5	
	甲 賀 市	3	1(1)	13	14	
	野 洲 市	-	1	1	2	
	湖 南 市	-	-	2	3	
	東 近 江 市	3	-	14	11	
	日 野 町	1	-	2	4	
竜 王 町	-	-	2	1		
総 数		9	2(1)	59	58	

注：造林業は、森林組合、森林組合連合会および「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づく改善計画の認定を受けた事業体を計上。

木材市場の（ ）は素材市売市場内数

※木材市場、木材業、製材業は、令和元年度滋賀県森林・林業統計要覧による。

(6) 林業労働力の概況

単位：人

従事日数	男 女 計								
	計	1～29 日	30～59 日	60～99 日	100～149 日	150～199 日	200～249 日	250 日以上	
総 数	2,971	2,720	68	73	7	17	59	27	
市 町 別 内 訳	大 津 市	657	619	7	3	1	6	-	21
	近江八幡市	164	104	-	60	-	-	-	-
	草 津 市	0	X	X	X	X	X	X	X
	守 山 市	4	4	-	-	-	-	-	-
	栗 東 市	100	94	4	-	-	-	-	2
	甲 賀 市	1,034	961	16	7	3	1	43	3
	野 洲 市	74	73	1	-	-	-	-	-
	湖 南 市	490	490	-	-	-	-	-	-
	東近江市	311	259	38	-	2	-	12	-
	日 野 町	137	116	2	3	1	10	4	1
竜 王 町	-	-	-	-	-	-	-	-	

注：2015年農林業センサスによる。

「X」は調査客体が少ないため、情報保護の観点から数値を秘匿したものである。
総数には秘匿した数値を加えていない。

(7) 林業機械化の概況

単位：機械台数

索道・ 集材機	クレーン	フォーク リフト	モノ レール	小型 運材車	動力 枝打機
16	14	11	0	22	21
グラップル	樹木 粉碎機	ハーベスタ	プロセッサ	フォワーダ	スイングヤー ダ
29	0	1	1	2	3

注：令和元年度滋賀県森林・林業統計要覧による。

(8) 作業路網等整備の概況

区分		延長 (m)	路網密度 (m/ha)	区分		延長 (m)	路網密度 (m/ha)
市 町 別 内 訳	大津市	110,092	4.99	市 町 別 内 訳	野洲市	8,483	8.36
	近江八幡市	—	—		湖南市	43,212	11.82
	草津市	—	—		東近江市	211,509	9.99
	守山市	—	—		日野町	92,707	15.18
	栗東市	34,318	18.25		竜王町	1,550	1.14
	甲賀市	411,699	13.55		総数	913,565	10.23

注1：令和元年度滋賀県森林・林業統計要覧による。

注2：四捨五入のため、内訳と総数が合わないことがある。

4 林地の異動状況（森林計画の対象森林）

（１）森林より森林以外への異動

（単位 h a）

市町名 \ 異動区分		農用地	ゴルフ場等 レジャー 施設用地	住宅・別荘・ 工場等建物 敷地、付帯地	道路敷	その他	合計
市 町 別 内 訳	大津市	-	-	0.41	3.36	-	3.77
	草津市	-	-	0.24	-	-	0.24
	守山市	-	-	0.25	-	-	0.25
	栗東市	-	0.7	0.77	-	-	1.47
	野洲市	-	-	0.45	-	-	0.45
	甲賀市	-	-	4.21	-	-	4.21
	湖南市	-	-	0.41	-	-	0.41
	近江八幡市	-	-	5.92	-	-	5.92
	東近江市	-	-	12.66	0.02	-	12.68
	日野町	-	-	1.19	-	-	1.19
	竜王町	-	-	0.59	-	-	0.59
	総数	-	0.7	27.1	3.38	-	31.18

注1：四捨五入のため、市町の計と総数とは一致しない場合がある。

注2：令和2年度に確定したものである。

（２）森林以外より森林への異動

（単位 h a）

市町名 \ 異動区分		農用地	国有林	その他	合計
市 町 別 内 訳	大津市	-	-	-	-
	近江八幡市	-	-	-	-
	草津市	-	-	-	-
	守山市	-	-	-	-
	栗東市	-	-	-	-
	甲賀市	1.53	-	-	-
	野洲市	-	-	-	-
	湖南市	-	-	-	-
	東近江市	-	-	-	-
	日野町	0.06	-	-	-
	竜王町	-	-	-	-
	総数	1.59	-	-	-

注1：四捨五入のため、市町の計と総数は一致しない場合がある。

5 その他

(1) 持続的伐採可能量

第1表 主伐(皆伐)上限量の目安(年間)

単位 材積:千m³

主伐(皆伐)上限量の目安
301

※ 計算方法

【主伐(皆伐)上限量の目安の計算式(年間)】

$$E = Zw + (Vw - Vn) / Ta$$

E: 伐採(皆伐)材積の目安

Ta: 更新期間

Zw: 対象森林の期首時の年間成長量

Vw: 対象森林の期首時の立木材積

Vn: 基準立木材積

(対象森林が伐期齢に達した場合の立木材積の1/2)

【持続的伐採可能量の計算式(年間)】

$$Ea = E \times A$$

Ea: 持続的伐採可能量

A: 再造林率

第2表 持続的伐採可能量(年間)

単位 再造林率:% 材積:千m³

再造林率	持続的伐採可能量	間伐立木材積	合計
100	301	58	359
90	271		329
80	241		299
70	211		269
60	181		239
50	151		209
40	120		178
30	90		148
20	60		118
10	30		88

刊行物名 湖南地域森林計画
令和2年12月変更
刊行年月 令和3年 2月
発行 滋賀県琵琶湖環境部森林政策課
〒520-8577 大津市京町四丁目1-1
TEL 077-528-3914 (直通)
FAX 077-528-4886
電子メールアドレス dj00@pref.shiga.lg.jp

森林区域の変更(湖南)

面積変更のある森林区域の変更

区域	市町名	変更件数	転用				転入	
			伐採届	林地開発	連絡調整	その他	農転	その他
湖南	大津市	5	0.48		3.29			
湖南	近江八幡市	7	0			5.92		
湖南	草津市	1	0.24					
湖南	守山市	1	0.25					
湖南	栗東市	2	1.47					
湖南	甲賀市	16	4.21				1.53	
湖南	野洲市	2	0.45					
湖南	湖南市	2	0.41					
湖南	東近江市	11	2.58	10.1				
湖南	日野町	4	1.19				0.06	
湖南	竜王町	1	0.59					

転用

伐採届 11.87ha 林地開発 10.10ha

連絡調整 3.29ha その他 5.92ha

転入

農地転用 1.59ha


変更前森林面積 89,060.86ha

変更後森林面積 89,031.27ha 28.73ha 減

図面の凡例

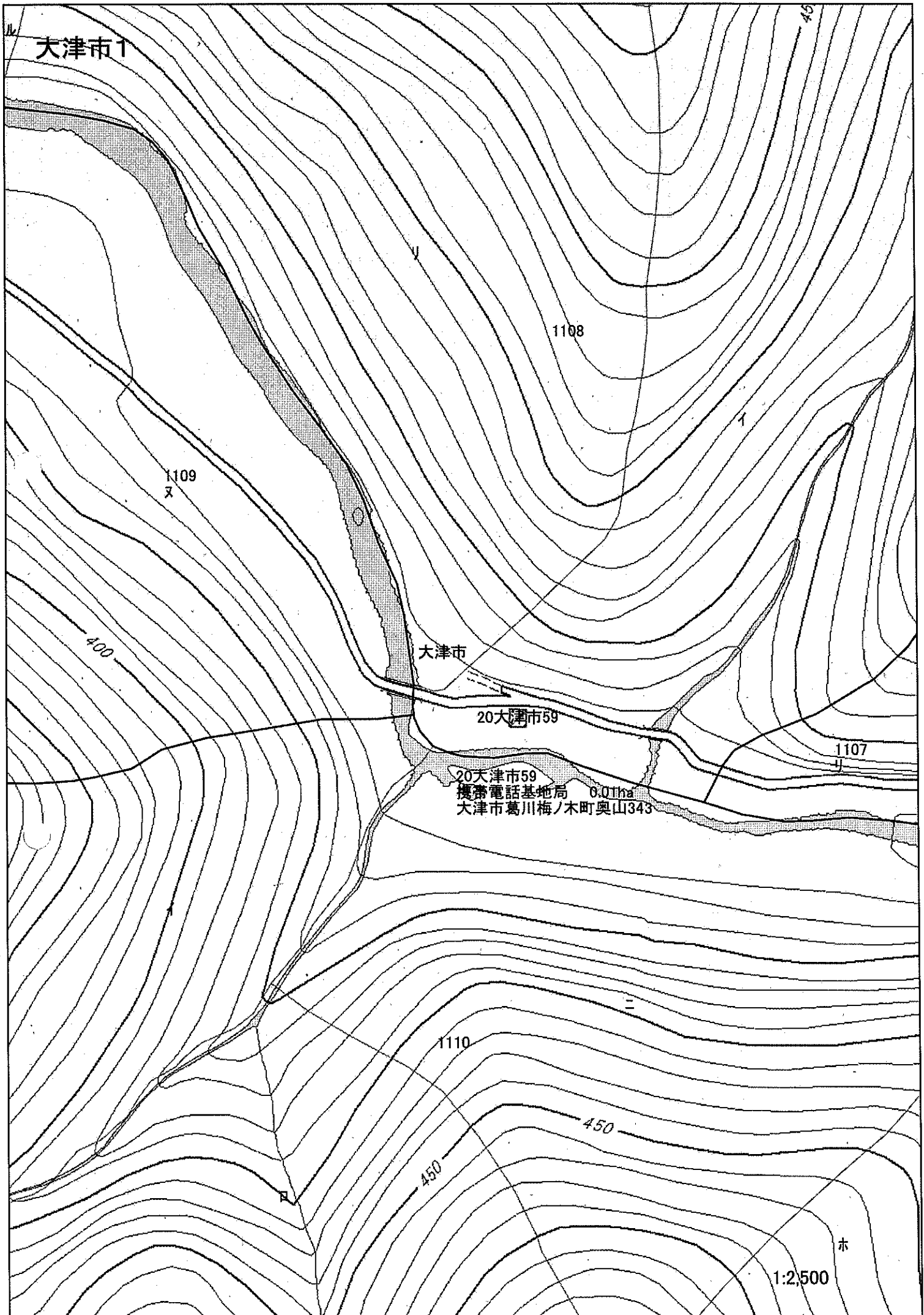
 森林区域外への転用箇所

 森林区域転入箇所

 面積修正を伴わない転用箇所

 森林計画区域

 国有林



大津市1

1108

1109
又

大津市

20大津市59

1107

20大津市59
携帯電話基地局 6.01ha
大津市葛川梅ノ木町奥山343

400

1110

450

450

ホ

1:2,500

志賀町3

2014
ル

2015

2015

2015
子

21大津市02

大津市

72015

21大津市2
太陽光発電施設 0.12ha
大津市南小松北野北山角258-1木

2015

2015

2015

2015

1:2,500

志賀町6

2021

2020

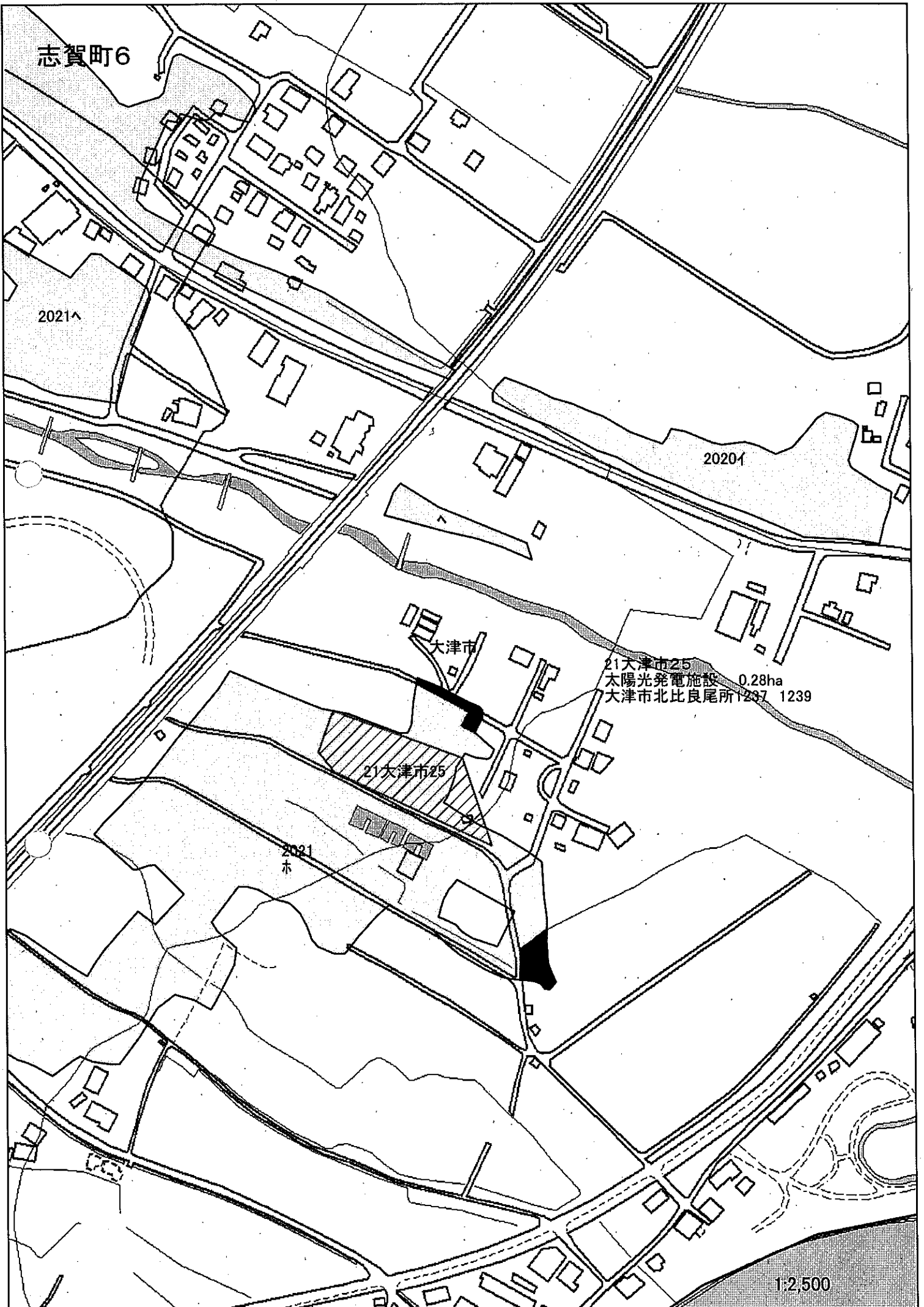
大津市

21大津市25
太陽光発電施設 0.28ha
大津市北比良尾所1237 1239

21大津市25

2021
ホ

1:2,500



大津市31 木

1251

1249△

大津市

21大津市46

21大津市36
進入路 0.07ha
大津市大石龍門町浜中863-4 880

1249

1259△

1259木

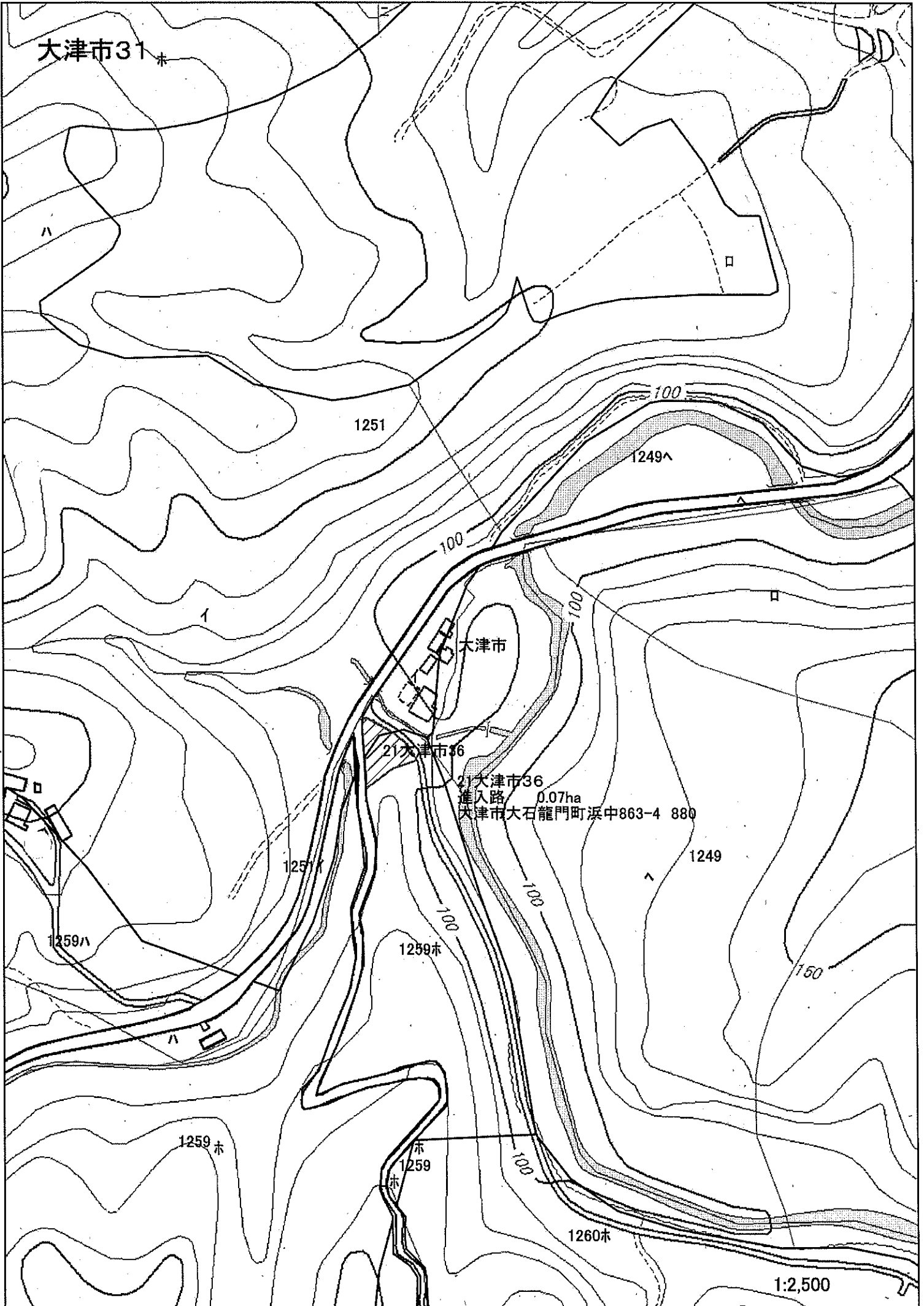
150

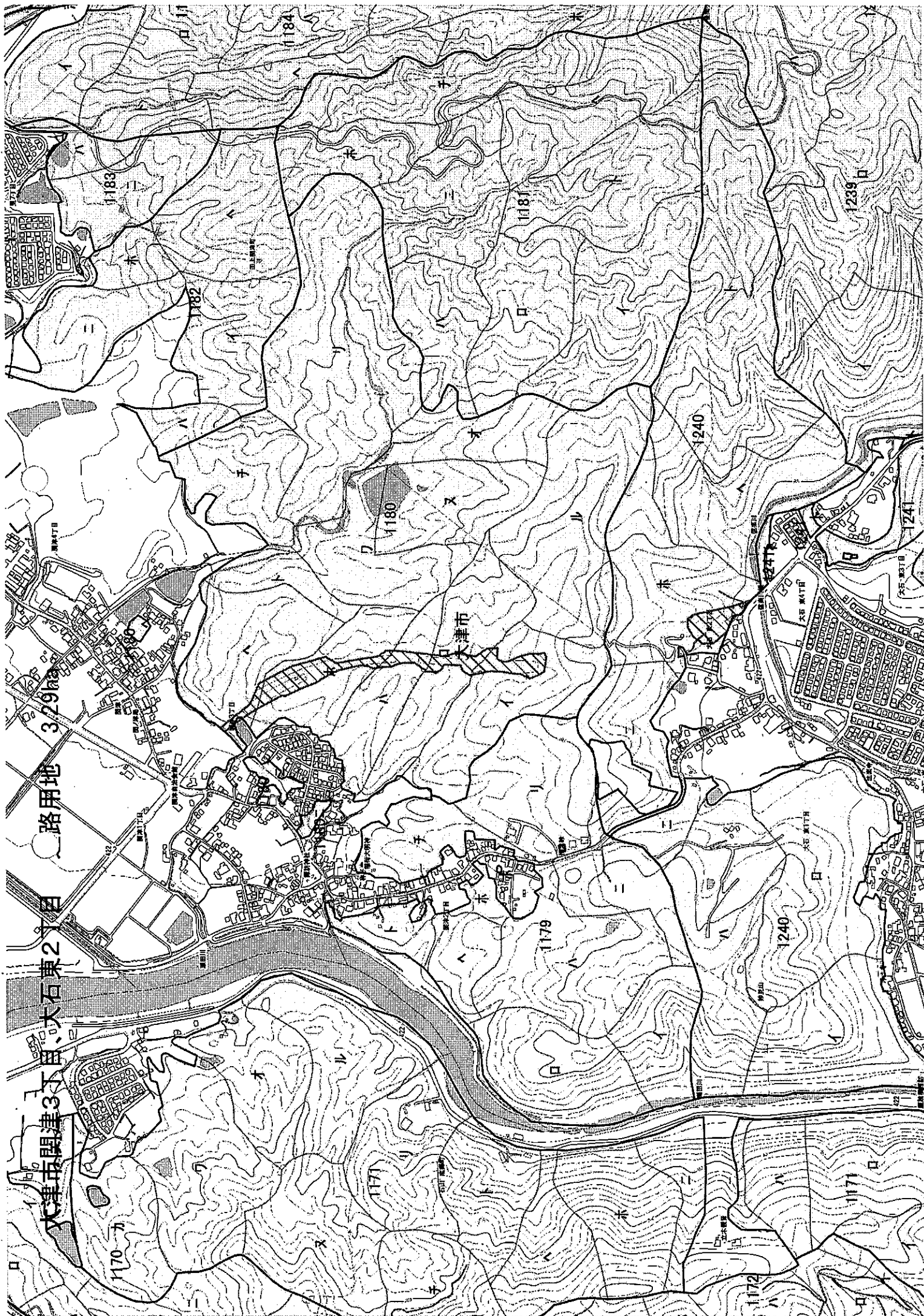
1259 木

木
1259
木

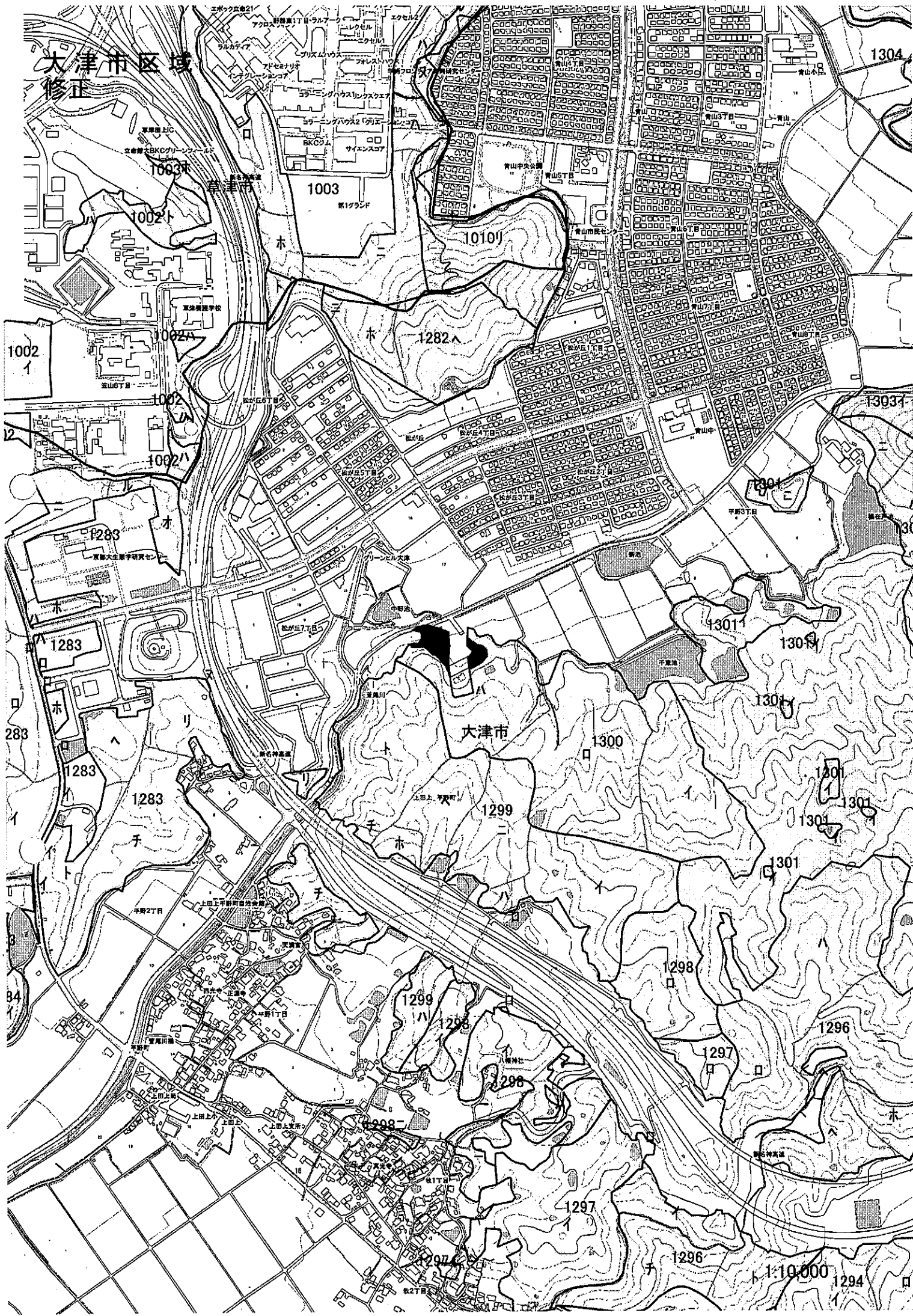
1260木

1:2,500



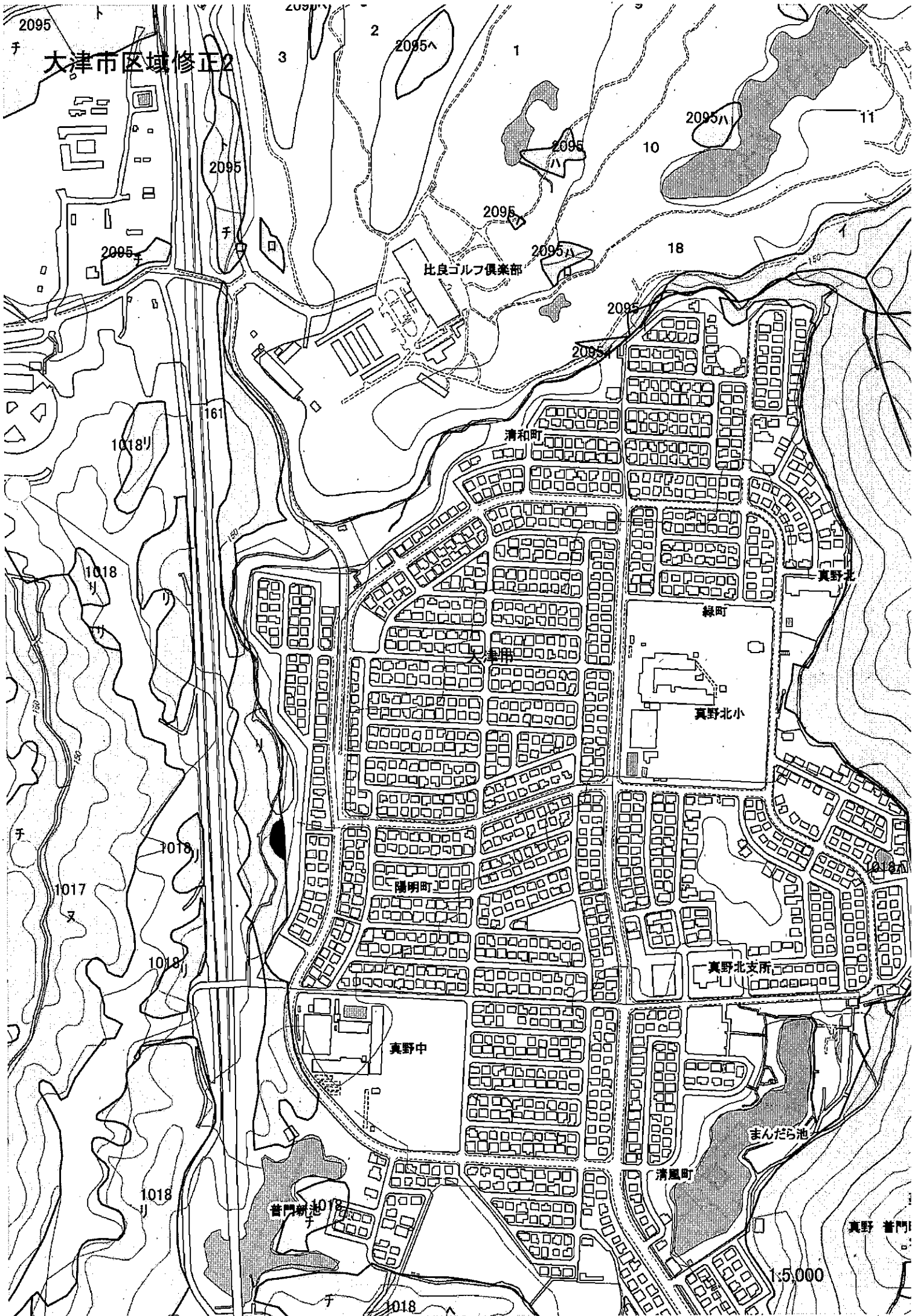


大津市区域 修正



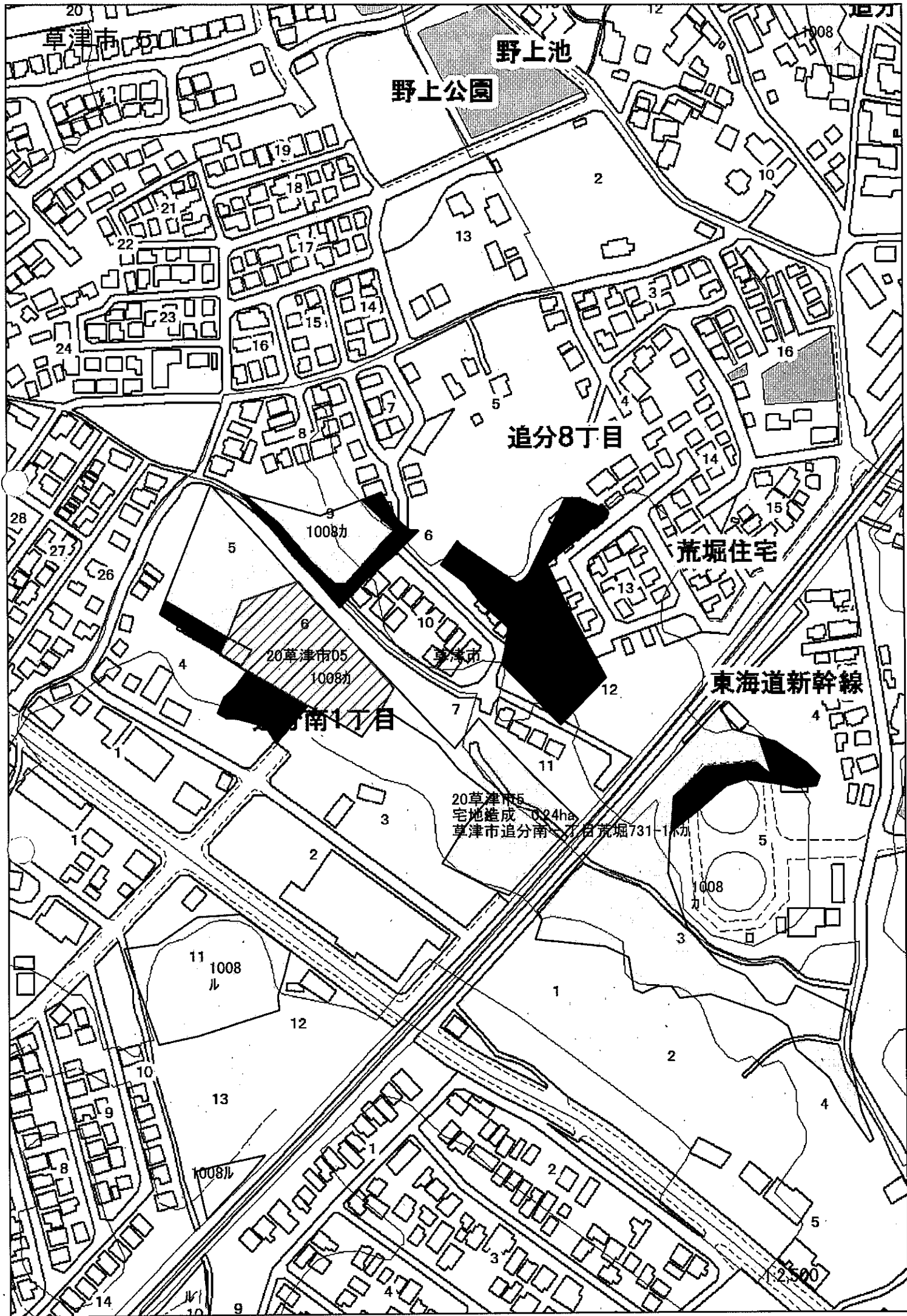
1:10,000

大津市区域修正2



1:5,000

真野 普門



草津市

野上池

野上公園

追分8丁目

荒堀住宅

東海道新幹線

南1丁目

20草津市5
宅地造成 0.24ha
草津市追分南1丁目荒堀731-1カ

1:2,500

守山市 3

立田町

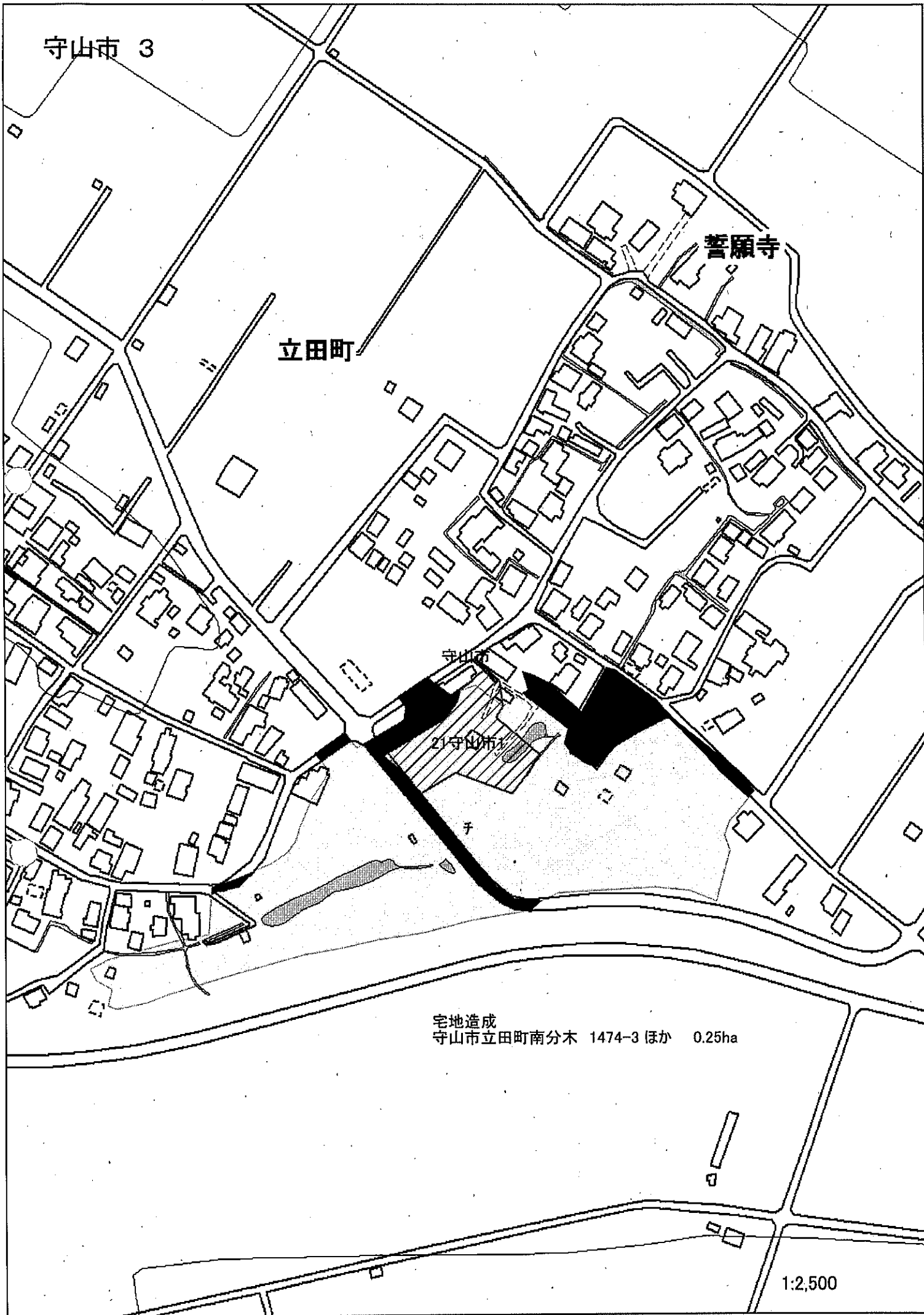
誓願寺

守山市

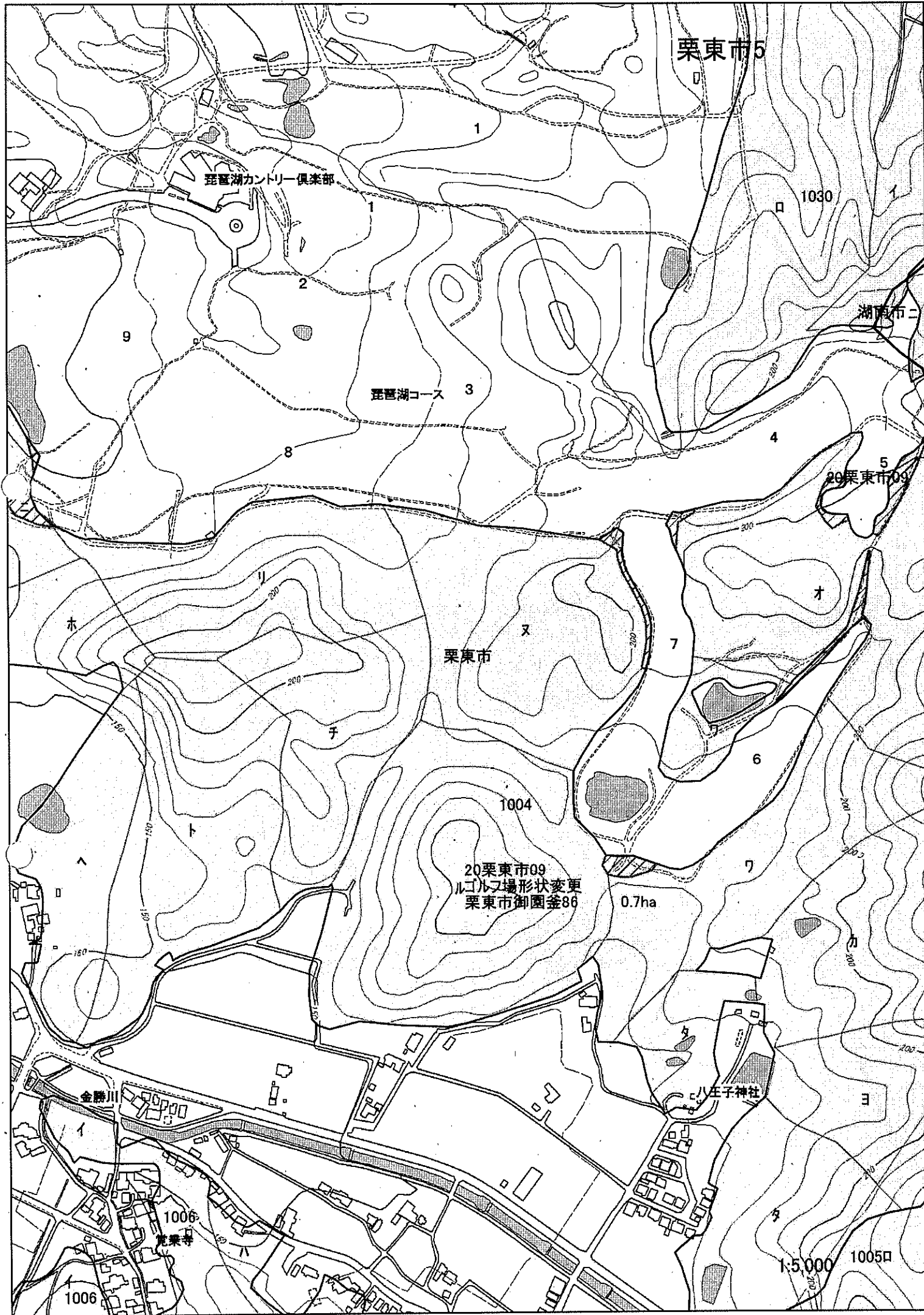
21 守山市

宅地造成
守山市立田町南分木 1474-3 ほか 0.25ha

1:2,500







栗東市5

琵琶湖カントリー倶楽部

琵琶湖コース

湖西市二

20栗東市09

栗東市

20栗東市09
ゴルフ場形状変更
栗東市御園釜86

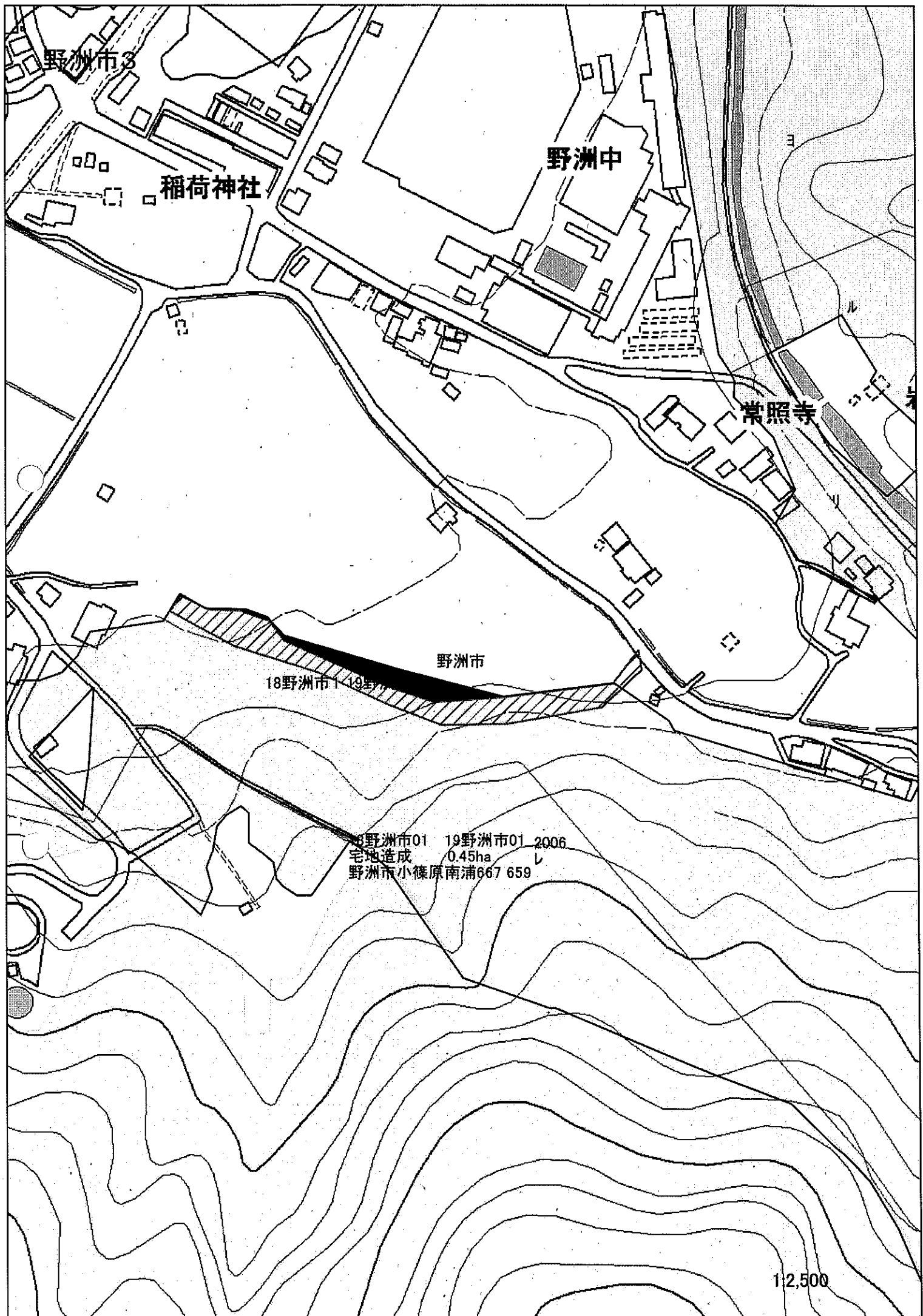
0.7ha

八王子神社

金勝川

1006
荒業寺

1:5,000 10050



野洲市3

稲荷神社

野洲中

常照寺

野洲市

18野洲市1, 19野洲市01

18野洲市01 19野洲市01_2006
宅地造成 0.45ha
野洲市小篠原南浦667 659

1:2,500

東近江市

赤巻池

水口町2

1005

1126

1007

21甲賀市14

1007

日野町

1008

子

1125

子

19甲賀市59

甲賀市

千代坊池

1007
21甲賀市14 資材直場 0.68ha
甲賀市水口町山栗2本谷35940の一部

19甲賀市59 宅地 公園等 0.37ha
甲賀市水口町山栗2本谷35940の一部

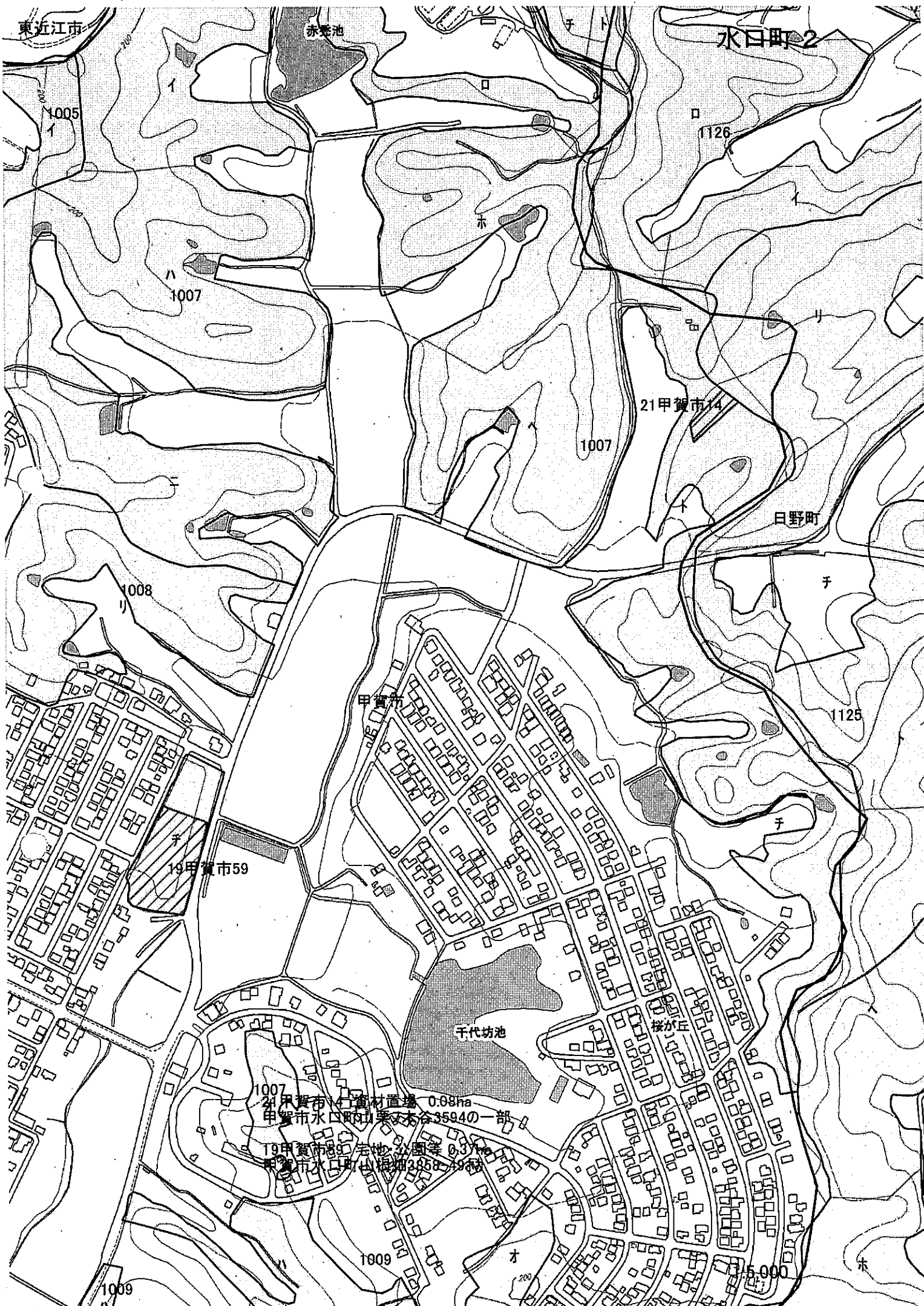
1009

1009

水

1000

水



水口町8

1030
ハ

1034
□

200

21甲賀市12

甲賀市

20甲賀市67

1039

21甲賀市12 太陽光発電 0.09ha
20甲賀市67 太陽光発電 0.14ha

甲賀市水口町蟻峨1800㎡

1:2,000

甲南町 希望ヶ丘本町9丁目

甲南町

やまびこ

4003

4003

200

200

4003

甲南町

21甲賀市16

21甲賀市16 太陽光発電所 0.99ha
甲南町甲南町深川201

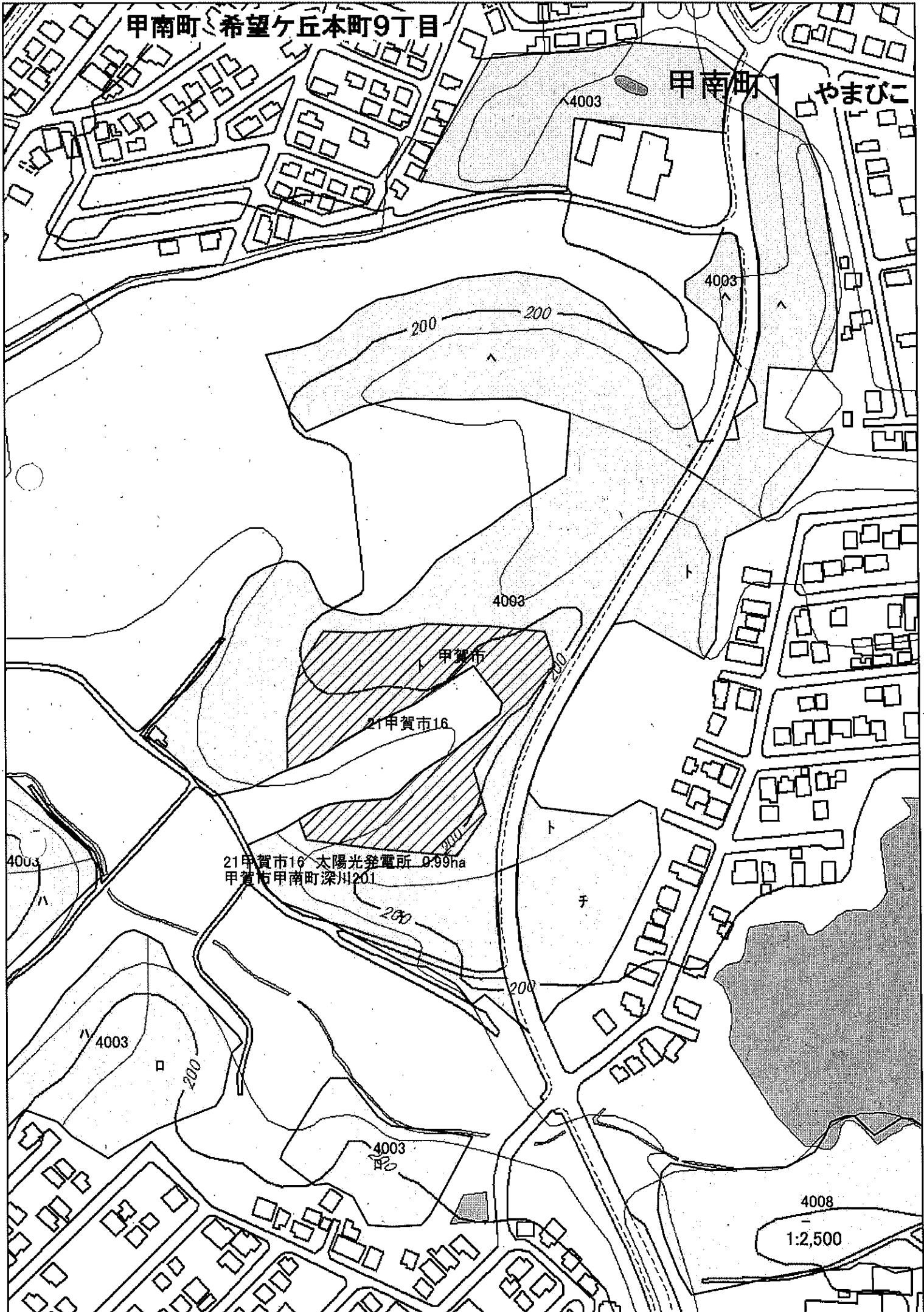
4003

4003

4003

4008

1:2,500



水口町6

子

1026

1026
リ

1030

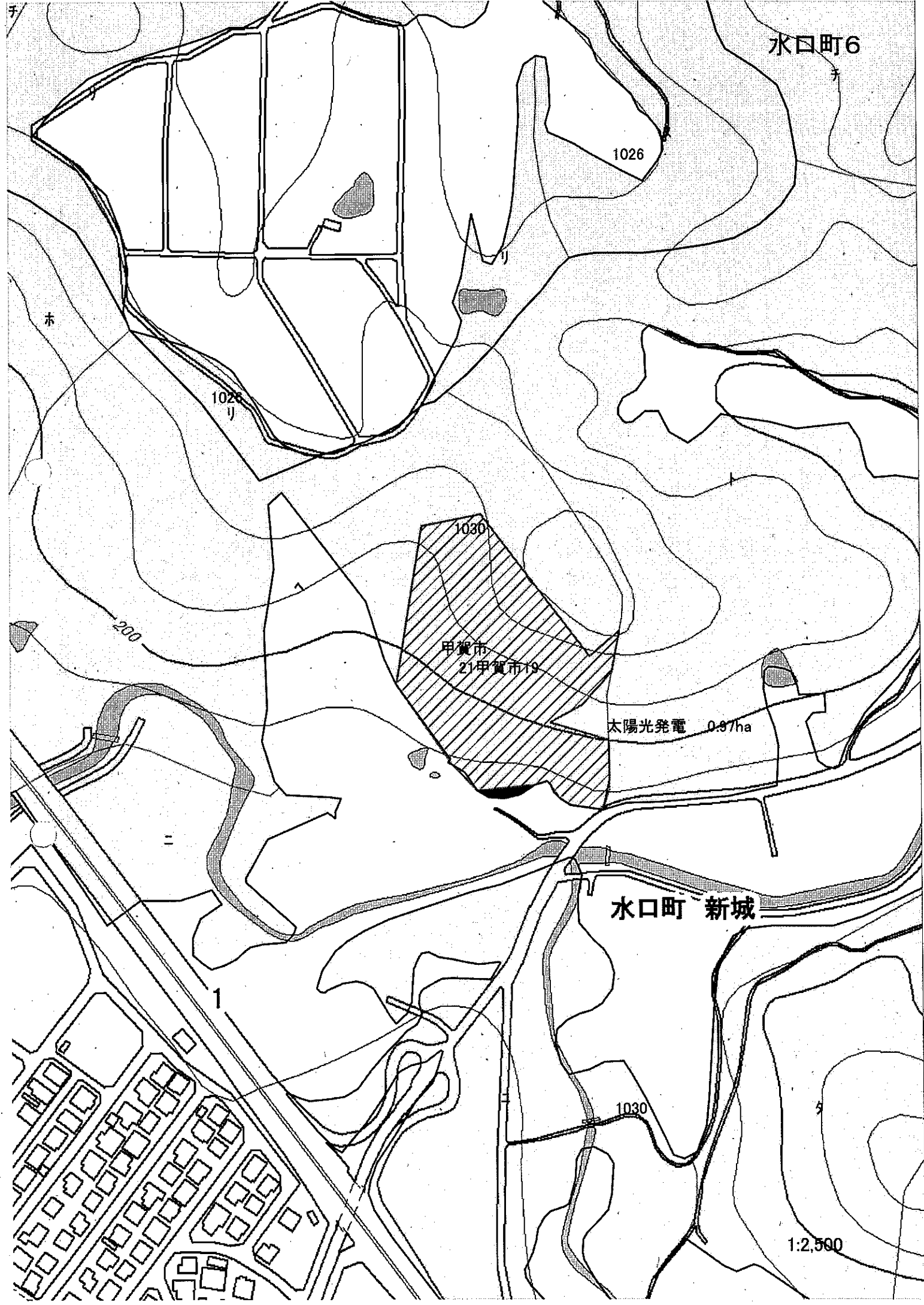
甲賀市
21甲賀市19

太陽光発電 0.97ha

水口町 新城

1030

1:2,500



信楽町8

5140

+

5139

甲賀市

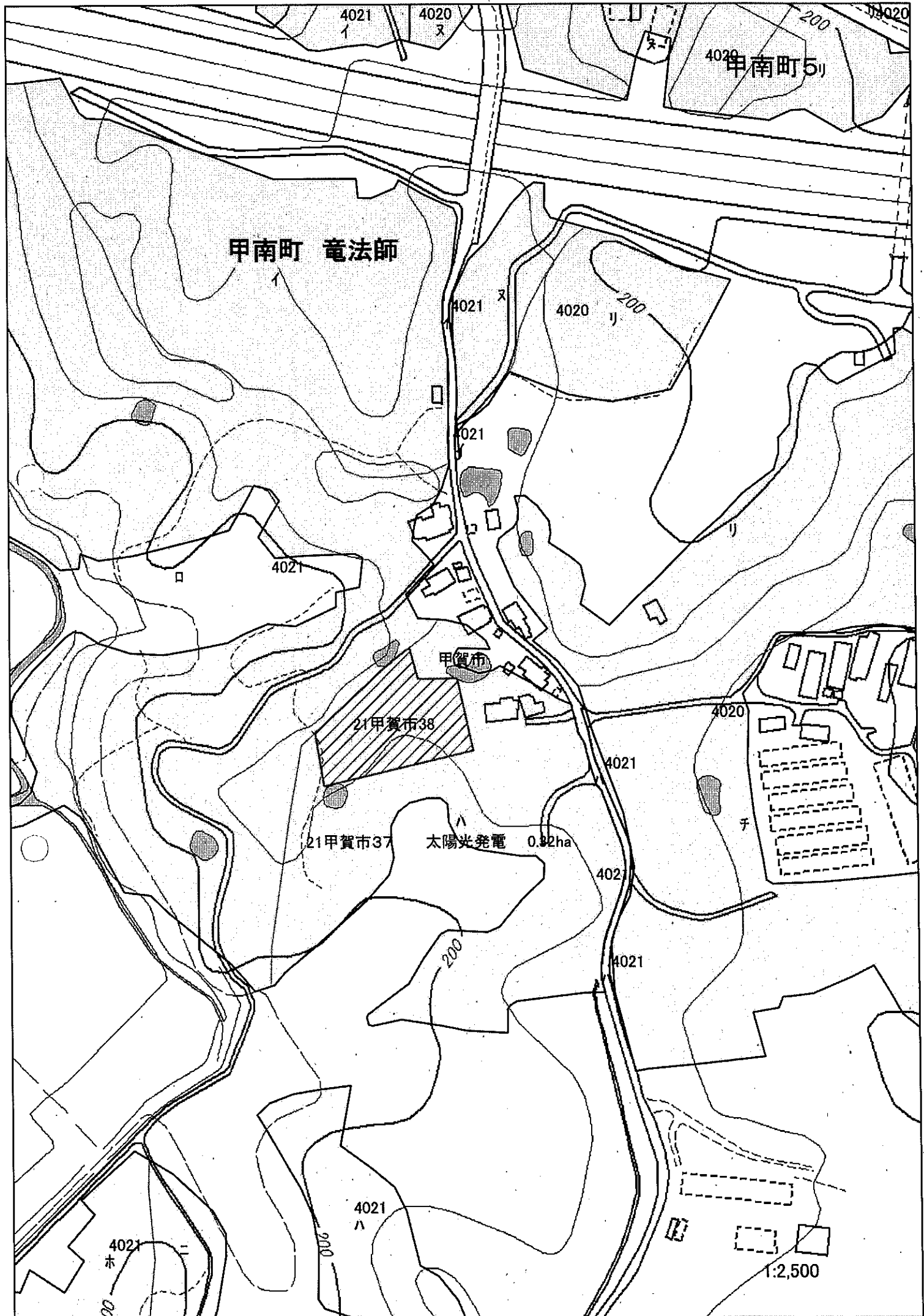
350

21甲賀市37

5139

21甲賀市1甲賀陽光発電 0.09ha
20甲賀市6陽光発電 1.0ha4ha
甲賀市信楽町下朝宮猪之鼻906-4
甲賀市水口町磯峨1800木

1:2,500



甲賀市追加1 2

300
リ

チ

ホ

5104
300

5103
イ

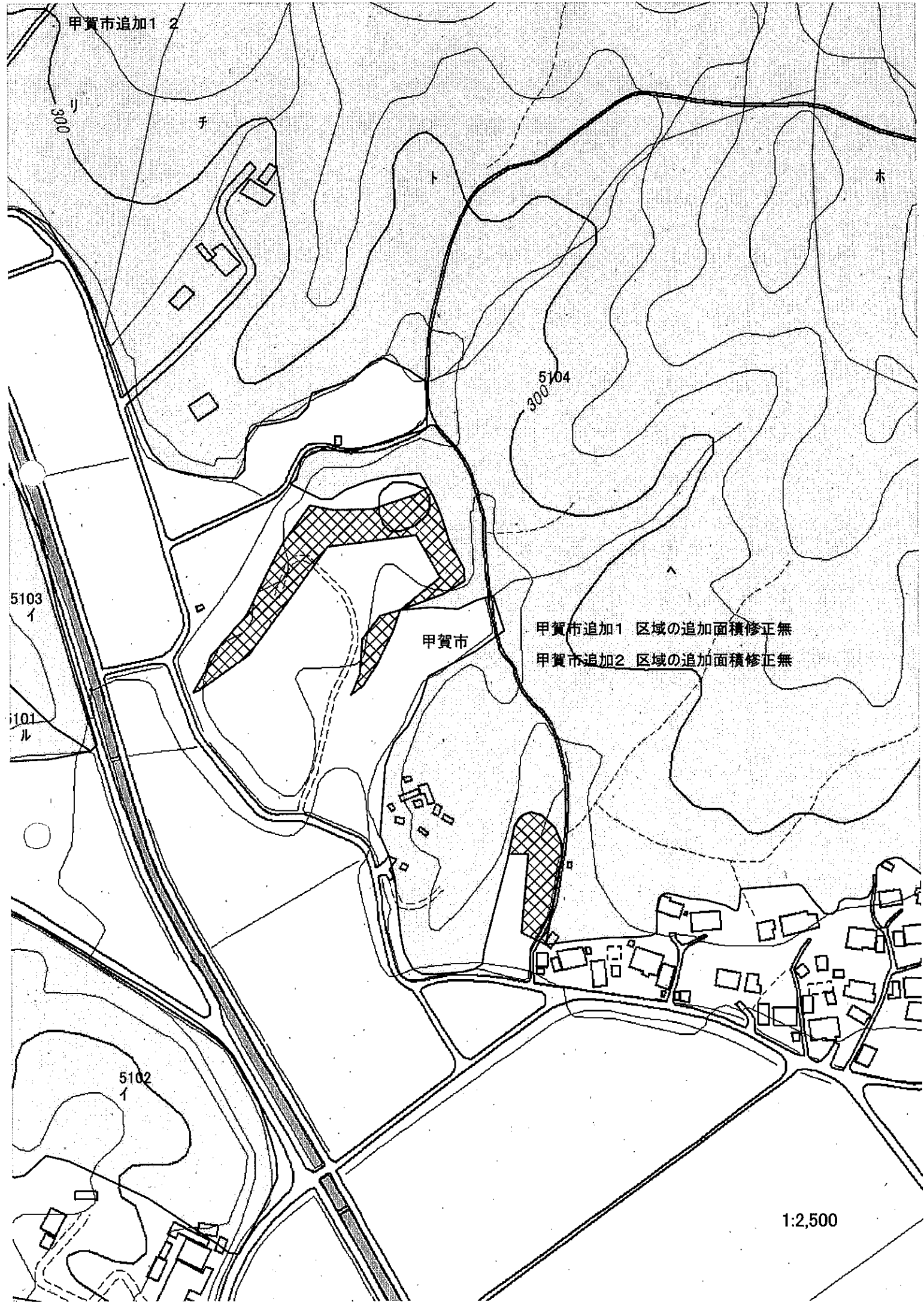
甲賀市

甲賀市追加1 区域の追加面積修正無
甲賀市追加2 区域の追加面積修正無

5101
ル

5102
イ

1:2,500



甲賀市追加3

信楽町 小川田

小川出公民館

5110

5110

503

5111

5112

甲賀市

甲賀市追加3 区域の修正のみ

5112

5113

5112

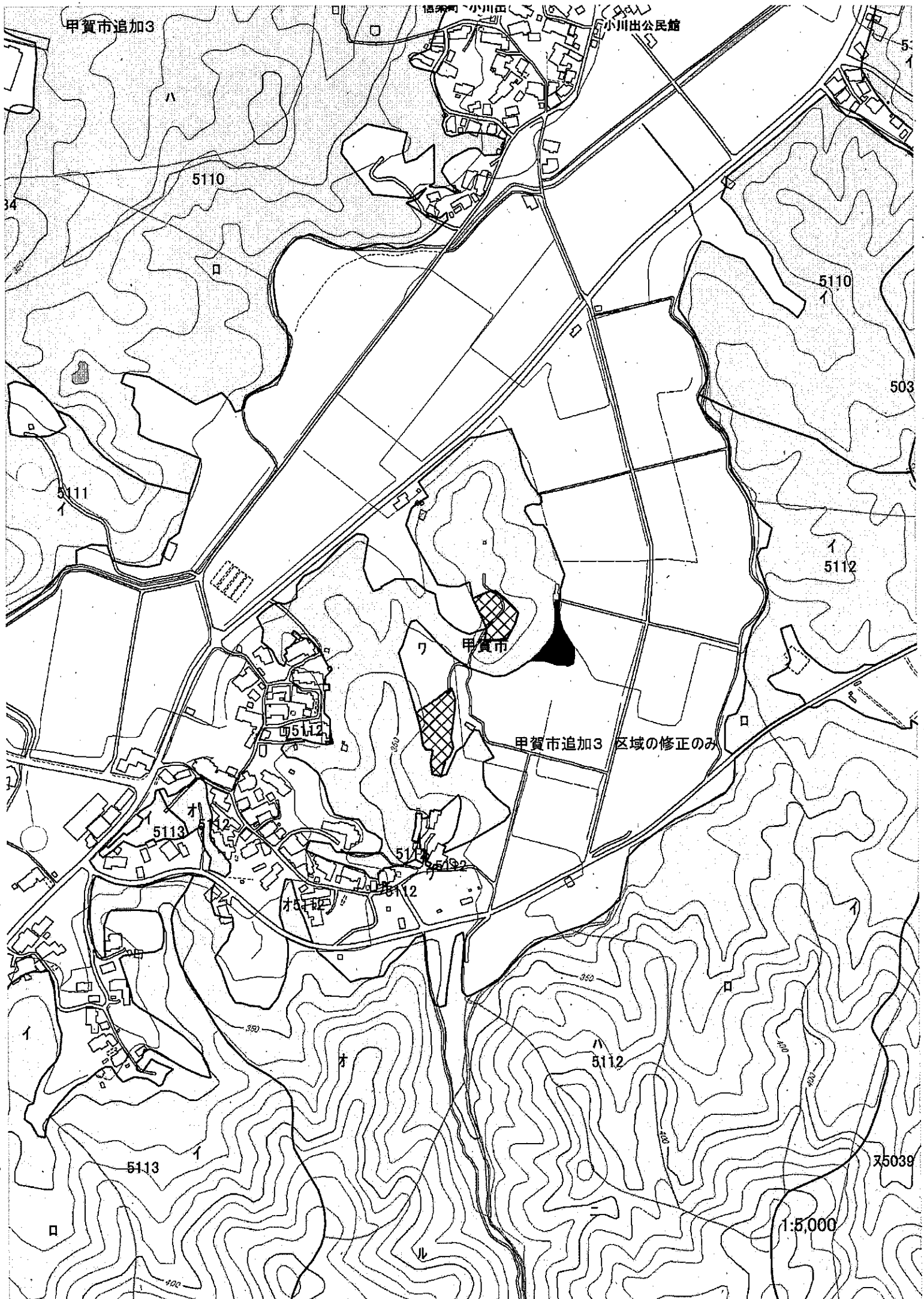
5112

5112

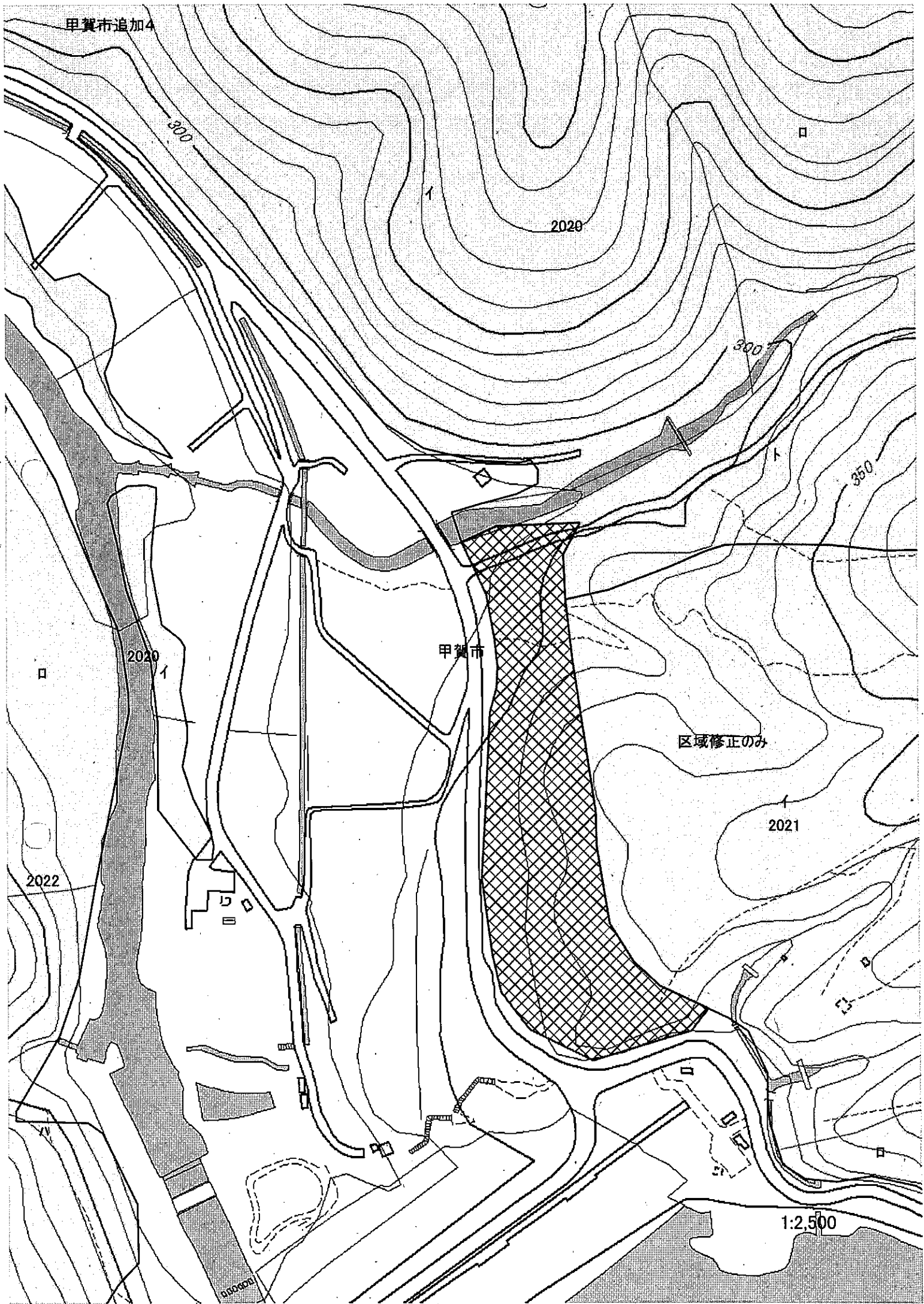
5113

75039

1:5,000



甲賀市追加4



区域修正のみ

甲賀市

1:2,500

2022

2020

2020

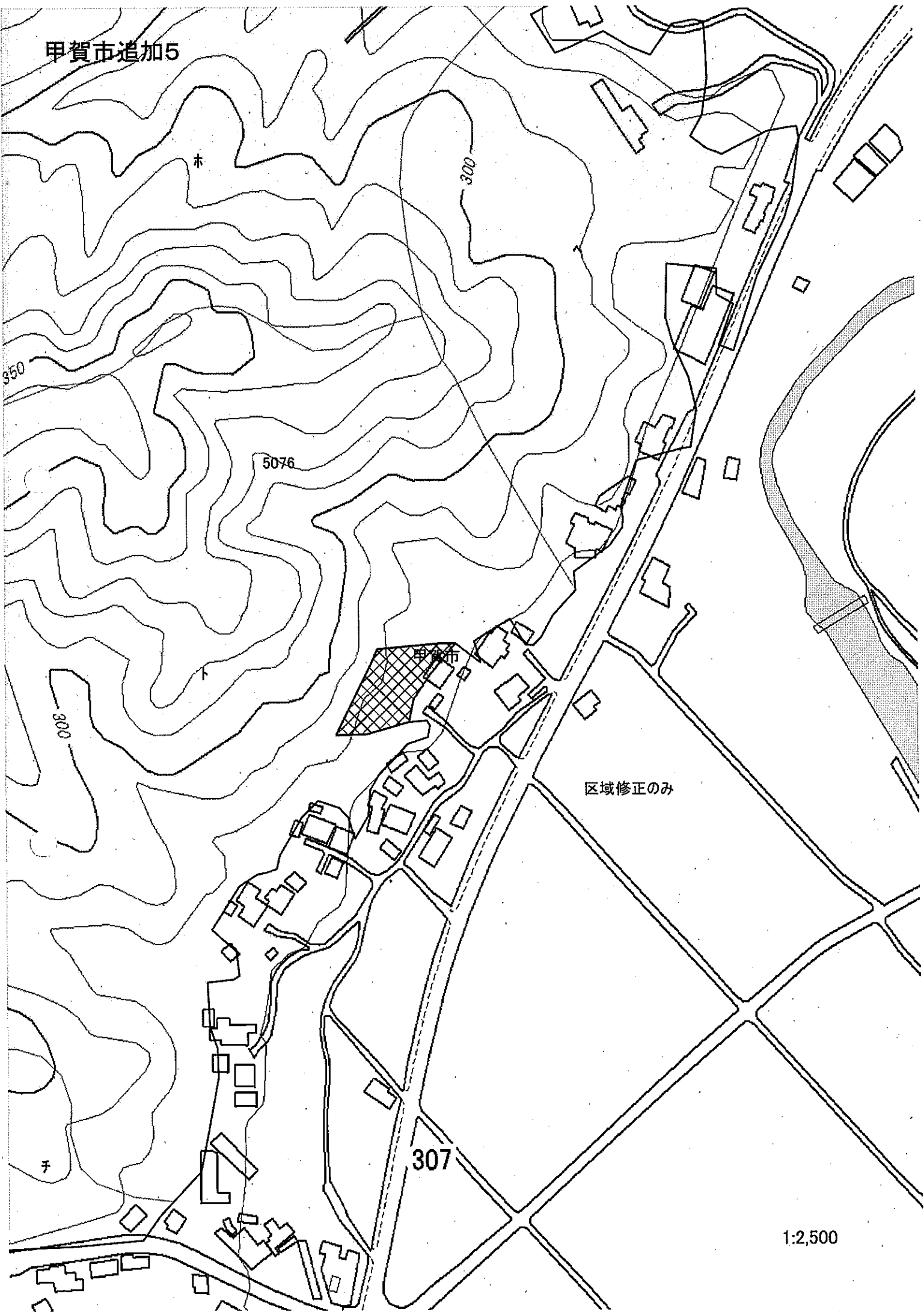
2021

300

300

350

甲賀市追加5



区域修正のみ

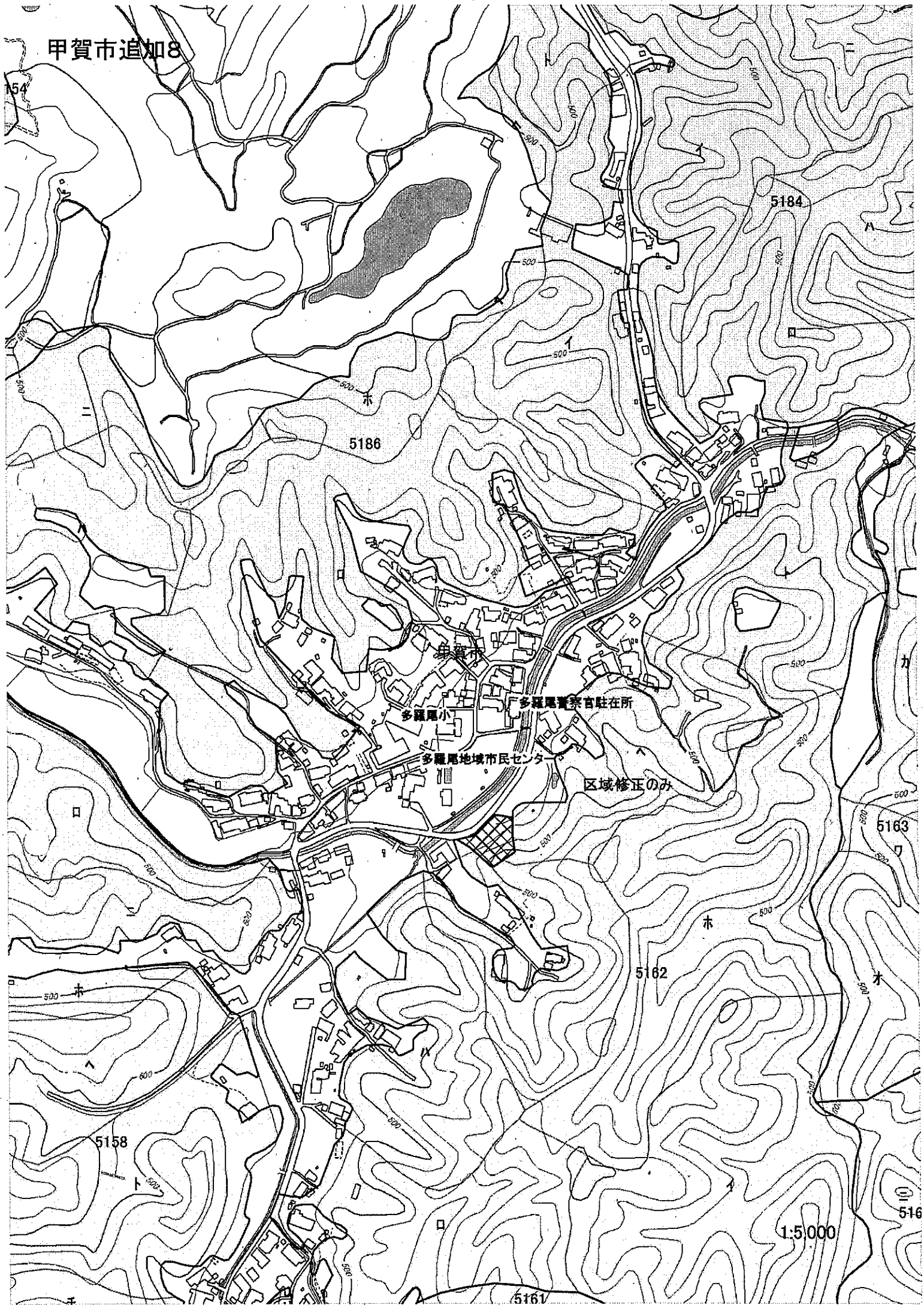
307

1:2,500

甲賀市追加6



甲賀市追加8



50007

甲賀市追加

5065

5055

5056

5054

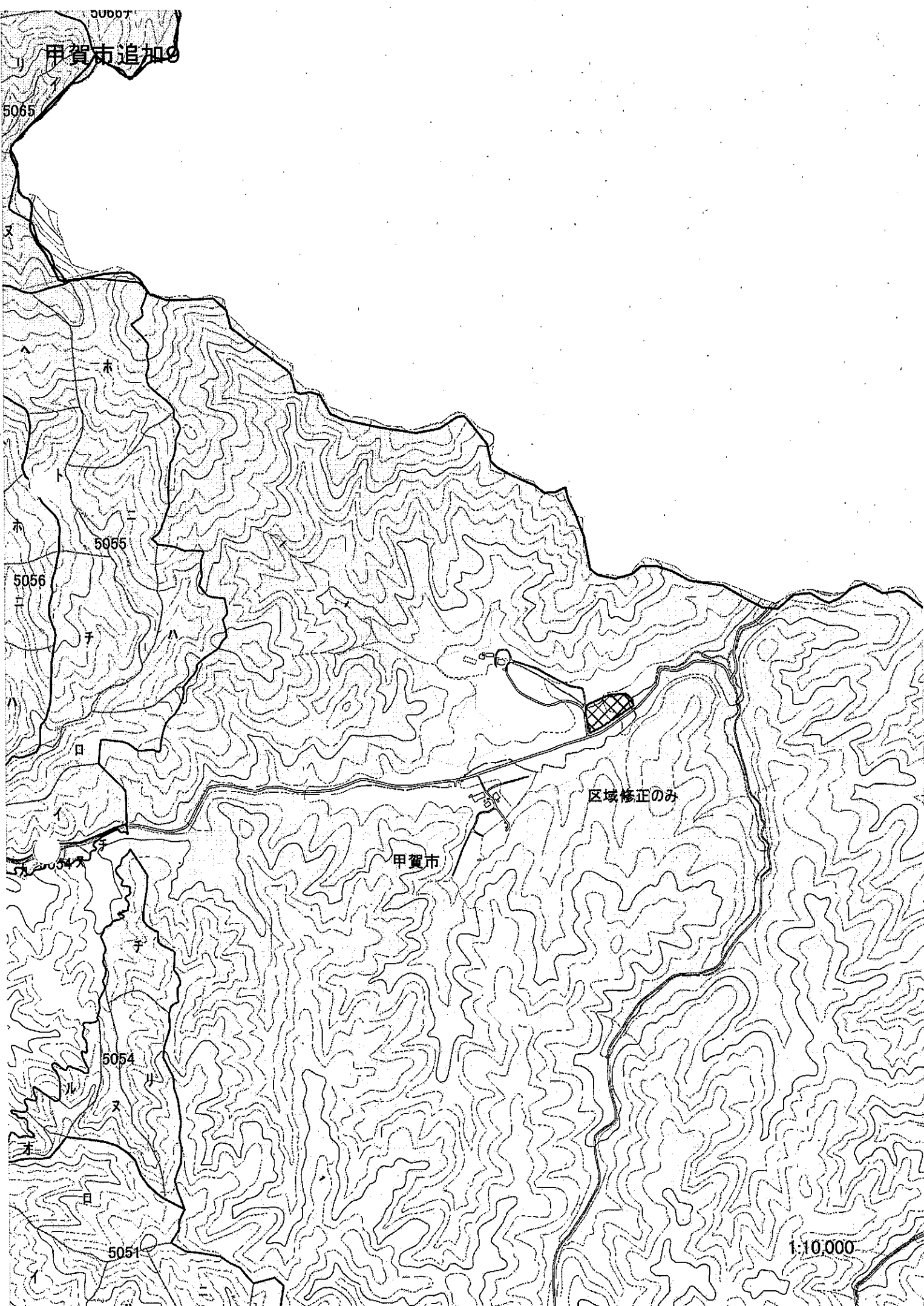
5054

5051

甲賀市

区域修正のみ

1:10,000



甲賀市農転10

4011

甲賀市

3075

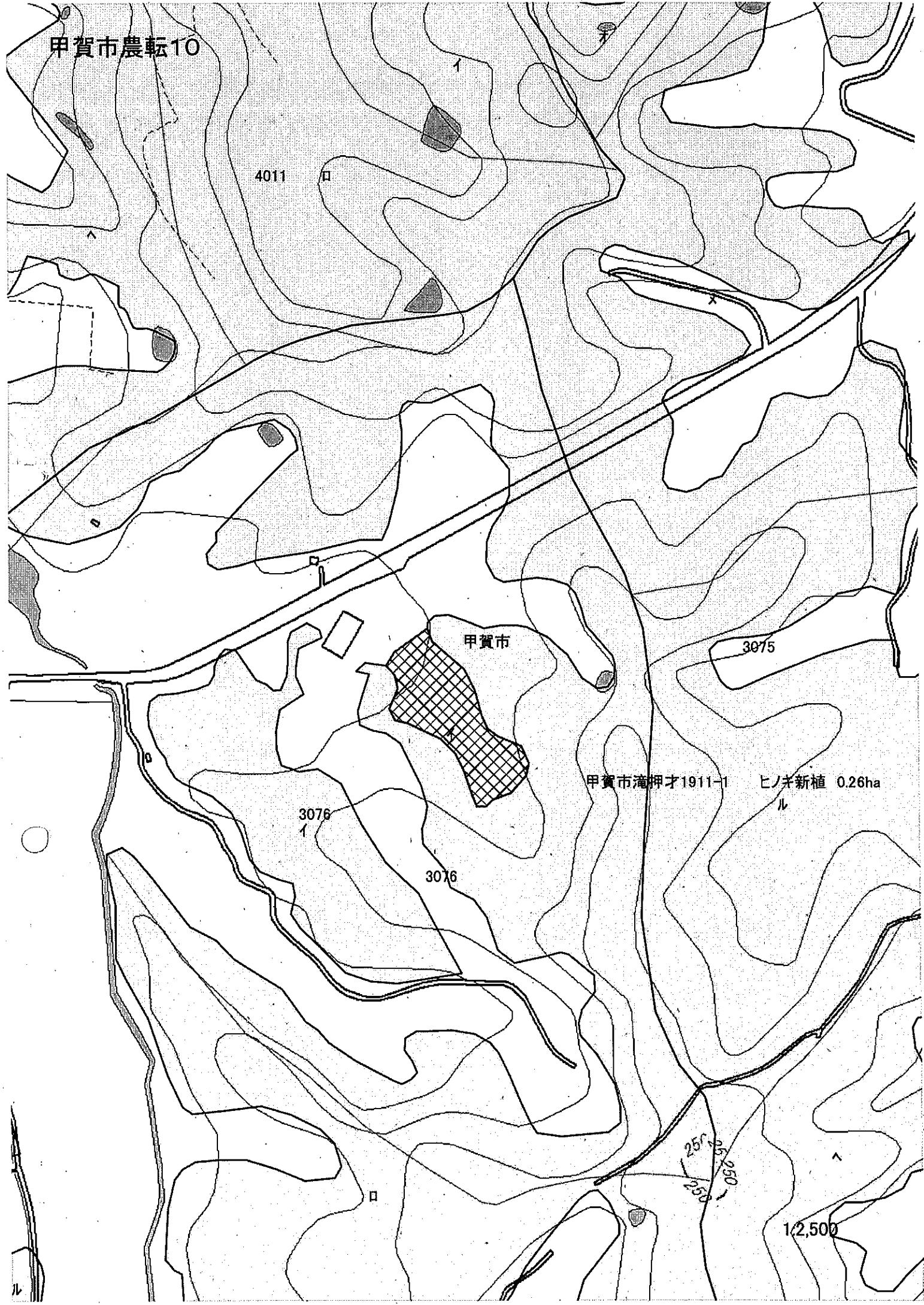
甲賀市滝押才1911-1

ヒノキ新植 0.26ha

3076

3076

1:2,500



甲賀市農転17

1010

1023

甲賀市

水口町・松尾

1024

甲賀市水口町水口下内1553 その他広葉樹 0.20ha

アヤハ水口自動車教習所

1022

思川

1024

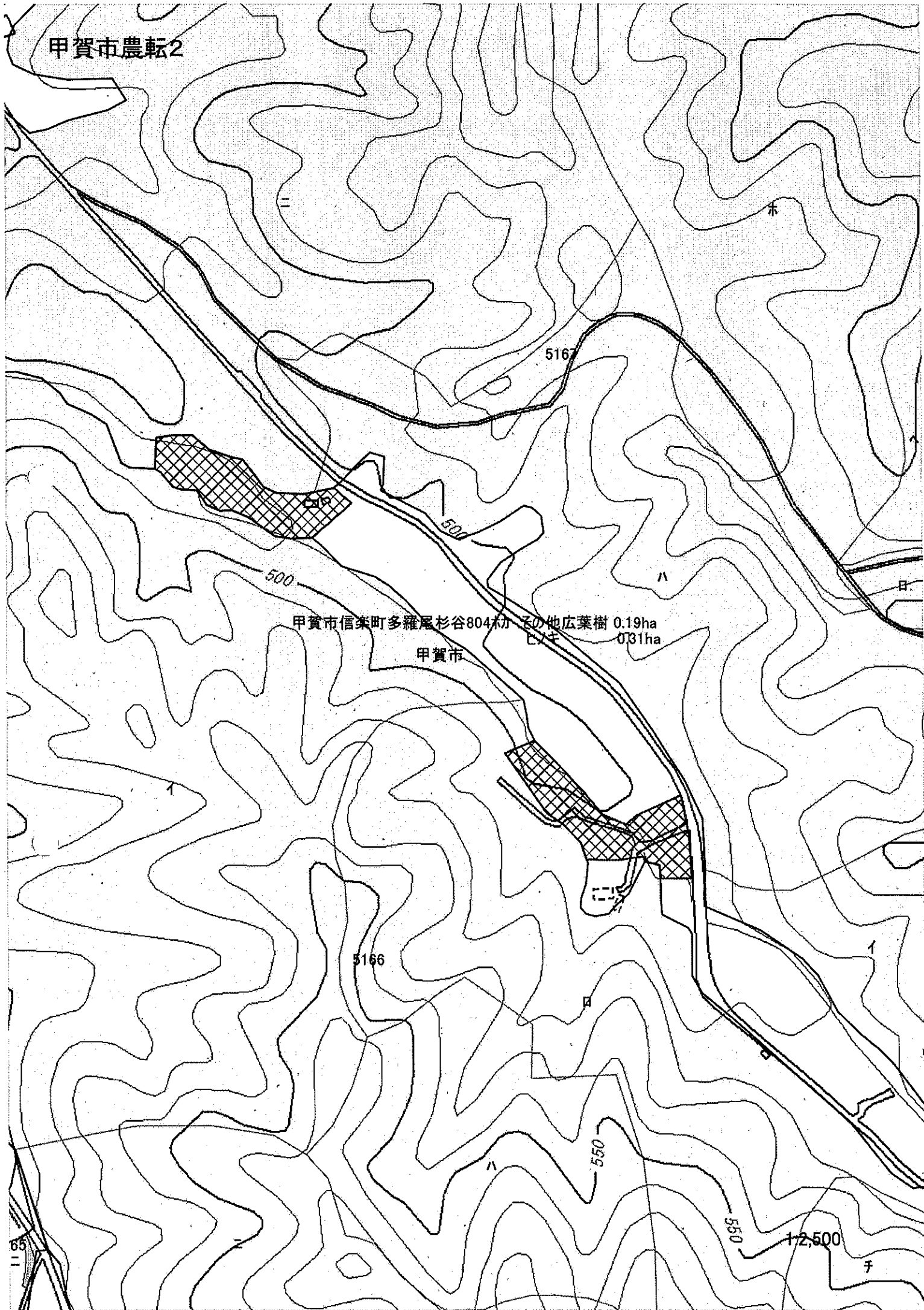
近江鉄道本線

1027

1:5,000



甲賀市農転2



甲賀市豊郷3

栄林寺

立泉寺

甲賀市

飼西

甲賀市水口町仙中横尾952/その他広葉樹 0.12ha

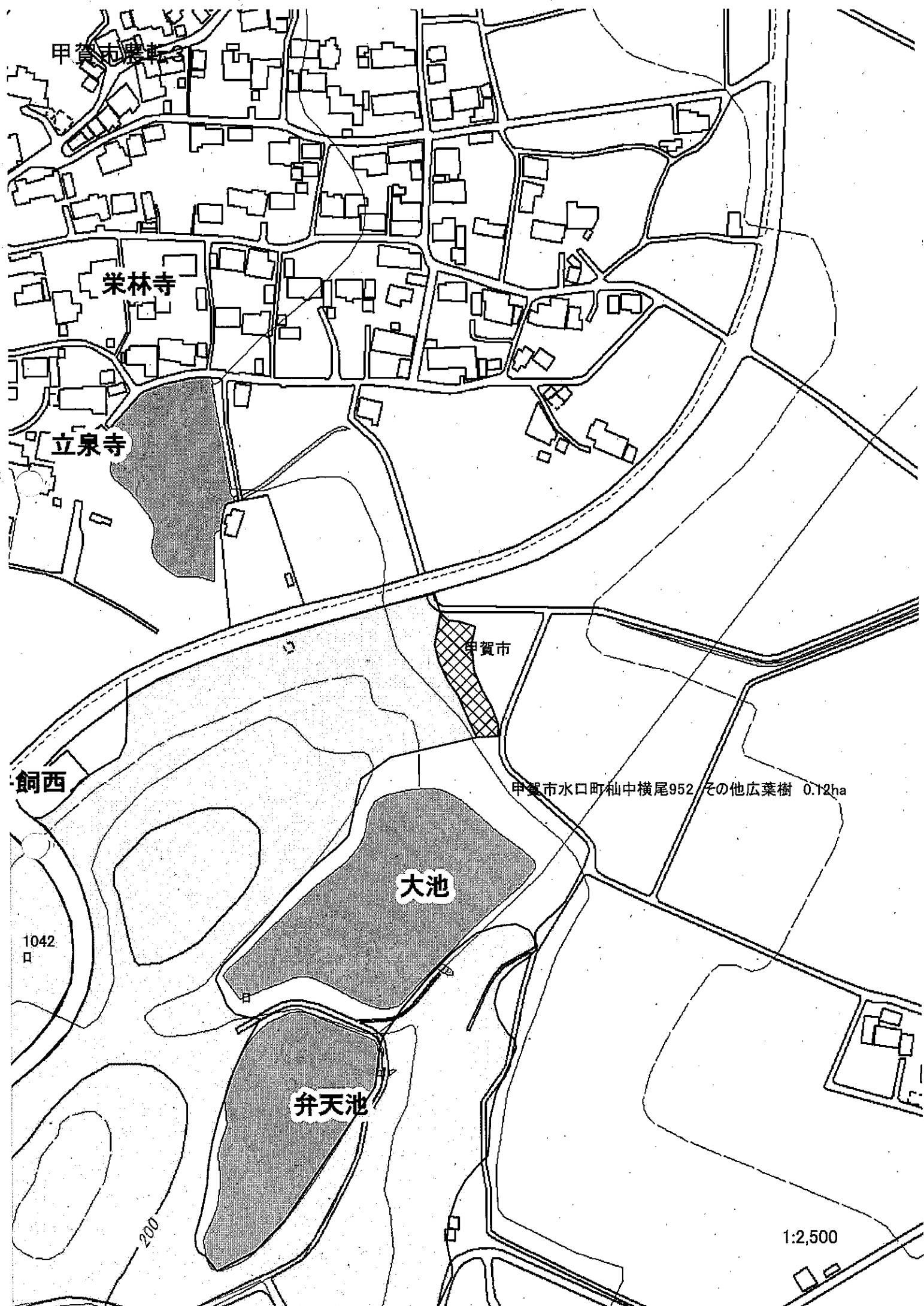
大池

弁天池

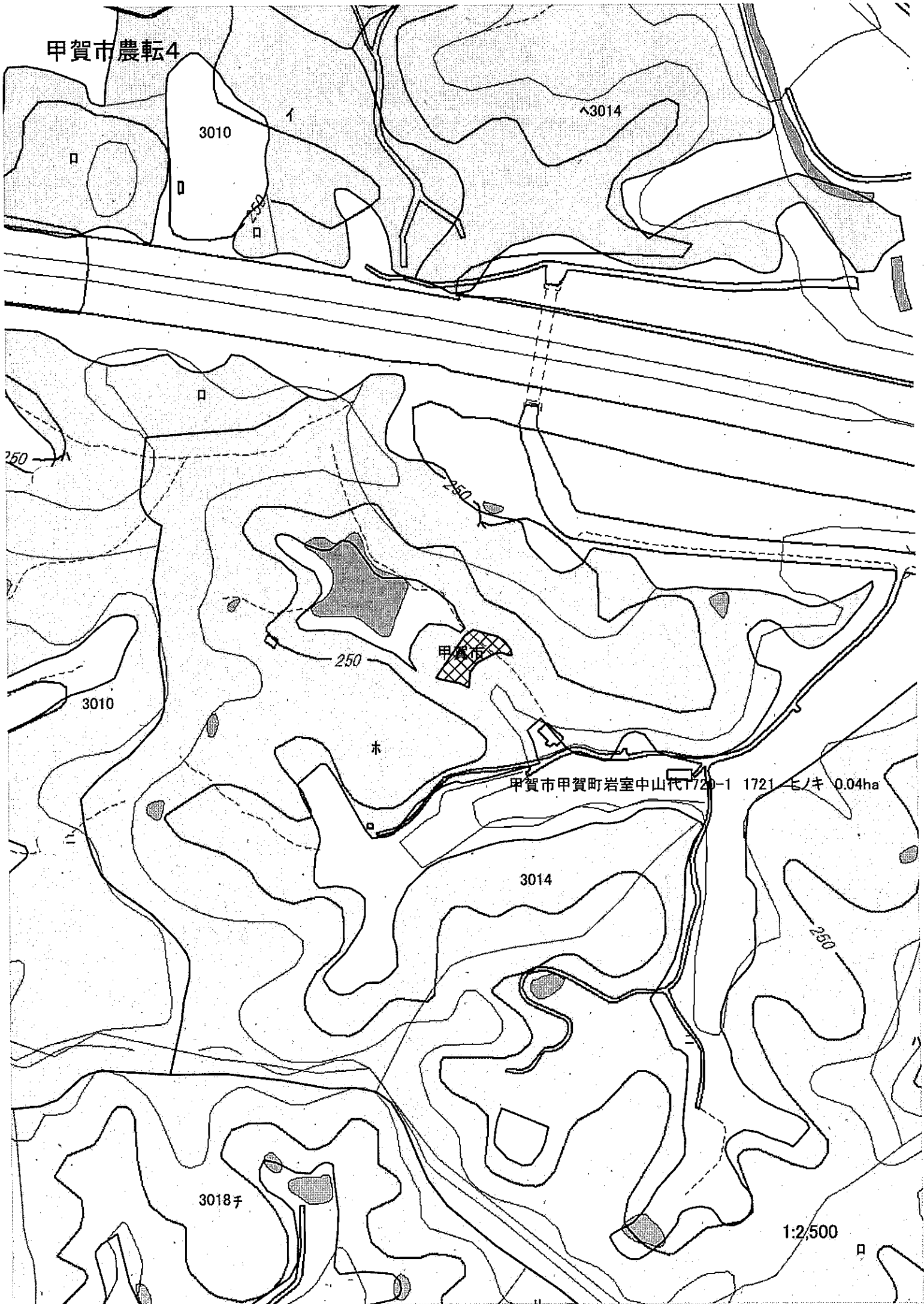
1042

200

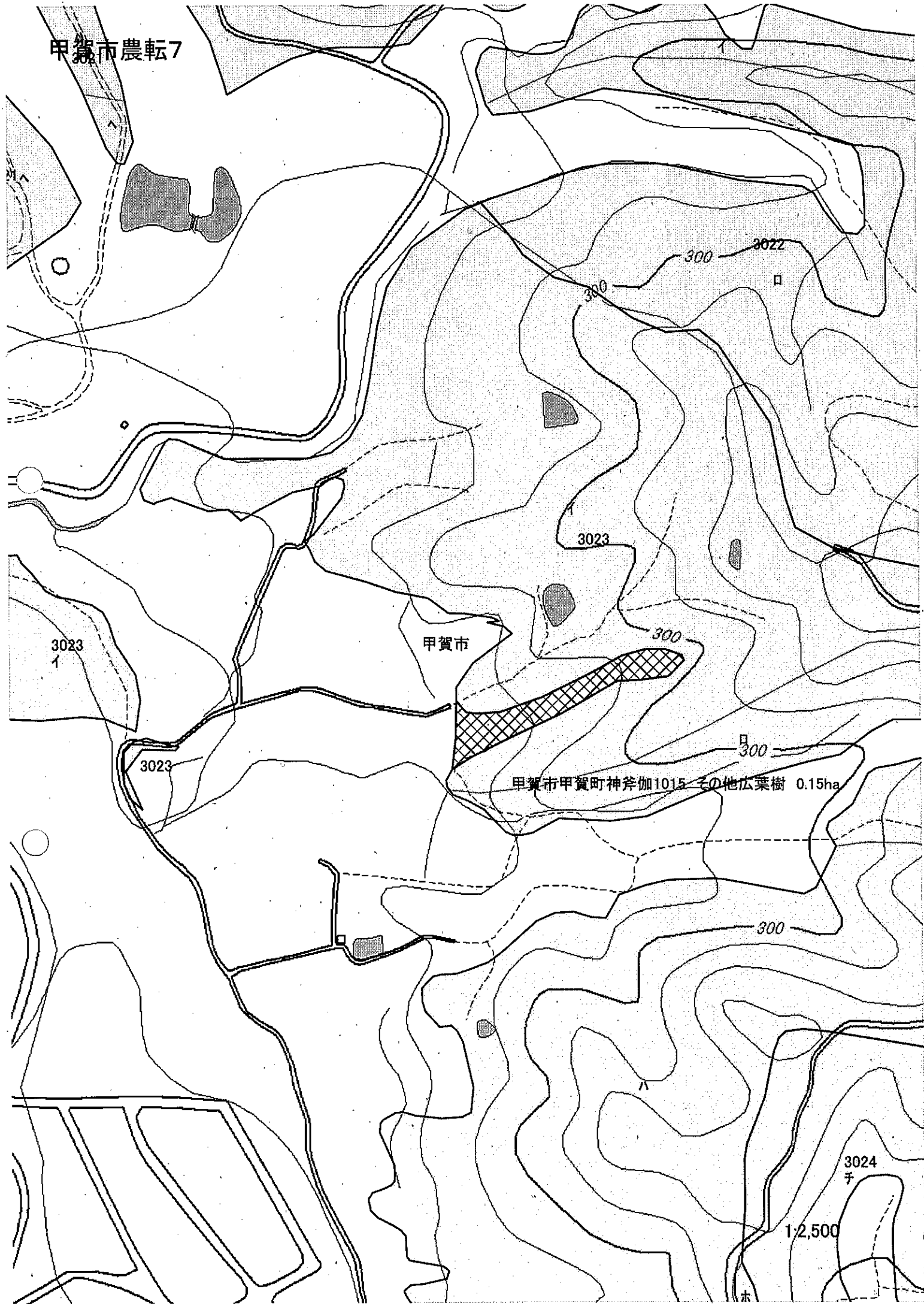
1:2,500



甲賀市農転4



甲賀市農転7



甲賀市

3023
イ

3023

3023

3022

甲賀市甲賀町神斧伽1015-その他広葉樹 0.15ha

3024
千

1,250

甲賀市農転9

3004

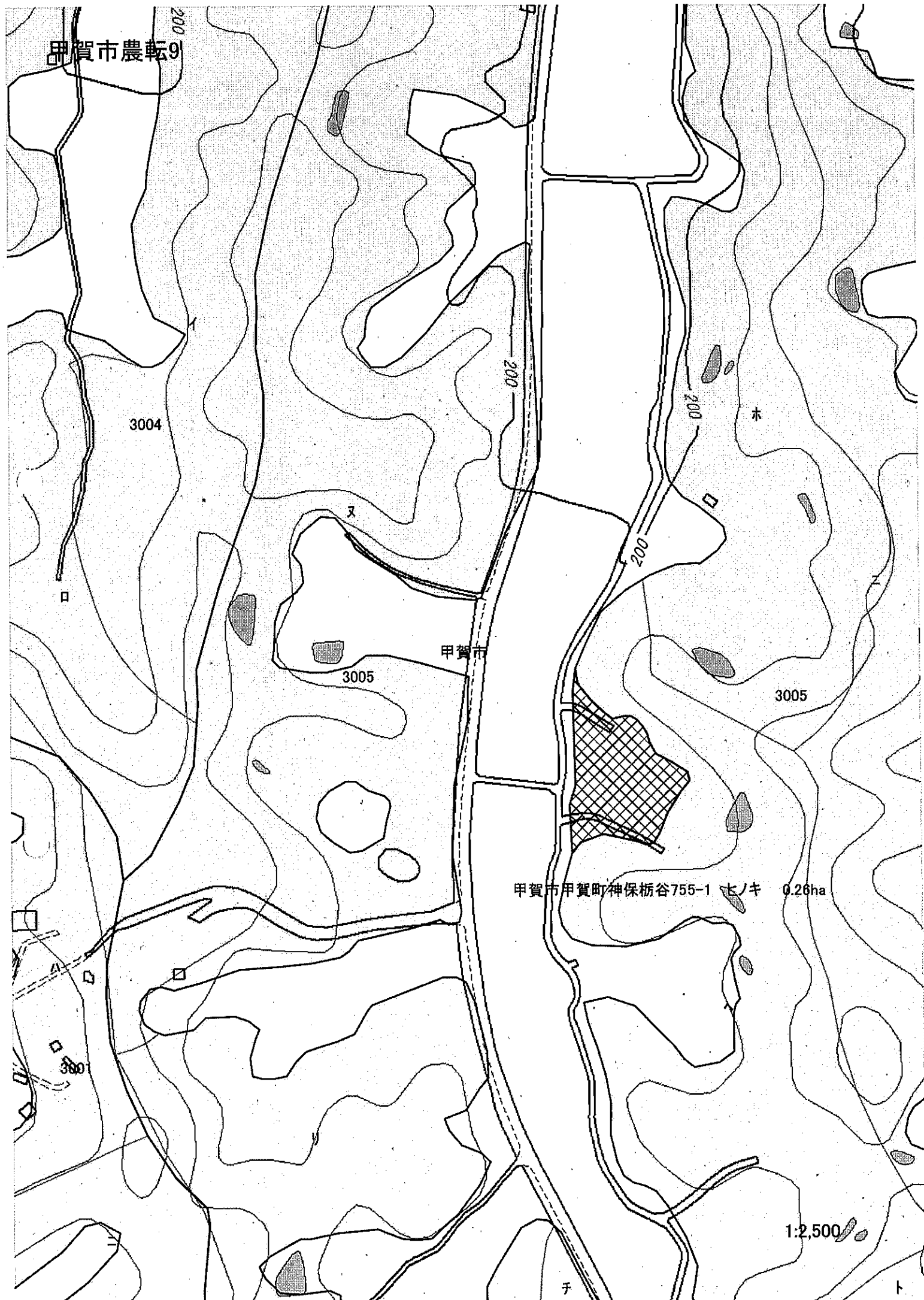
甲賀市

3005

3005

甲賀市甲賀町神保橋谷755-1 杉ノキ 0.26ha

1:2,500



甲西町8

2

2

3

2002

2012

21 湖南省04

湖南省

21 湖南省04
太陽光発電
湖南省正福寺字宮ノ口1309-172
0.02ha

2013
A

2013
A

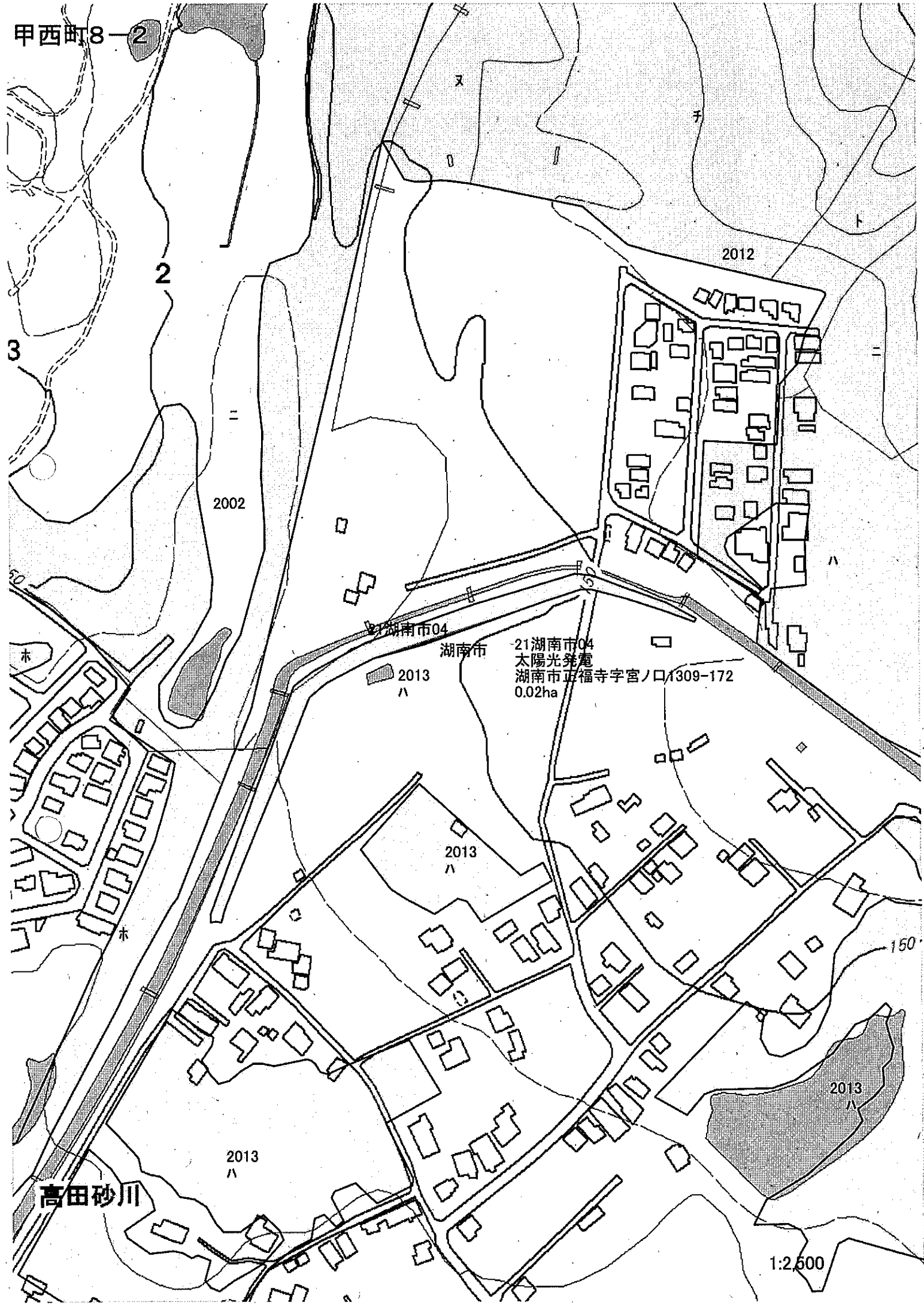
2013
A

2013
A

高田砂川

150

1:2,500



甲西町8-4

八阪神社

真願寺

2034

思川

岩根東口

高德神社

2034

1018

2037

甲賀

湖南市

20湖南市19

西徳院
朝国公民館

20湖南市19
工場
湖南市朝国北山438 ほか
0.39ha

朝国

加茂神社

2037

27

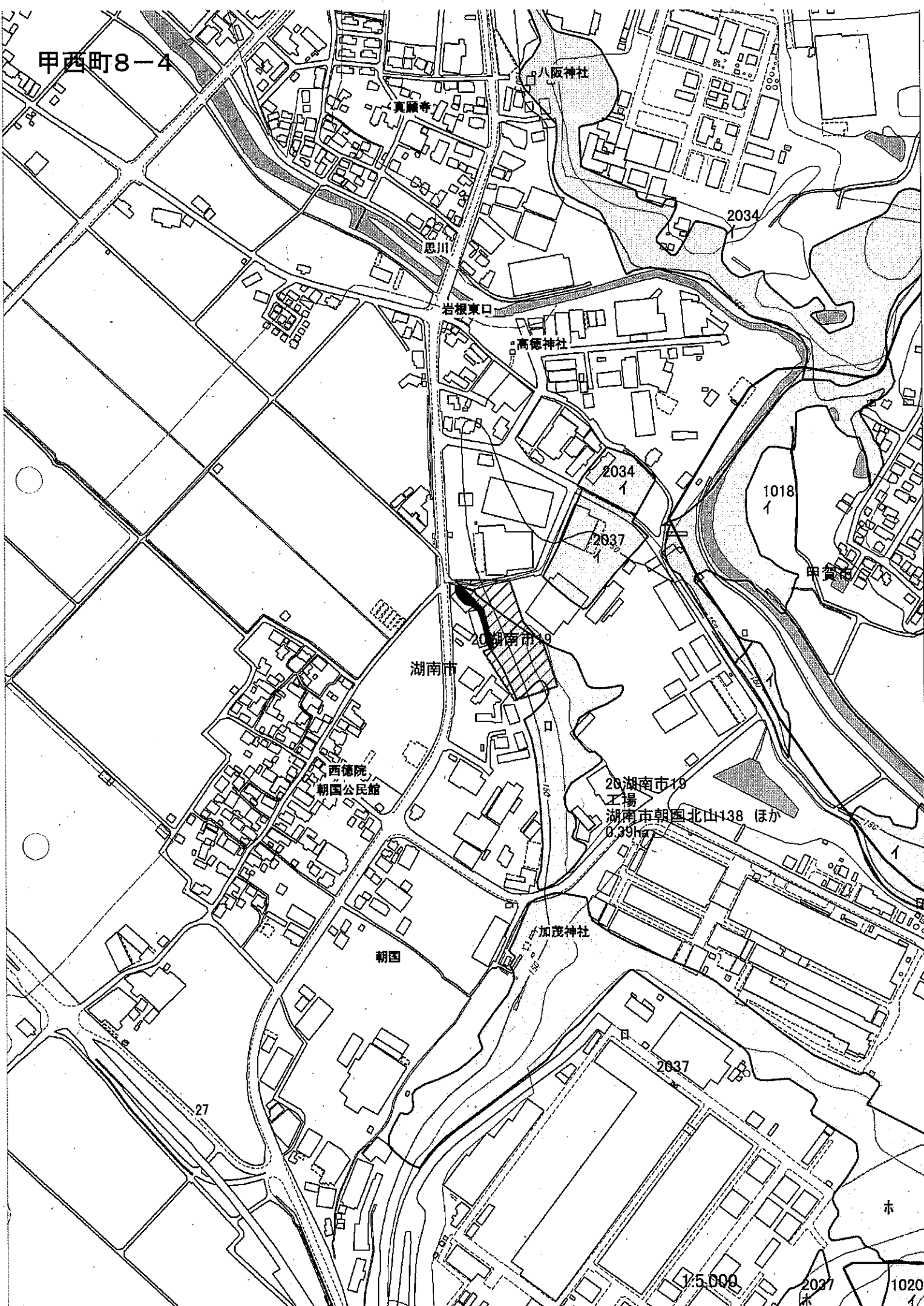
1:5,000

2037

1020

ホ

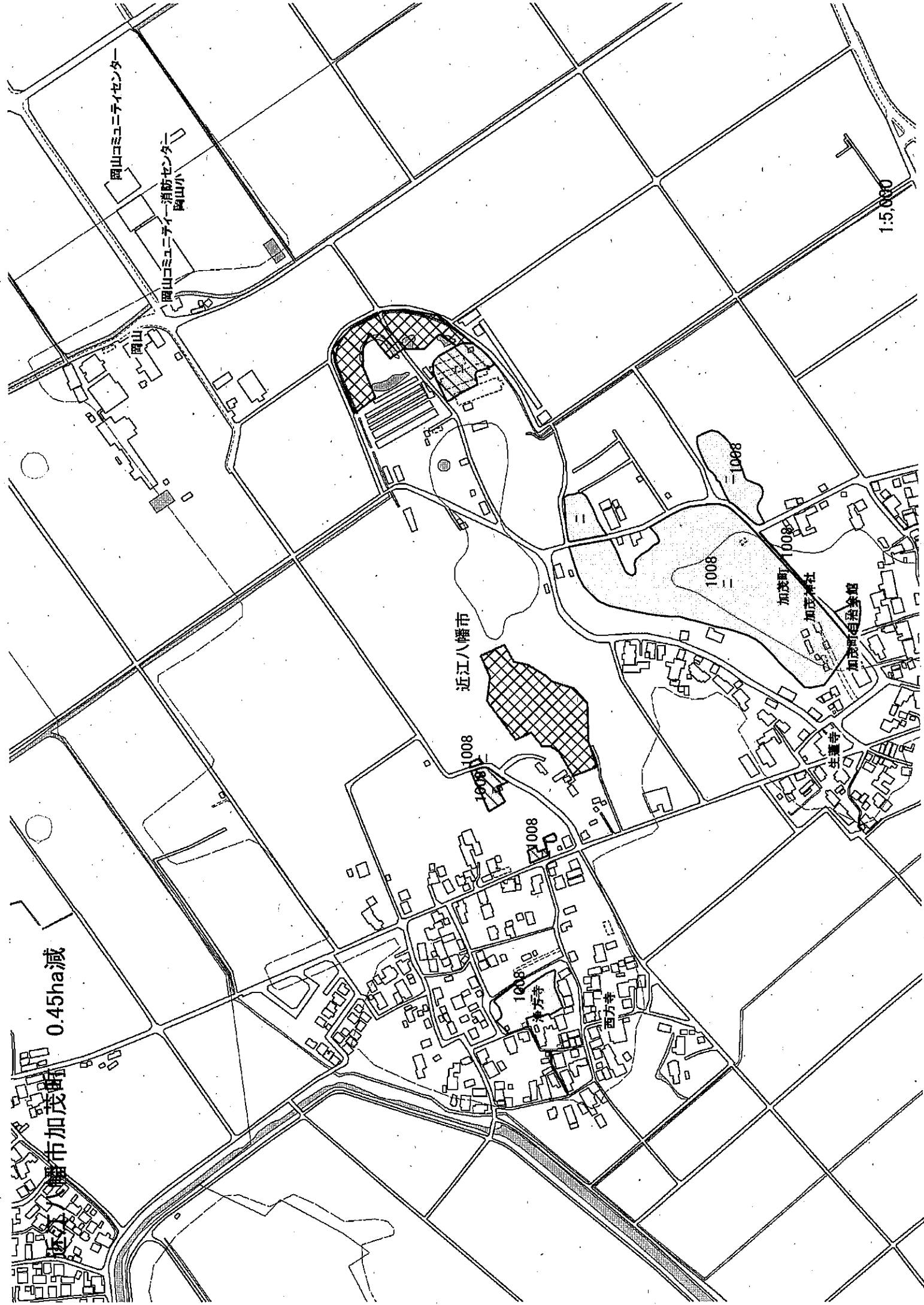
ホ





湖南省区域修正

1:10,000



岡山コミュニティセンター

岡山コミュニティ消防センター
岡山小

1:5,000

近江八幡市

加茂町

加茂神社

加茂町自治会館

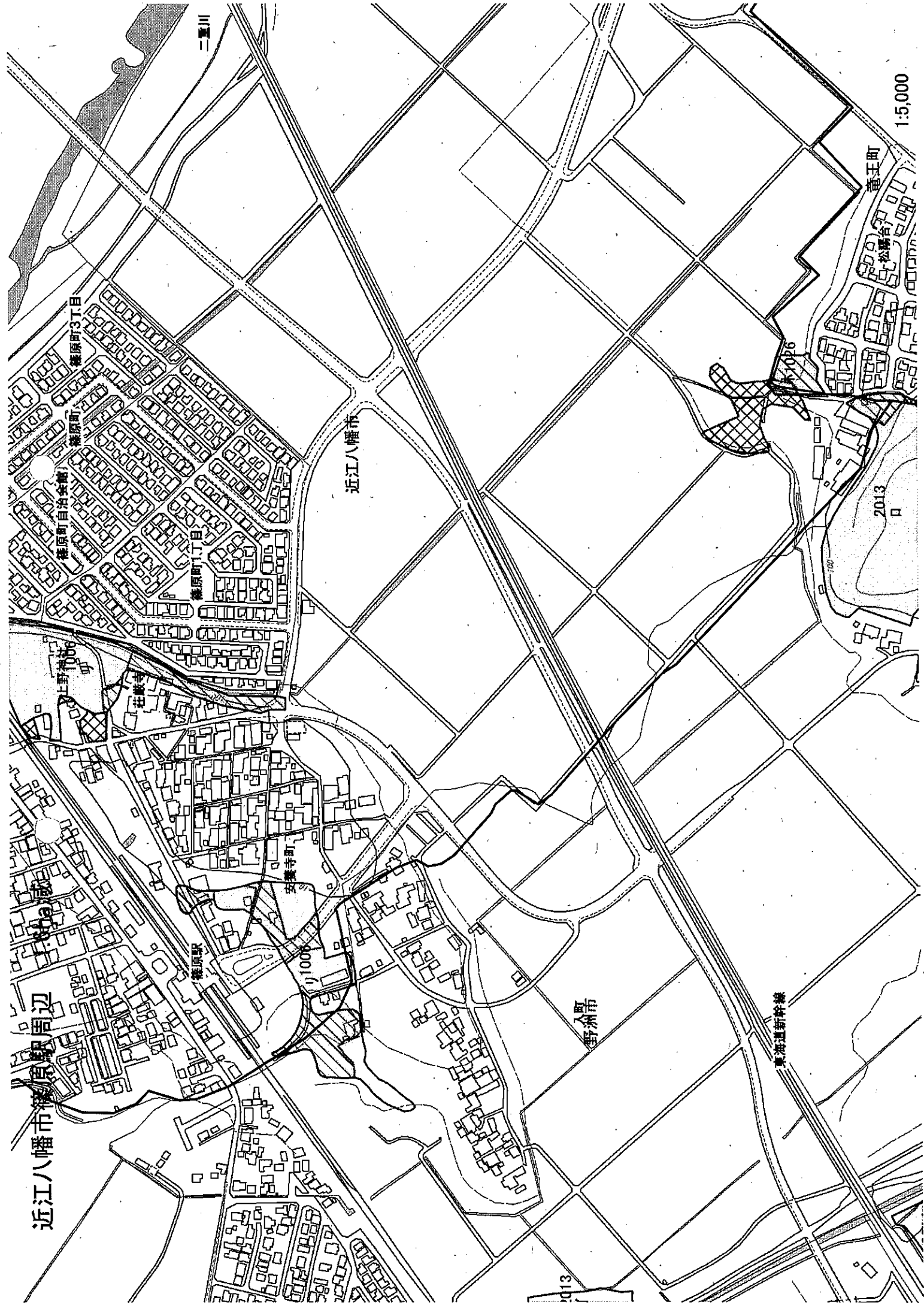
生蓮寺

西方寺

神芳寺

0.45ha減

加茂町



1:5,000

香王町

松崎台

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

近江八幡市

香洲市

東海道新幹線

二重川

香王町3丁目

香王町

香王町自治会館

香王町1丁目

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

香王町

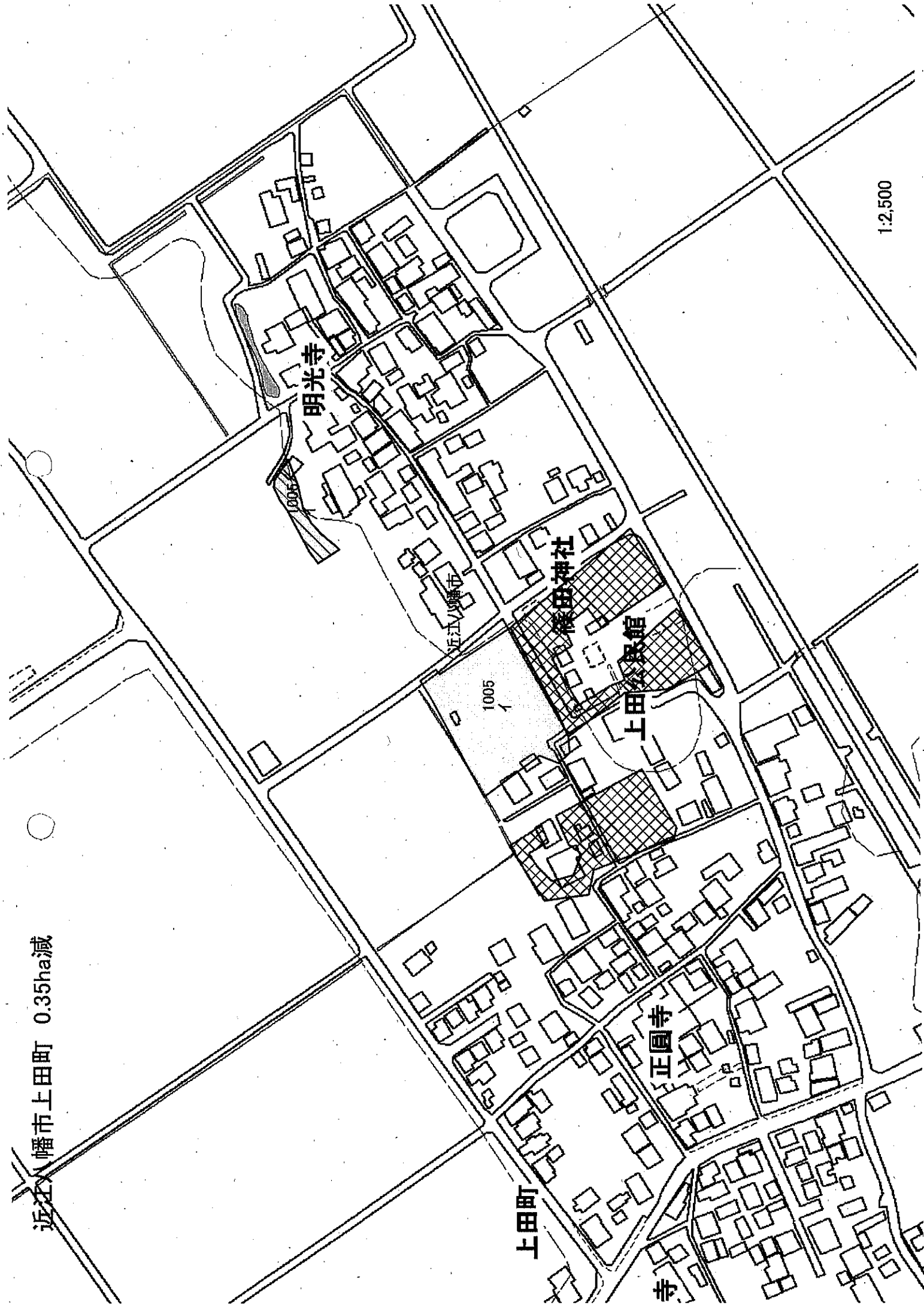
香王町

香王町

近江八幡市周辺

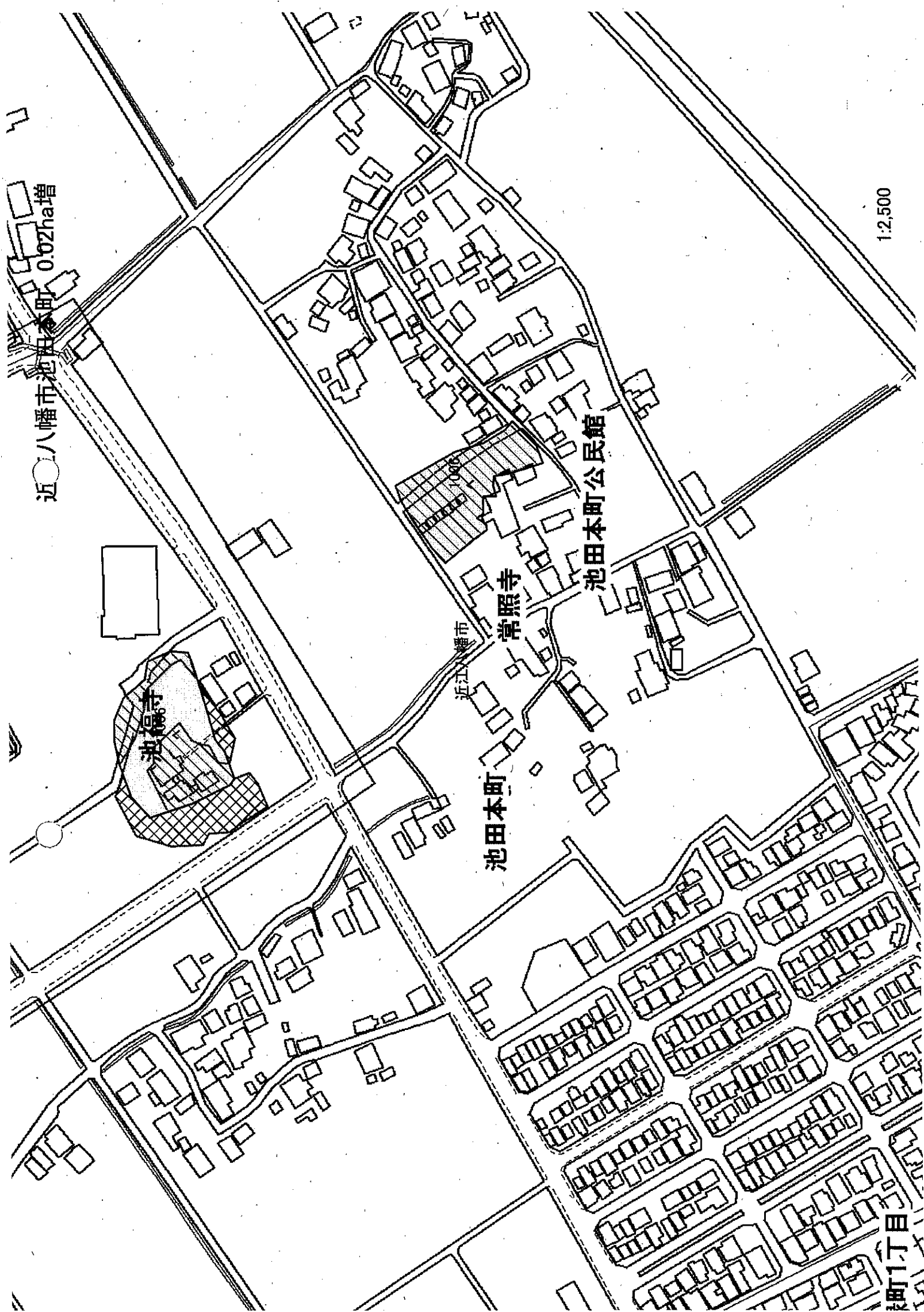
2013

近江川 幡市上田町 0.35ha減



1:2,500

近江八幡市池田本町 0.02ha増



1:2,500

池田本町

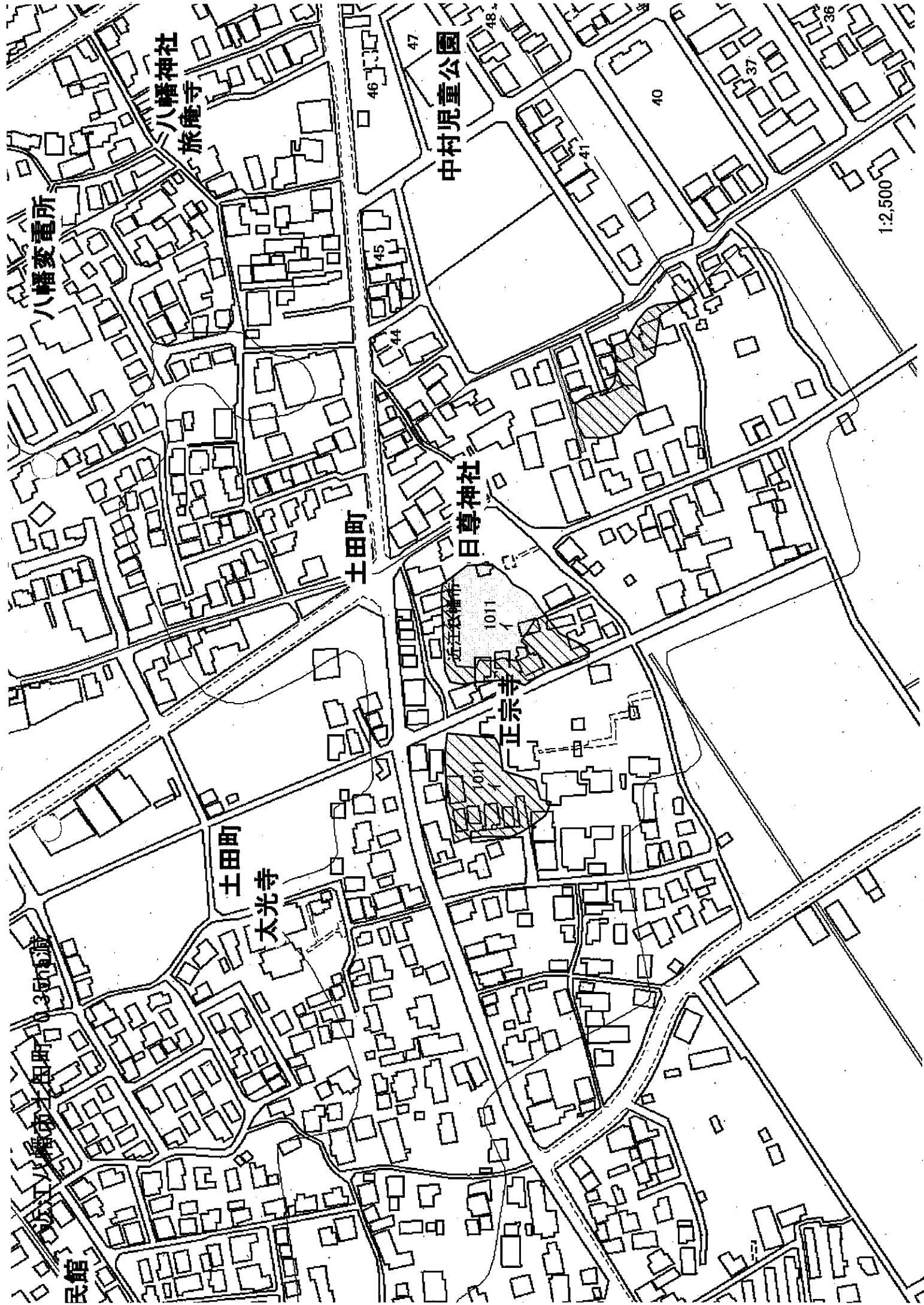
池田本町

常照寺

池田本町公民館

近江八幡市

池田本町



八幡変電所

八幡神社
旅庵寺

中村児童公園

土田町

日尊神社

正宗寺

土田町

太光寺

土田町
350

民館

1:2,500

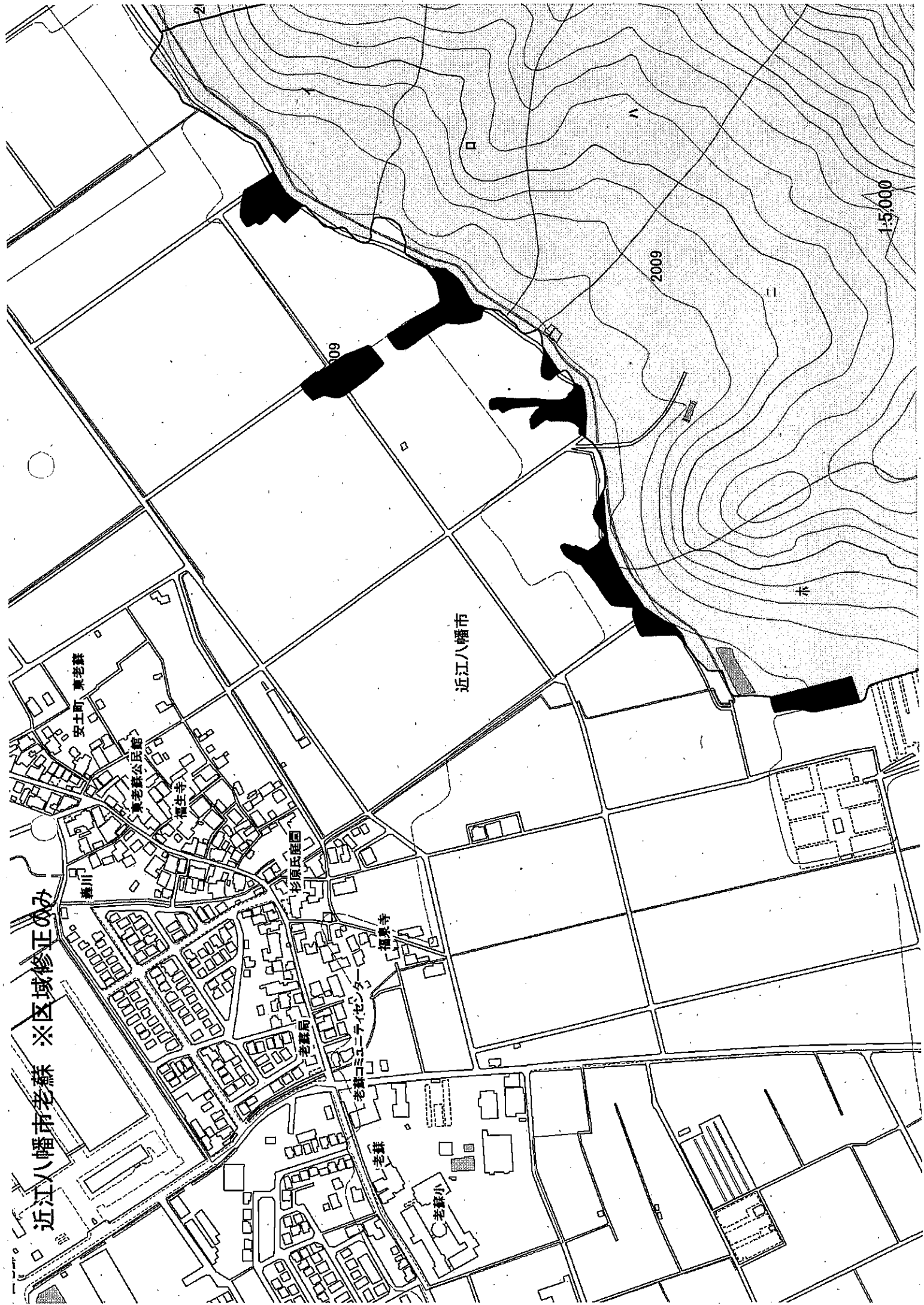
46 47 48 40 37 36

45 44

1011

1012

近江八幡市老蘇 ※区域修正のみ



近江八幡市

1:5,000

2009

安土町 東老蘇

老蘇公民館

福生寺

杉原氏墓園

福泉寺

老蘇局

老蘇コミュニティセンター

老蘇

老蘇小

老蘇川

湖東町1

東近江市

21東近江市14 15
太陽光発電施設 0.43ha
東近江市池庄町大蔵943木

21東近江市14 15

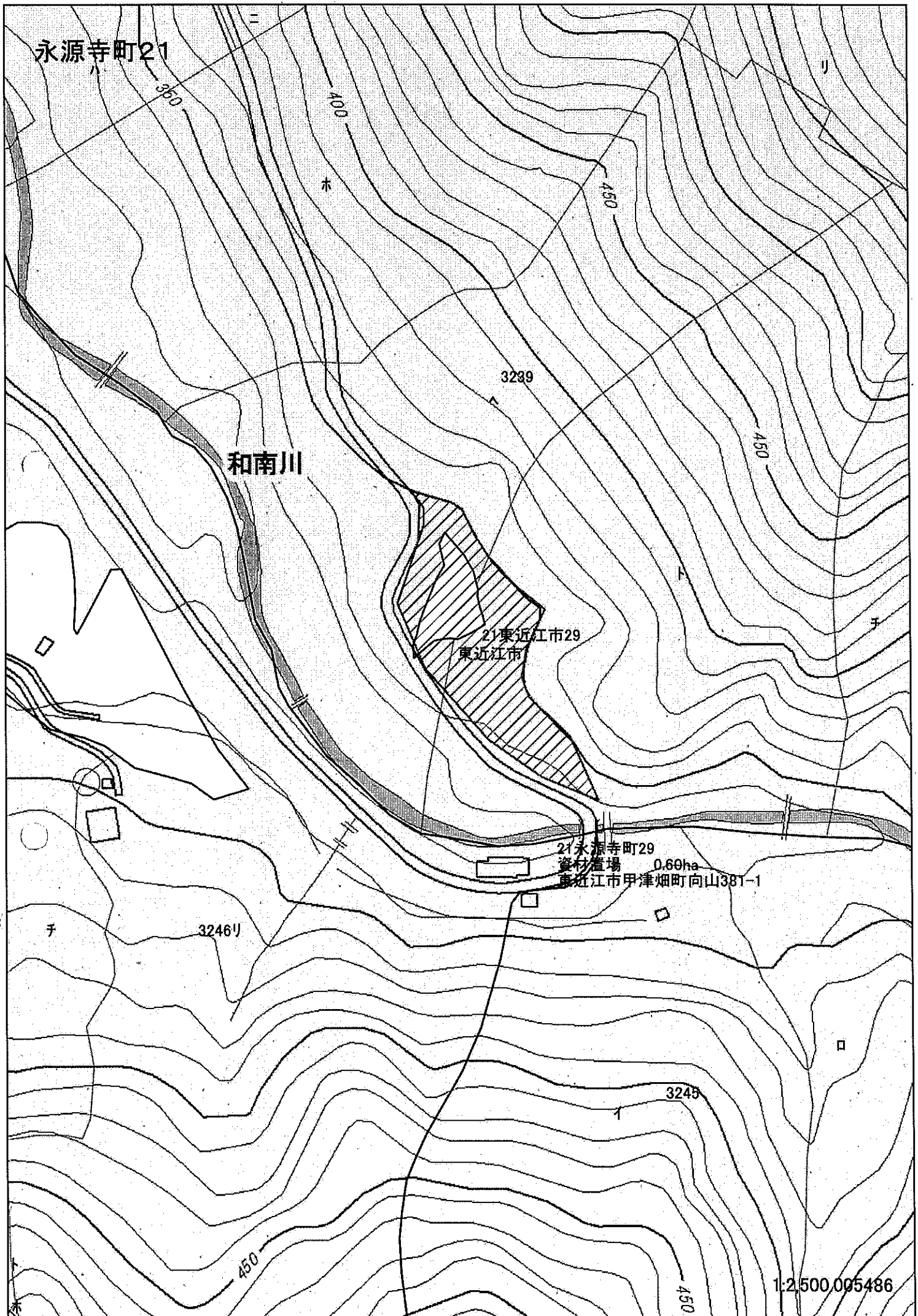
1
7001

愛賀神社

林光寺

梅林町

2,499.99394



永源寺町18

萱尾町

21東近江市31

東近江市

3176

21永源寺町31
道路用地 0.02ha
東近江市萱尾町729-2林

3024

3175

350

350

350

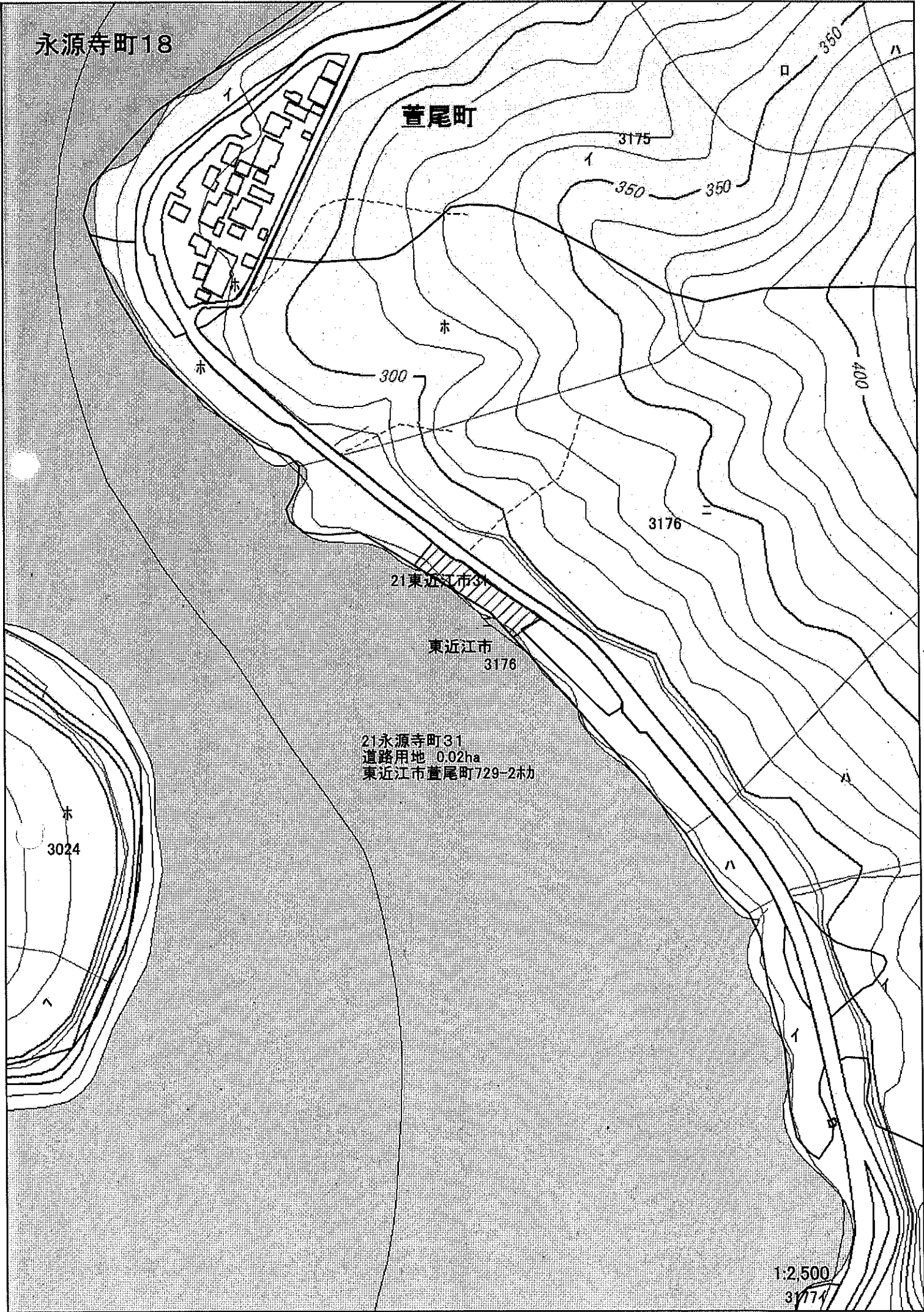
300

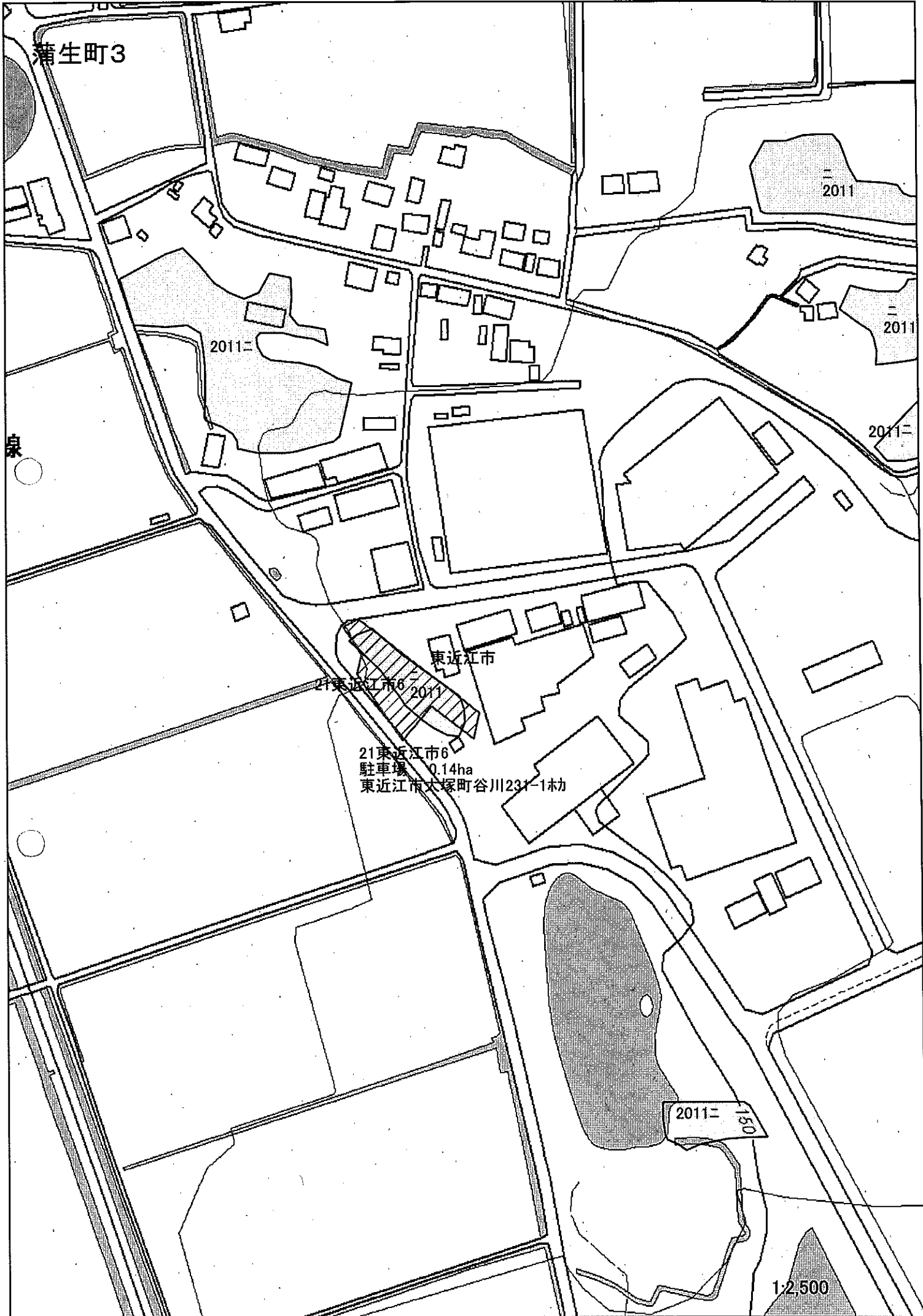
3176

400

1:2,500

31774





愛東町2

6007

上岸本町

光照寺

東近江市

6007
20東近江市60

20東近江市60

21東近江市7

6007

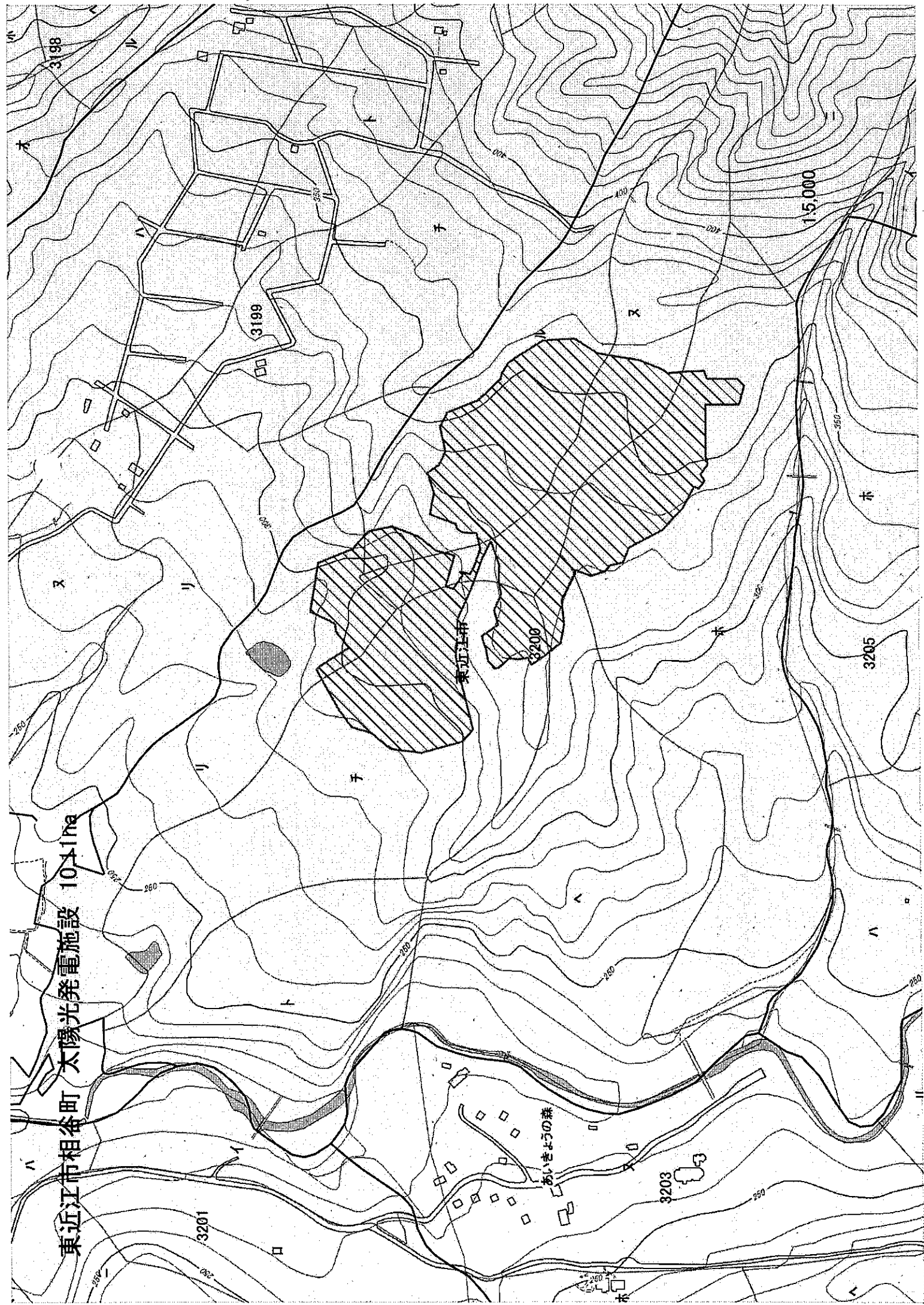
21東近江市7
事務所 0.09ha
東近江市上岸本町寺地1188㎡

20東近江市60
駐車場 0.17ha
東近江市上岸本町寺地1184-1㎡

1004

1:2,500

東江市相谷町 太陽光発電施設 10.41ha



日野町5

200

1011

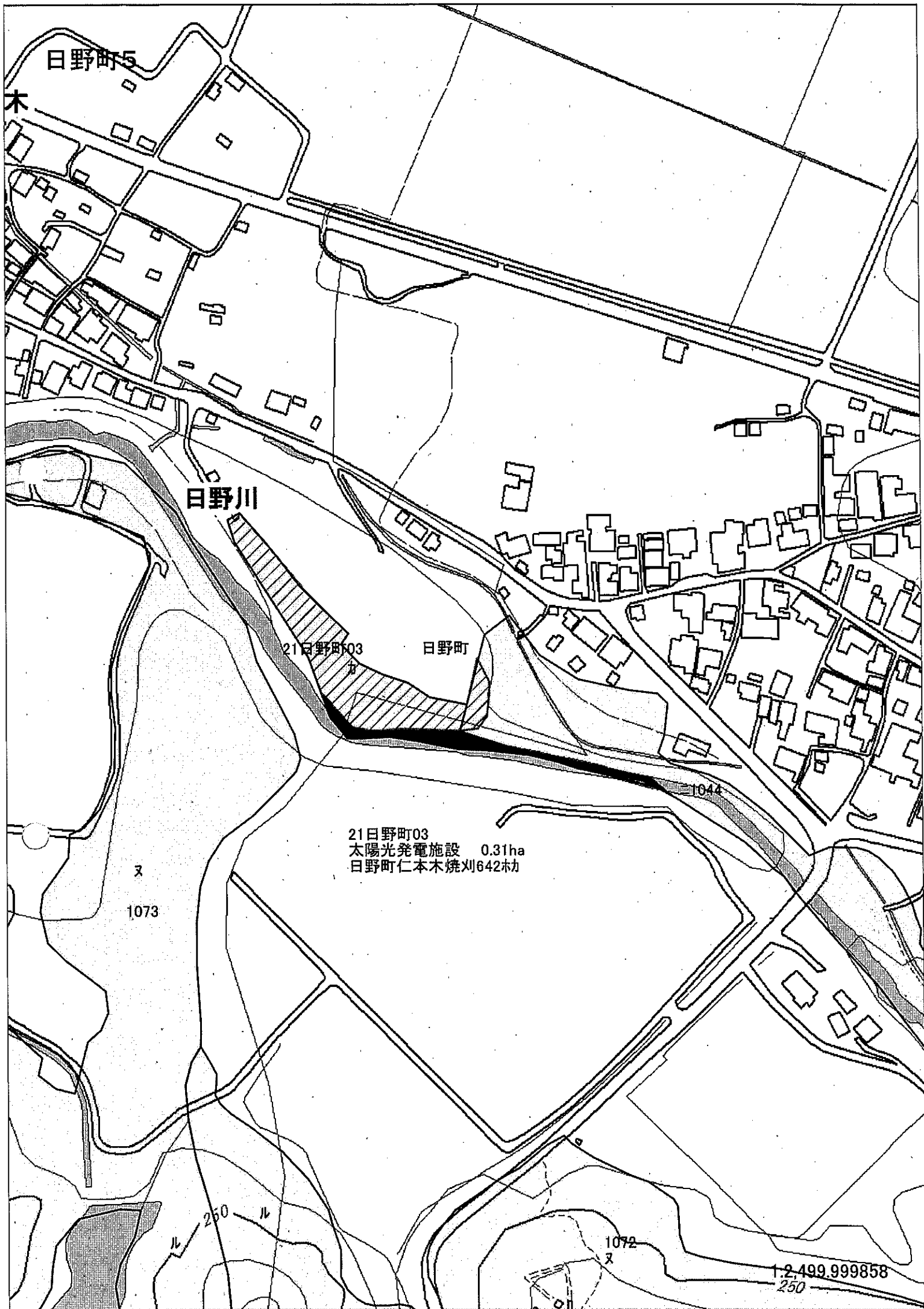
18日野町10
日野町

19日野町9

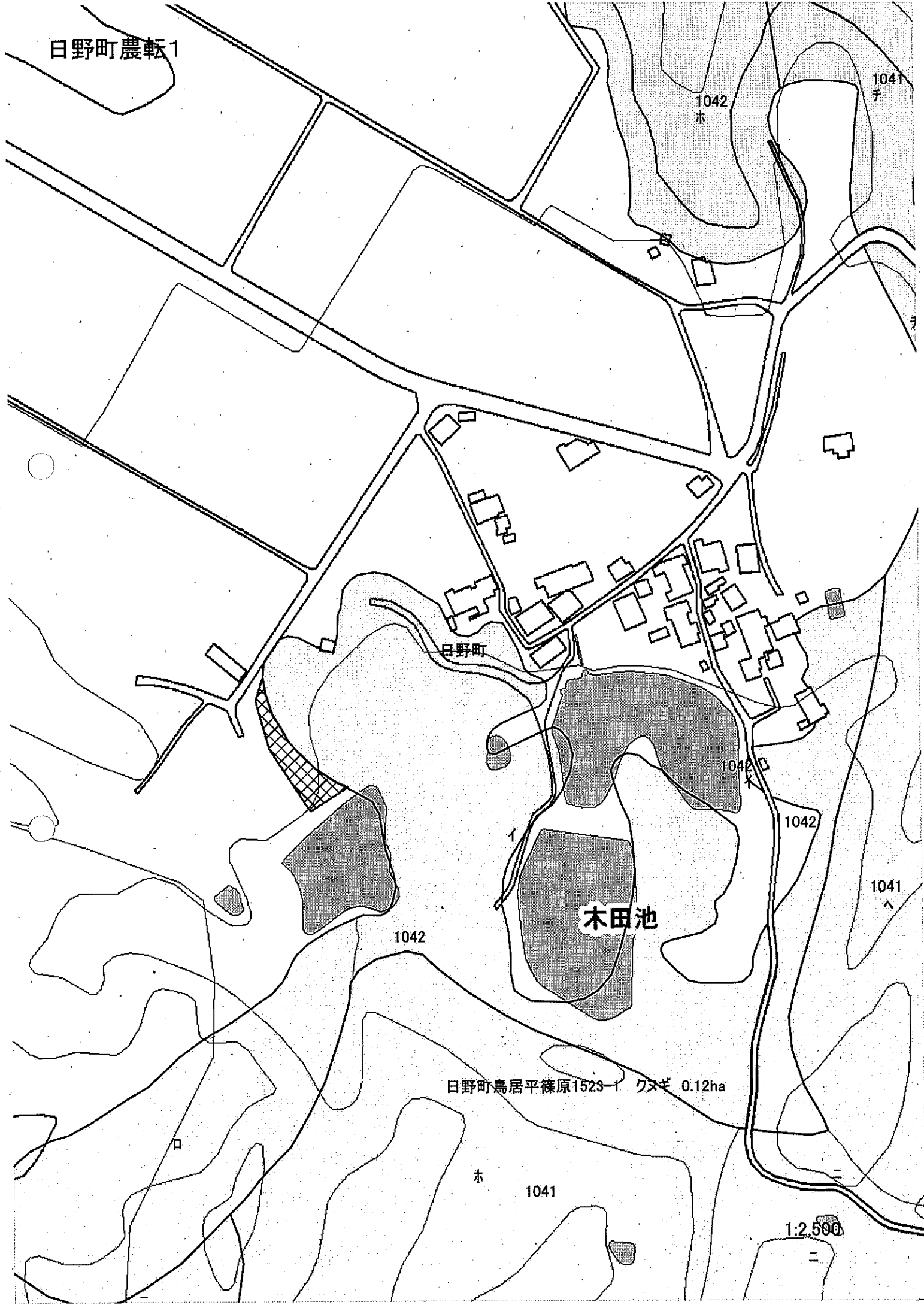
18日野町10、19日野町9
太陽光発電施設 0.88ha
日野町奥野池子禅師629木

1012

04

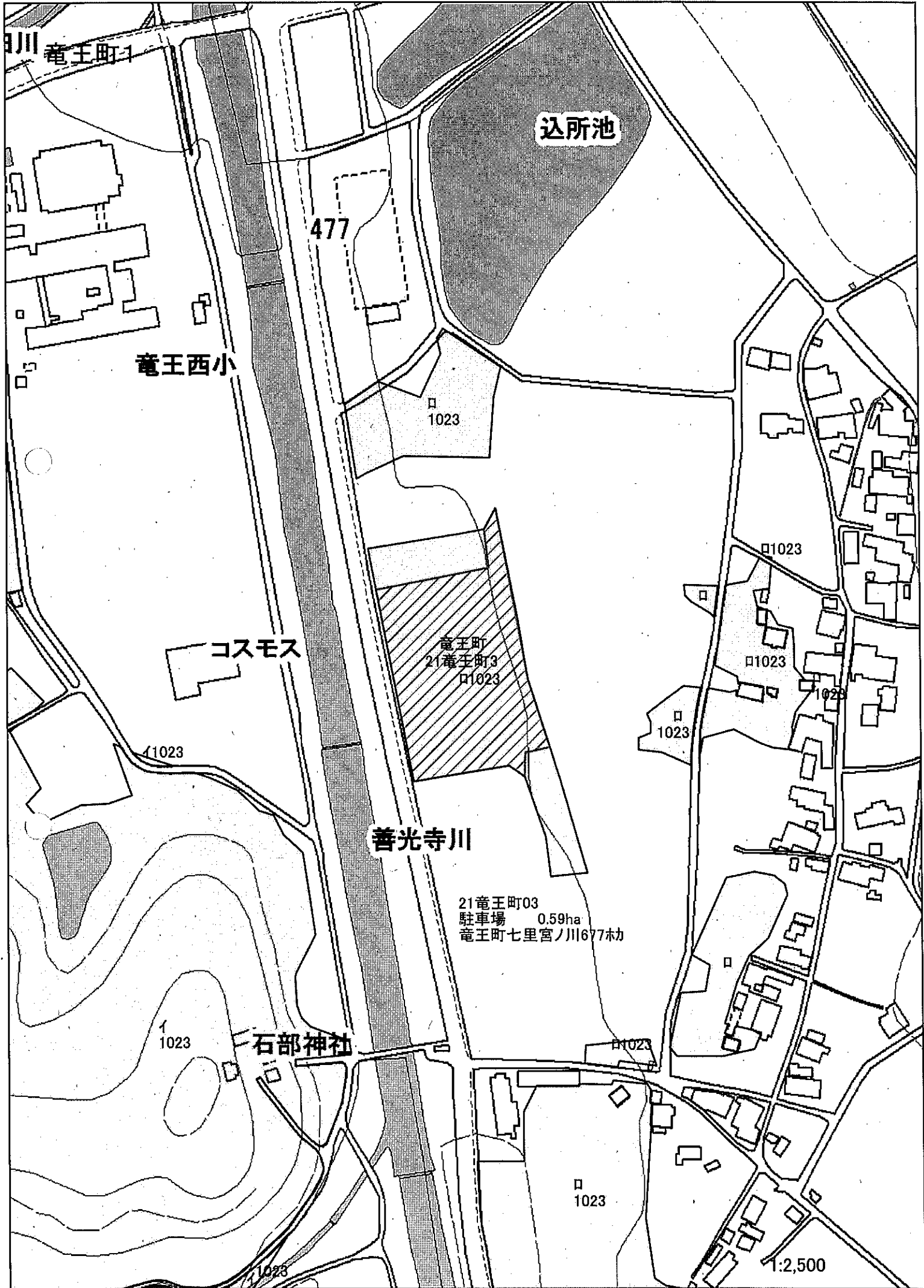


日野町農転1



日野町鳥居平篠原1523-1 クヌギ 0.12ha

1:2,500



込所池

477

竜王西小

□ 1023

コスモス

竜王町
21竜王町3
□1023

□1023

□1023

□ 1023

□1023

善光寺川

21竜王町03
駐車場 0.59ha
竜王町七里宮ノ川677木

1
1023

石部神社

□1023

□ 1023

1:2,500

竜王町区域修正 面積修正無

名神高速

奥ノ淵池

竜王町

中川

二1015

木1007

1:2,500

